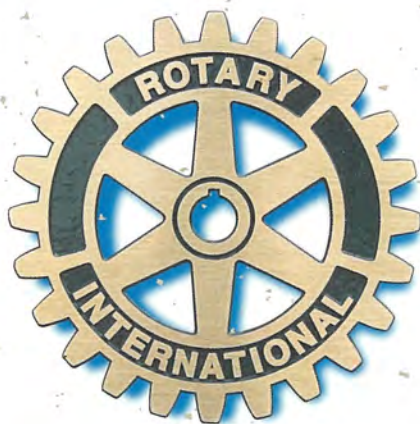




# 鹿児島西 ロータリー・クラブ

# 創立50周年記念誌



美しい日本の再生のために

Peace  
through Service

鹿児島西ロータリー・クラブ

2013

鹿児島西  
ロータリー・クラブ



創立**50**周年記念誌

# CEREMONY

Kagoshima West RC of  
50th  
anniversary





**鹿兒島西ロータリークラブ 創立50周年**

Kagoshima West RC  
-since 1963-  
**50<sup>th</sup>**  
Anniversary

美 日 本 の 再 生 の た め に  
Peace  
through Service

日時: 2013. 3/23 (土)  
会場: 太陽の間 (2F)  
●記念式典... 16:00 開場  
16:30 開式  
●祝賀会... 18:15



▲大会旗の入場



▲物故会員の追悼



## 式典

サンロイヤルホテル 太陽の間  
平成25年3月23日(土)

16:00開場 16:30開式

- オープニングVTR  
鹿兒島西ロータリー・クラブ 50年の歩み
- 物故会員追悼・黙禱
- 50周年旗 入場
- 開式の辞  
副実行委員長 深尾 兼好
- 国歌斉唱
- ロータリーソング  
「奉仕の理想」斉唱  
ソングリーダー 鮫島 信一
- 来賓紹介
- 会長挨拶  
会長 染川 周郎
- 市長祝辞  
鹿兒島市長 森 博幸 様
- 姉妹盟約調印式
- 来賓祝辞
  - ・国際ロータリー第2730地区ガバナー  
山下 皓三
  - ・鶴岡ロータリー・クラブ会長  
阿部 純次
  - ・サンタローザ・サンライズRC前会長  
ステイブ・エイメンド
  - ・宜蘭RC会長  
尤 文忠 (ヨー・ウエンション)
- 記念事業発表  
実行委員長 古木 圭介
- 目録贈呈  
鹿兒島西RC会長 染川 周郎  
宜蘭RC会長 尤 文忠
- 閉会の辞  
副会長 長柄 英男



▲深尾副実行委員長  
開会の辞



▲ソングリーダー 較島会員指揮による  
「奉仕の理想」斉唱



▲米国・中華民国・日本国歌斉唱



▲染川会長 挨拶



▲森博幸市長 祝辞



▲経緯を説明する  
玉川元会長

今回、鹿児島西ロータリー・クラブ50周年記念式典にて記念事業の中心となる姉妹盟約締結の調印式が行われました。

鹿児島西ロータリー・クラブ第34代 玉川哲生会長による、今回の姉妹盟約締結の経緯の説明の後、宜蘭ロータリー・クラブより4名、鹿児島西ロータリー・クラブより4名が壇上へあがりました。

前日に各クラブの代表3名の調印を終わらせ、当日は代表として宜蘭ロータリー・クラブより尤文忠会長と、鹿児島西ロータリー・クラブより第50代 柴川周郎 会長が壇上で調印し、今後の友好を誓いました。



▲宜蘭RCとの姉妹盟約調印式





鹿児島西RC・宜蘭RC  
**姉妹盟約**  
友情を深めよう。



▲山下皓三ガバナー 祝辞



▲阿部純次鶴岡RC会長 祝辞



▲スティーブ・エイメンド  
サンタローザ・サンライズRC前会長祝辞



▲尤 文忠宜蘭RC会長 祝辞



▲古木実行委員長 記念事業発表



▲長柄副会長 閉会の辞



# a Lecture Meeting of 50th anniversary

Kagoshima West RC



▲藤原正彦さんの講演



▲鹿児島高校音楽部 オープニング演奏



▲司会:大山会員  
と上野安差美さん



▲染川会員 主催者挨拶



## ■ 記念講演会

市民文化ホール（第一ホール）

平成25年3月23日（土）

12:30 受付開始・開場

- オープニング演奏  
鹿児島高校 音楽部 合唱
- 開会の言葉
- 主催者挨拶  
鹿児島西ロータリー・クラブ会長 染川 周郎
- 講師紹介
- 講演会  
「日本のこれから」  
理学博士・数学者・作家・  
お茶の水女子大学名誉教授 藤原 正彦
- 謝辞  
鹿児島西ロータリー・クラブ  
創立50周年 実行委員長 古木 圭介
- 閉会の言葉

# PARTY

Kagoshima West RC

of  
**50th**  
anniversary

Kagoshima West RC  
*—since 1963—*

**50th**  
Anniversary

創立  
50周年





▲司会は内村会員と上野安差美さん

▲鶴岡RC阿蘇司朗会員の詩吟



▲古木実行委員長開宴 挨拶



▲鶴岡RC藤川享胤PDG乾杯の発声

## 祝賀会

サンロイヤルホテル 太陽の間  
平成25年3月23日(土)

18:15開宴

- オープニング祝吟  
朗詠「憂き事の」「南洲翁遺訓」  
鶴岡RC 阿蘇 司朗
- 開宴挨拶  
鹿児島西RC創立50周年  
実行委員長 古木 圭介
- たこ揚げ
- 乾 杯  
バスト・ガバナー 藤川 享胤  
(鶴岡RC)
- 祝電披露
- 歓 談
- 島 唄  
是枝三姉妹・美桜・風遥・莉和
- 挨 拶  
バスト・ガバナー 竹腰 兼壽
- ネパール・シルバリ村  
親善・視察ビデオ上映
- 歓 談
- ロータリーソング  
「手に手つないで」斉唱  
ソングリーダー 鮫島 信一
- 万歳三唱  
バスト・ガバナー 海江田 卓
- 閉会の辞  
祝賀会委員会委員長 内村 二郎



▲クラブの発展と景気の  
 上昇を祈念して「たご揚げ」





◀ 是枝三姉妹の島唄演奏



▲ スティーブ・エイメンド サントローザRC前会長に記念品贈呈



▲ 尤 文忠宜蘭RC会長より記念品拝受



平和のために  
 Peace  
 through Service  
 Kagoshima West RC  
 -since 1963-  
 50th Anniversary  
 鹿児島西  
 ロータリークラブ  
 創立50周年



▲手に手つないで 大合唱



▲海江田PDG 万歳三唱



■ 宜蘭RC&鶴岡RC  
サンタローザ サンライズRC  
**懇親会**  
2013年3月22日(金)

— 歓迎 —  
鶴岡ロータリークラブ

— Welcome! —  
Santa Rosa Sunrise Rotary Club

— 熱烈歓迎 —  
宜蘭扶輪社



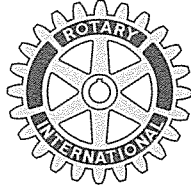




鹿児島西  
ロータリー・クラブ  
創立50周年  
記念誌

目次

● 50周年 記念式典	2
● 調 印 式	5
● 講演会プログラム	8
● 祝 賀 会	10
● 3クラブ懇親会	15
● 目 次	17
● 西ロータリーの歌	18
● 実行委員長あいさつ	古木 圭介 19
● 会長あいさつ	染川 周郎 20
● 祝 辞	鹿児島市長 森 博幸 21
	国際ロータリー第2730地区ガバナー 山下 皓三 22
	鶴岡RC会長 阿部 純次 23
	サンタローザ サンライズRC 前会長 ステイブ・エイメンド 24
	宜蘭RC会長 尤 文忠 25
● 50周年 記念事業「美しい日本の再生」	古木 圭介 26
● 西郷 菊次郎の生涯	27
● 50周年 記念講演「日本のこれから」	講演者 藤原 正彦 28
● 来賓・招待者・参加者御芳名	32
● 50周年記念 座談会「50年を振り返って」	36
● 西ロータリー・クラブ40年史「40年間の思い」	古木 圭介 44
● その後 10年の歩み	年代別・理事・役員・委員会構成・主な活動 48
	物 故 会 員 58
	歴代ロータリー賞・受賞者紹介 59
● 活 動 報 告	ネパールでの人道支援事業 60
	4世代フォーラム 64
	学 習 会 70
	ローターアクト35周年 72
	職業選択フォーラム 74
	地区協議会 76
	地 区 大 会 78
	鹿児島西プロバスクラブ15周年 84
	海江田 卓バスト・ガバナー 追悼の辞 85
● 鹿児島西ロータリー・クラブ 実行委員会 組織図	86
● 会 員 名 簿	88
● 編 集 後 記	92



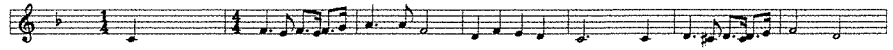
## ROTARY SONG ロータリー・クラブの歌

### 鹿児島西ロータリー・クラブの歌

作詞 池田 広 作曲 鎌田 範政

#### 1. 燃える心の桜島

友愛深き城の山  
育む「寛容」我がつどい  
奉仕の理想打ちたてて  
かたく結ばん西クラブ



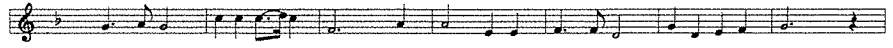
1. も えーるーこーころの さくらじま ゆ うあいーふーか き  
2. あ つーきーこーころの ともしび に あ いじょーにーじ む



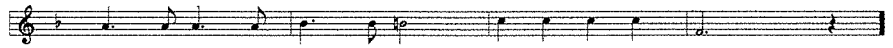
しろのやーま はぐく むかーんよう わがつどーい ほ う しのり  
とわのみーち つらぬ くしーんじつ とどももーに ほ う しとし

#### 2. あつき心のともしびに

愛情にじむ永遠の道  
つらぬく「真実」ともどもに  
奉仕と親睦調和して  
今日も集う西クラブ



そーう うちたーて て 1.か た く む す ばん に し ク ラ ブ  
ん ぼく うちたーて て



か た く む す ばん に し ク ラ ブ

### 我等の生業

作詞 高野 辰之  
作曲 岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど  
集いて図る心は一つ  
求むるところは平和親睦  
力むるところは向上奉仕  
おおロータリアン  
我等の集い

### それでこそロータリー

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

どこで会っても やあと言おうよ  
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ  
遠いときには 手を振り合おうよ  
それでこそ  
ローローロータリー

### 奉仕の理想

作詞 前田 和一郎(元東京RC)  
作曲 萩原 英一(元東京RC)

奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永久に栄えよ  
我等のロータリー

### 手に手つないで

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

手に手つないで つくる友の輪  
輪に輪つないで つくる友垣  
手に手 輪に輪  
ひろがれ まわれ 一つ心に  
おおロータリアン  
おおロータリアン

## ごあいさつ



創立50周年  
実行委員長

## 古木 圭介

鹿児島西ロータリー・クラブ創立50周年の実行委員長に指名されたのは2年前でした。

その時は、ガバナーを出すことになるなんて夢にも思っていなかったのは私だけではないでしょう。ガバナーに指名された山下皓三さんでさえ予期していなかったに違いありません。しかし市内クラブの会長・幹事会で我がクラブから出してほしいという切実な要請があり、会長経験者会議で山下さんをお願いしました。ガバナーの決定は半年も遅れていた時期でもありました。

そんな中で50周年実行委員会のメンバーも地区の役員や地区協議会、地区大会の実行委員長などを兼務しながら進めることになったのです。中でも副実行委員長の深尾さんは地区幹事という重責に就いたため、大山副実行委員長の負担は大きくなってしまいました。

しかしそんな状況の中でも、肅々と実行委員の皆さんは責務を果たしてくださって、染川会長、川畑幹事も会員を鼓舞し、着々と姉妹クラブの連絡や宜蘭RCとの協議が進んでいったのです。

この結束こそが、まさに50年の歴史を刻んできた我がクラブの成果だろうとつくづく感じた時でした。

実行委員長を引き受けた年は、あの忌まわしい東日本大震災の起こった年でした。多くの日本人が日本人同士の絆を感じ、さらに日本人の心の優しさに触れたときだったと思います。

そこで50周年のテーマは「美しい日本の再生」としました。そして改めて多くの市民の皆さんにも感じてもらうため、公開講演会の講師を「国家の品格」などの著書でお馴染みの藤原正彦先生（お茶の水女子大学名誉教授）をお願いしたところ、ロータリーの趣旨をご理解いただき快諾をいただきました。そのようにして大きな柱が徐々に出来上がり、会員が一体となって目的に向かっていくつものハードルを越えていきました。

そして鶴岡、アメリカの古い友人たち、さらに台湾からの新しい友を迎え、県内外の招待者250人と共に厳粛な式典と楽しい祝賀会を開催できました。多くの協力者の皆さんに心からお礼を申し上げたいと思います。

この機会に培った友情を忘れることなく75周年、100周年にむけて鹿児島西ロータリー・クラブが発展していくことを心から願っています。

本日、ここに鹿児島西ロータリー・クラブは、創立50周年を迎え、これを記念して式典を催すことになりご案内を申しあげましたところ、ご来賓の皆様をはじめ国外、県外の姉妹クラブの皆様、そして友情の輪で結ばれた地区内外の大勢のロータリアンの皆様のご参会を賜り、このように盛大に記念式典を開催できますことを会員一同心より感謝申し上げる次第でございます。

## ごあいさつ



鹿児島西  
ロータリー・クラブ会長

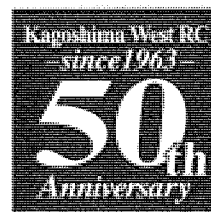
染川 周郎

顧みますと、鹿児島西ロータリー・クラブは、1963年(昭和38年)に鹿児島ロータリー・クラブをスポンサークラブとして、チャーターメンバー24名で誕生し、本日50年目を迎えたわけでございます。

当クラブは、創立以来50年間、各年度のRI会長が目標として掲げられた奉仕の理想の実現に向かって充実した活動を続けてまいり、現在80名の会員を擁するクラブとして発展してまいりました。

この間、歴代の会長・幹事をはじめ、先輩ロータリアンの皆様におかれましては、質素だが品格溢れるクラブの歴史と伝統を築くべく営々として努力を重ねてこられました。このことに深く感謝いたしますとともに、物故された先輩の会員の皆様に対し心からのご冥福をお祈りするものでございます。そして関係の皆様との並々ならぬご指導とご鞭撻に思いをはせ、改めてこの半世紀というクラブの歴史の重みを深く噛みしめ、これらが無にすることのない様に努力しなければと心を新たにしているところでございます。

本日ご出席の皆様のご益々のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げます。挨拶といたします。



星大 日本再生のために

## 祝 辞



鹿児島市長

森 博幸

鹿児島西ロータリー・クラブが創立50周年を迎えられ、本日、来賓の方々をはじめ、会員の皆様多数ご臨席のもと、記念式典がこのように盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

貴クラブにおかれましては、昭和38年に鹿児島ロータリー・クラブをスポンサーとする市内3番目のクラブとして創立されて以来、半世紀もの長きにわたり、地域に密着した様々な奉仕活動を積極的に展開され、地域社会の生活・文化・福祉の向上、さらには青少年の健全育成にも大きく貢献してこられました。

また、昨年11月の地区大会のホストとして、大会を盛会に導かれるなど、県下のクラブをリードする存在としてご活躍を続けておられます。

これもひとえに、歴代会長、役員をはじめ、会員の皆様の強い結束と弛まぬご努力の賜物であり、深く敬意を表しますとともに、かねてから市政の各面にわたり温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

貴クラブは、この度、西郷菊次郎で繋がりの深い台湾の宜蘭ロータリー・クラブと姉妹盟約を締結されますが、台湾とは、鹿児島-台北線による交流も盛んになっており、大変心強く思っております。鹿児島と縁の深い、鶴岡、サンタローザの姉妹クラブと同様、末永く友好を深められますよう期待いたしております。

さて、我が国においては、長引く景気低迷、厳しい雇用環境、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行、東日本大震災からの復興、エネルギー政策をはじめとする環境問題など、数多くの課題が山積しております。

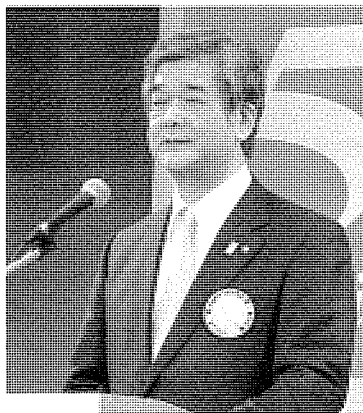
本日の記念講演では、こうした厳しい時代にあたり、今後、我が国がどう変わるべきかを藤原先生からお示しいただいたことと思います。誠に時宜を得たテーマであり、大変貴重な機会を市民に提供いただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

本市におきましても、厳しい行財政環境の下、全線開業から2年を迎えた九州新幹線効果の持続、地域を支える産業の活性化や雇用の促進、総合的な危機管理や防災力の充実、活力と連帯感に満ちた地域コミュニティづくりなど、直面する様々な課題に真摯に向き合い、市民の皆様、そして、事業者の皆様と力を合わせて、真に豊かさを実感できるまちをつくってまいりたいと思っております。

そのような中で、ロータリーの奉仕の精神に基づく活動は、健全で明るい社会を築いていくための大きな原動力でございます。皆様方には、今後とも、地域社会の発展にご尽力賜りたいと存じます。

終わりに、鹿児島西ロータリー・クラブが、50周年という記念すべき節目を契機に、今後益々発展されますことと、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。

## 祝 辞



国際ロータリー  
第2730地区ガバナー

山下 皓三

鹿児島西ロータリー・クラブ創立50周年おめでとうございます。

鹿児島西ロータリー・クラブは1963年3月23日に鹿児島ロータリー・クラブがスポンサーとなり、福田得志様を特別代表としてチャーターメンバー24名で発足し、同年6月27日に国際ロータリー加盟の承認を受け、鹿児島市内分区で3番目に長い歴史とアカデミックなクラブとしての伝統を築いてこられた地区内で模範となるクラブです。鹿児島西ロータリー・クラブがスポンサーとして発足した鹿児島県内のロータリー・クラブは加治木RC、加世田RC、枕崎RC、鹿児島城西RCの4クラブがあります。

また、鹿児島西ロータリー・クラブは地域社会や国際社会において、これまで多くの実績を残されてきたことに対して、地域社会からは高い評価を受けております。ロータリー活動においてはクラブ全体での積極的な参加に対して、敬意を表するものであります。これまでに、3名のガバナーを輩出され、三回の地区大会のホストをされたことは地区からの信頼の大きさを物語るものであります。クラブ内においては1978年から毎月行われている学習会が会員のロータリーの奉仕の理念と実践へのモチベーションを高めておられることは地区内外からも参考にされるものであります。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕など全てにおいての奉仕プロジェクトの実績をはじめ、国内外三クラブと姉妹盟約を結び、ロータリー・クラブとしてバランスの取れた奉仕活動を率先してこられました。これらが評価され地区大会においても、RI会長賞をはじめ、ロータリー財団優秀クラブ、米山功労クラブなど常連として数々の表彰をされていることは、他のクラブの模範となるところであります。これからも、鹿児島西ロータリー・クラブが第2730地区のリーダーとして未来を見据えて、次世代の若きロータリアンの育成に力を注ぎ、夢と誇りを持ち、益々地域に必要とされる地区のOnly Oneのロータリー・クラブとして更なる発展に向けて、新しい奉仕プロジェクトにも挑戦することをお願いします。

50周年を迎える今日まで、クラブの発展のために尽力してこられた歴代の会長、幹事、理事、役員の皆様方のご功績に深甚なる敬意を表するとともに、クラブの益々の隆盛とお集まりの皆様方のご多幸を祈念して祝辞といたします。

## 祝 辞



鶴岡RC会長

### 阿部 純次

鶴岡ロータリー・クラブの会長を務めております阿部純次と申します。「鹿児島西ロータリー・クラブ」の皆様、節目となります創立50周年記念式典の輝かしい日を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。鶴岡ロータリー・クラブ会員一同を代表致しまして心からお祝いを申し上げます。

50年間、半世紀に渡り、一年一年着実に足跡を残され、今日の素晴らしいクラブに成長なされました貴クラブの皆様には深く敬意を表する次第です。

私ども鶴岡クラブが貴クラブと兄弟(姉妹)クラブを締結させていただきしたのは、1965年(S40年)の5月9日、貴クラブ創立2年目(土橋 英夫会長)、鶴岡クラブが創立6年目(斎藤栄作・第6代会長)の時、今年で盟約48年目となります。

2年後の2015年(H27年)5月には、盟約50周年という記念すべき輝かしい日が待っております。

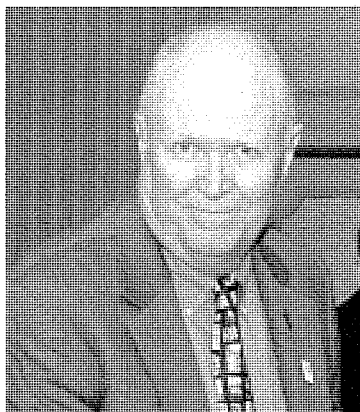
貴クラブ創立50周年記念式典開催にあたり、昨年の4/20(金)～4/22(日)の3日間に渡り、古木圭介50周年実行委員長を始めとして、染川周郎会長、川畑宏二幹事、川平建次郎鶴岡RC50周年時会長、天本美信鶴岡RC創立50周年時幹事の5名の方に、鶴岡ではまだまだ寒さが肌身に染み、霊峰月山や鳥海山もまだまだ雪に包まれている季節に、貴クラブ創立50周年のご案内に、わざわざ遠路おいでいただき恐縮すると共に感激致した次第であります。本当にお忙しいなか、おいでいただき有り難うございました。今年度は、貴クラブの山下皓三会員がガバナーに就任され、11月の地区大会、明けて3月、本日の50周年記念事業とビッグ・イベントが続き非常に忙しい年度を送られているなか、地区大会の成功、そして50周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお慶びすると共にお祝い申し上げます。鹿児島と鶴岡といえば、言わずと知れた西郷南洲先生との結びつきが、いの一に思い出されます。「戊辰の役」による戦後処理で、薩摩藩の教義であります陽明学における、「うそを言うな、負けるな、弱い者をいじめるな」という教えの下、西郷南洲先生の庄内藩に対する、慈愛を持った寛大な処置により庄内藩は難を免れましたことは、言うまでもなく皆さん周知のことです。

以来、鹿児島と鶴岡は官民ともに交流を続けて参りました。自然豊かな、鹿児島と鶴岡の結びつきが、今日の鹿児島西RC創立50周年をひとつの節目といたしまして、今後更なる交流を深め、先輩が築いて参りました両クラブの友好を、2年後の盟約50周年、更に100周年を目指して、「友情と絆」を深化させ両クラブがますます発展し友好交流が活発になることを切望する次第でございます。

結びになりますが、鹿児島西ロータリー・クラブ様の限りない発展と会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げお祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



## 祝 辞



サンタローザ・サンライズRC  
前会長

## スティーブ・エイメンド

染川会長、古木50周年記念実行委員長、来賓とロータリアンの皆様こんにちは。  
本日は鹿児島西ロータリー・クラブの“超我の奉仕”を讃え、創立50周年を家族、友人、  
ロータリー・クラブメンバーの皆様とお祝いできてとても光栄です。  
鹿児島西とサンタローザ・サンライズロータリー・クラブは一体となり、素晴らしい  
交換学生プログラムを築きました。今回で27回目の交換に至ります。鹿児島西ロー  
タリー・クラブはロータリーの理想である人道的な奉仕を実証されてこられました。  
これからの益々のご繁栄を願っています。皆様の貢献と信念に感謝しています。  
ありがとうございました。

Dear President Shuro Somekawa

It is my pleasure in offering you my congratulations on the Celebration of Kagoshima West Rotary Club's 50th Anniversary. Our Rotary Club has had the honor of being a sister club to yours for 25 years.

The hallmark of our relationship is the Santa Rosa Kagoshima Student Exchange Program, now in its 27th exchange cycle. It is rare in the Rotary world for this type of exchange to enjoy such a long and mutually beneficial life. The program promotes Rotary ideals of international friendship and fellowship and helps foster World Peace and Understanding. Thanks for all your efforts in making this program such a success for the Japanese and American student and chaperone participants.

I wanted to present this letter in person to you, but my schedule would not permit me to make the trip. So, our club representatives Steve Amend, Don Floriani, Peter Treleven and their spouses and family will offer their congratulations for me on 50 years of "Service Above Self".

Wishing you, your club and all its past, present and future members all the best in 2013 and beyond.

Sincerely and Yours in Rotary,

Ms. Jennifer Hembd President 2012-2013 Santa Rosa Sunrise Rotary Santa Rosa, CA USA

## 祝 辞



宜蘭RC会長

尤 文忠 Milk

拝啓 会長様

染川周郎会長、ならびに御来賓の皆様、こんばんは。

本日、鹿児島西ロータリー・クラブ創立50周年を迎えるにあたり、宜蘭ロータリー・クラブ全会員を代表して喜びと祝福の意を表します。おめでとうございます。

今日は特別な日です。つまり、宜蘭ロータリー・クラブと鹿児島西ロータリー・クラブが姉妹盟約を結ぶ大変おめでたい日です。心から両クラブの末長き友好を願っております。更にはこの訪問を通して国と国との交流を深め、国際視野を広め、明るい未来につながるよう、切に期待をするものであります。

私達は同じロータリー・クラブの精神理念のもと、この姉妹盟約が距離や言語のハードルを越え、手を取り合い、社会奉仕・世界平和の道を歩んでいくことを期待してやみません。私達両国は地理的に最も近く、また歴史や文化も相通ずる兄弟のような親しい関係を保っております。これからは更に経済や観光の面でも互いに助け合い、ロータリー精神を発揮して人類に貢献していきたいと思っております。

宜蘭ロータリー・クラブはRI第3490地区に属し、1955年4月22日にRIから承認され、同年5月16日に正式に認証されました。本クラブは3月22日現在、創立58年で会員は55名です。私共は5つの新クラブを発足させ、ローターアクト・クラブも設立しました。既に日本の十和田RCをはじめとして朝霞RC、潟上RC、アメリカのマデラRCとも姉妹盟約を結んでおります。また、釧路北RCとは友好クラブとして交流をしております。

この度、私共の訪問に対し、染川会長はじめ全クラブ会員様から熱烈な歓迎と心温まる御招待を受けました。ここに宜蘭ロータリー・クラブ全員を代表して厚く御礼申し上げます。

最後に、鹿児島西ロータリー・クラブの社運の隆昌と益々の御発展、そして皆様の健康と御清祥を願って私の挨拶と致します。どうもありがとうございました。

宜蘭RC会長 尤 文忠

社長致詞 宜蘭扶輪社社長 / 尤文忠

染川周郎会長、各位貴賓大家晩安：

欣逢日本鹿児島西扶輪社創立50周年紀念典禮，本人謹代表宜蘭扶輪社全體社員表達祝賀之意。

今天是非常特別的日子，是台灣宜蘭扶輪社與日本鹿児島西扶輪社締結姊妹社的重要時刻，在此真心期盼兩社友誼長存，也希望藉由我們兩社的姊妹社締結互訪，

培育兩國互信互助國際友誼，讓這種真誠的關係，化為地球無國界的力量，讓未來我們的新世代享有更美好的環境。

秉持著國際扶輪的服務理念，希望藉由今晚兩國姊妹社的締結儀式，跨越距離、語言障礙，將來共同參與國際服務、擴大國際聯誼，然後真心誠意讓友誼綿延持續。

中日兩國以歷史、地理、人文概況而言可說是兄弟之邦，兩國人民更能保持文化經濟往來，貴我兩社結為金蘭，深信兩社社友，必能團結在國際扶輪宗旨之下，

促進中日兩國國際間之瞭解，互相合作，貢獻我們的智慧和力量，做我們兩國國際間之橋樑，促進親善、友誼。並發揚扶輪崇高之理想與宗旨，以達到世界和平之共同目標。

宜蘭扶輪社隸屬於RI第3490地區，於1955年4月22日經RI獲准為會員社，同年5月16日舉行授證，至今創立已有五十八年歷史，現在社員55名，平均年齡58歲。

本社輔導成立五個扶輪社、一個扶輪青年服務團，本社先後與日本十和田扶輪社、朝霞扶輪社、潟上扶輪社、美國馬德拉扶輪社締結為姊妹社、與日本釧路北扶輪社締結為友好社。

本社此次親善訪問，承蒙會長染川周郎暨全體會員熱誠接待，隆情厚誼，謹代表宜蘭扶輪社全體訪問團團員表示十二分的感謝。

最後，祝賀鹿児島西扶輪社社運昌隆、授證50週年紀念典禮圓滿成功。各位嘉賓萬事如意！



# 創立 50周年記念事業

## 鹿児島西ロータリー・クラブ 創立50周年記念事業

### 「美しい日本の再生」

創立50周年実行委員会  
実行委員長 古木 圭介

#### 記念事業の概要

鹿児島西ロータリー・クラブでは創立50周年にあたり下記の記念事業を行うことにしました。

#### 1. クラブのアーカイブスの編纂

半世紀の歴史を長年にわたる膨大な記録を整理し、時系列的な編集、記録の収録を行ってきました。このたび50周年の記念事業としてCDが完成しました。

この記録は長期にわたり後世に残せる貴重な資料です。

#### 2. 公開講演会の開催

2011年3月に発生した東日本大震災と福島原発事故は日本人にとって大きな教訓となりました。歴史を振り返ると近代日本は3つの大きな試練を受けてきたと言われます。

第一が幕末明治維新时期で、日本は近代国家に向けて多くの試練を乗り越えました。第二が太平洋戦争の敗戦でしょう。多くの尊い命が失われ、国土は焦土と化してしまつた中から、日本人は試練を乗り越えてきました。そして第三の試練が、東日本大震災でしょう。このような状況のなかで、世界の中の日本人として祖国をもう一度見つめ直す機会にできればと、お茶の水大学名誉教授で数学者の藤原正彦先生をお呼びして公開講演会を開催しました。演題は「日本のこれから」です。

#### 3. 宜蘭ロータリー・クラブとの姉妹盟約締結

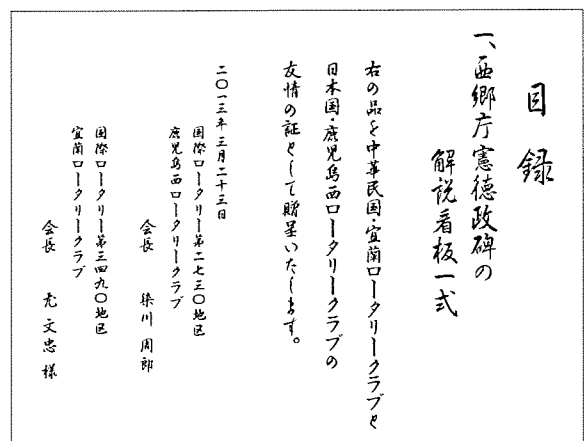
明治期に活躍した西郷菊次郎の縁で、台湾の宜蘭(イーラン)ロータリー・クラブとの姉妹盟約を記念事業の一つに決め創立記念日に盟約締結を行うことにしました。

台湾と鹿児島は明治維新以降、深いつながりがあり歴史的にも文化的にも親しみのある地です。西郷菊次郎の残した偉業はいまでも台湾の皆さまに尊敬の念で受け継がれています。

また東日本大震災には破格の義捐金が送られてきたことも忘れてはならない友情の証です。

#### 4. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会へ30万円寄付いたします。

#### 5. 公益財団法人ロータリー日本財団へ20万円寄付いたします。

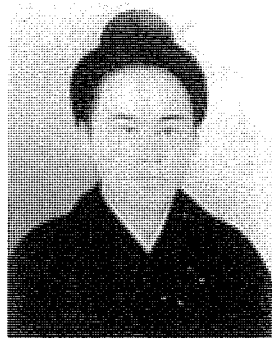


## 西郷菊次郎の生涯

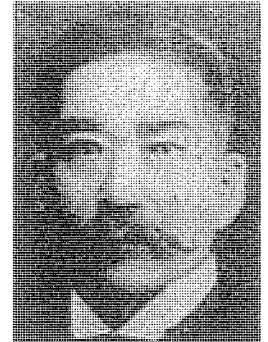
鹿児島市「維新ふるさと館」  
特別顧問 福田 賢治

### 1. 西郷の遠島生活と菊次郎の誕生

- (1) 西郷隆盛の入水と龍郷への潜居
- (2) 愛加那と菊次郎の誕生  
文久元年(1861年)1月2日
- (3) 父 隆盛との再会と別れ



愛加那



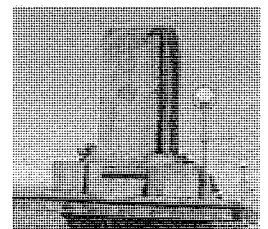
西郷菊次郎

### 2. 菊次郎のアメリカ留学と西南戦争

- (1) 菊次郎のアメリカ留学(明治5~7年)
- (2) 18歳で西南戦争に従軍し右足切断
- (3) 母 愛加那との再会と別れ
- (4) 外務省勤務と二度目の留学



菊次郎生家



西郷庁憲徳政碑

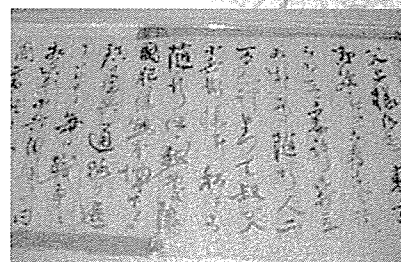
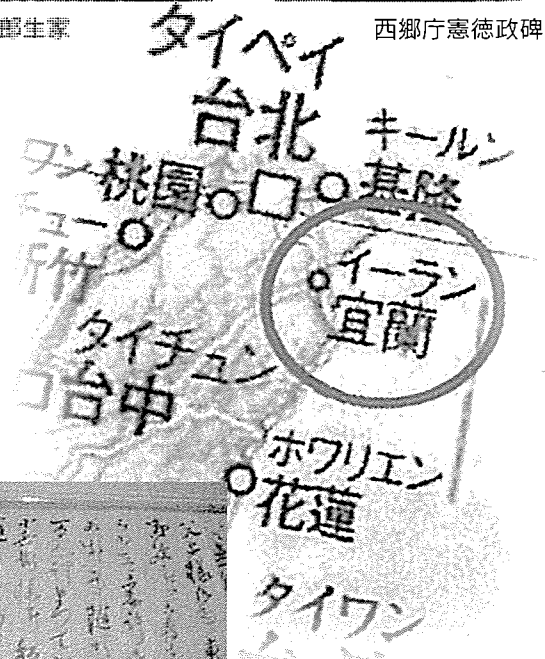
### 3. 菊次郎の徳政と愛加那との別れ

- (1) 台湾総督府勤務と宜蘭での徳政
- (2) 京都市長就任(2代目)と市政
- (3) 西郷従道・愛加那との別れ

明治35年 愛加那66歳で死去

### 4. 鉱業館長就任と菊次郎の晩年

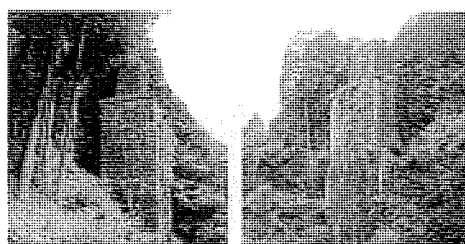
- (1) 永野金山鉱業館長(第2代)就任  
明治45年~大正8年12月
- (2) 菊次郎の晩年(薬師町に居住)  
昭和3年11月27日死去(68歳)



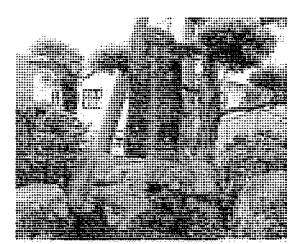
菊次郎の母への手紙



かつての鉱業館・製錬所



旧鉄橋橋げた



菊次郎頌徳碑

# 50周年 記念講演

## 『日本のこれから』

鹿児島には何回か来たことがあります。指宿温泉、霧島神宮など素晴らしい所です。10年前は、日露戦争でロシアから猛将として恐れられた黒木為楨(満州軍・第1軍の大将)の生誕地・加治屋町を取材で訪れました。

「国家の品格」以来、講演会に出るようになりましたが、3人の息子たちはあまり好みません。あまり話すと「国家の品格」の著者なのに品格が無いことがばれるからだそうです。だからテレビ出演は断っています。2年に一度くらいです。ただ妻が、ラジオだけはいいと言うのでラジオには何度も出ています。

日本はここ十数年、改革に次ぐ改革を行ってきました。改革すると普通は良くなるのですが現実には良くなっていません。10年前の方が政治も経済も社会も人の心も、もっと穏やかで良かった気がします。20年前、30年前はもっと良かったのではと思います。政官財や国民がこぞって改革を叫び続けた結果、絆の薄い、競争評価の味気ない世界になってしまいました。一番の問題は、羅針盤を失ってしまい、政治家も官

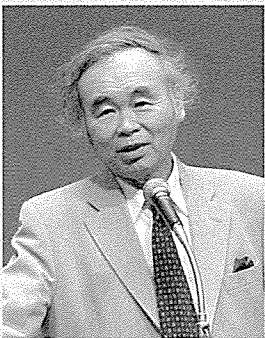
僚も目先の問題を片づけているだけで大局観、人間観、歴史観がまったくないことです。「国民の目線に立った政治」、「世論に従う」などといいますがとんでもないことです。国民に国をリードする能力はありません。国民の言うことを聞いていたら戦争になります。例えば第一次世界大戦は、オーストリア皇太子のセルビアでの暗殺をオーストリアの新聞が過激に報道、国民が激高した結果セルビアに宣戦布告しました。そして同盟を結んでいたロシア、ドイツ、フランス、イギリスが次々と参戦しました。戦争を望んでいた指導者は誰一人いなかったにもかかわらず戦争に突入、何千万人も命が失われました。第二次世界大戦も同様です。日本も3国同盟締結を新聞が国民を煽りアメリカと戦争せざるをえなくなりました。イラク戦争も同じです。

政治家の義務とは何でしょうか。政治家には、国民が心の底で何を不安に思っているのか、どんな悩みを持っているのかをしっかりと洞察して、10年後、30年後を考え手を打つことが必要だと思います。しかし今はこれができない。真のエリートがいなくなってしまったからです。真のエリートの条件は第一に、一般国民とは違う圧倒的な教養を身に付けていることです。教養とは文学、芸術、歴史、科学などです。その上に立った歴史観、人間観、大局観が必要です。第二に、いざというとき国家のため命を捧げる気概を持っていることです。20年前まではその条件を持つ旧制中学、旧制高校出身の人が数多くいました。しかし今は偏差値エリートしかいません。しかも政治家が経済をわかっていません。経済状態は理解できても、その下にある経済学を知らないと経済政策は打てません。経済学は数学です。数学が嫌いな人ばかりです。

消費増税もTPPも意見が真っ二つに分かれてもいいような問題ですが、ほとんどの新聞が一斉に賛成しました。不思議なことです。このことが恐ろしい。戦争の時と同じです。デフレ不況対策が最優先のはずです。地方は痛み、零細企業は非常に困っています。一所懸命勉強して「国のために、国民のために働こう」と思った若者が職に就けない。社会から拒否されています。国ばかりか各県、各市、各企業からも真の

### 講師 藤原正彦氏プロフィール

- 1943年 満州国新京(長春)で生まれる
- 1946年9月 引き揚げ(母であり作家、藤原ていの「流れる星は生きている」に詳述)
- 1966年 東京大学理学部数学科卒業
- 1972年 ミシガン大学にて研究に従事
- 1973年 理学博士(東京大学) コロラド大学助教授
- 1976年 お茶の水女子大学理学部数学科助教授
- 1987年 ケンブリッジ大学にて研究と教育に従事
- 1988年 お茶の水女子大学理学部教授
- 2009年3月 退官



賞 / 第26回 日本エッセイストクラブ賞(1978年) 平成21年度 新渡戸南原賞  
第4回 フジサンケイ正論新風賞 (2004年) 71回文藝春秋読者賞(2009年)

著書 / 研究論文多数の他、  
「若き数学者のアメリカ」(新潮文庫、日本エッセイクラブ賞受賞)  
「遙かなるケンブリッジ」(新潮文庫)  
「国家の品格」(新潮新書) 270万部のベストセラー、「品格」は流行語大賞に  
「ヒコベエ」(講談社) 幼少期の自伝  
「名著講義」(文春文庫、文藝春秋読者賞受賞)  
「日本人の誇り」(文春新書) 昨年4月発売早々ベストセラーとなり、30万部を超す  
「始末に困る人」(新潮社) 週刊新潮の連載  
『藤原正彦・美子のぶらり歴史散歩』(文藝春秋) 今年3月出版 ほか



星大 日本再生のために

エリートがいなくなっています。戦後アメリカ軍は6年半日本を統治しました。戦前の日本は真っ暗だったと歴史、文化、伝統などすべてを否定しました。そしてエリートを根絶するため旧制中学、旧制高校を解体。目的は日本が2度と刃向かわないようにすること。それが見事に実って、今は改革しようにも方向がわからない国になってしまいました。



TPPは、新自由主義という弱い者いじめ、現代版の帝国主義、の決定版です。新自由主義は国中に格差を生み、国家間の格差も広がります。世界中の人が自由を宝物のように思っていますが、自由は束縛しないとはいけません。自由を束縛して、人々がいかに幸せに暮らせるかが重要です。リーマンショックやユーロ危機で、なぜ世界的な経済危機が起こったのか。キプロスは鹿児島県より小さく、ギリシャも人口やGDPは神奈川県ほどです。神奈川県一県がなくなっても世界経済に影響はないはず。それは新自由主義がはびこったためです。タンカーは、1ヵ所の破綻が全体に及ばないように多くの隔壁で分かれています。現在の世界経済は、人、カネ、モノが自由に動くことで隔壁のないタンカー状態になっています。欧米人は気づいていますが改めようとしません。世界レベルで色々な矛盾が起きています。私はあまり政治経済に興味はありませんでした。しかし、新自由主義的な改革が日本を変え、経済を変え、雇用、医療制度が次々と壊され、ついに“国柄”までも壊し始めたことに脅威を覚えて立ち上がりました。

日本の“国柄”とは何か。それはまず、圧倒的にレベルの高い教育水準です。初等教育は3～4世紀に渡って断トツの世界1位でした。教育

のなかでも最も重要なものは国語です。国語の力は識字率(国民の何%が字が読めるか)で計ります。日本の国語力は、江戸時代初期すでに50%でした。全国に寺子屋や塾があり神主や武士、自信のある町人などが勉強を教えていました。当時、最も文明の進んでいたロンドンは25～30%と推測され、田舎で字の読める人は牧師のみでした。ロシアは1900年になっても20%でした。

算数も同様です。400年前の江戸時代はじめ、数学者の吉田光由は「塵劫記(じんこうき)」を書きました。足し算、引き算、掛け算、割り算を算盤でやるやり方です。一番の功績は、数字の読み方を統一したことです。室町・安土桃山時代の読み方は十倍ずつで「一十百千万億兆」。

しかし、江戸時代に貨幣経済が発達すると足りなくなりました。そこで、万と億の間に「十万、百万、千万」を入れ、億と兆の間に「十億百億千億」を入れました。現在の世界で最も簡便な読み方を発明して日本中に広まりました。算数王国日本の始まりです。

しかし、今は国語も算数も重視されません。小学校で英語が必須になり、これには国民の8割が賛成しています。しかし、週に1、2時間程度の勉強で英語は絶対に喋れません。本当に喋りたいなら中学・高校での必死な努力が必要です。今では小学校からパソコンも教えていますが不必要です。日本の自然科学ノーベル賞の受賞者は16人ですが、彼らは小学校で独創性や創造性の取り組みは何も受けていません。野山を走り回り、川で魚釣りをし、叙情小説を読んで涙したり、友達と掴み合いの喧嘩をしたりしていた人たちです。小中学校では国語をしっかり勉強すること、算数の九九を覚え、漢字をちゃんと覚えることです。





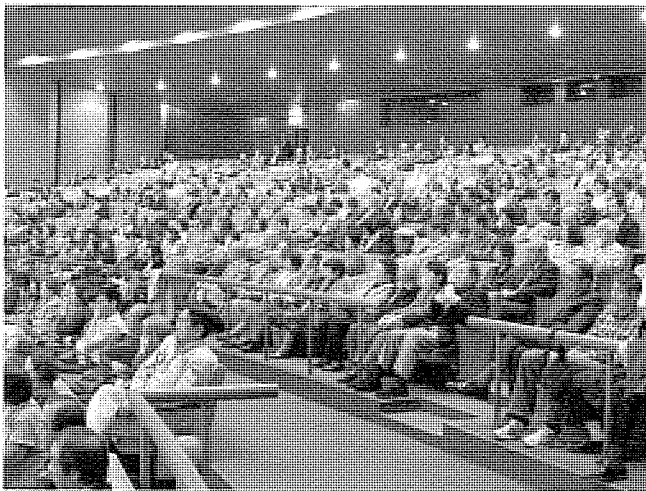
これまでの改革で医療制度は半分壊され、そして今、TPPで農業や国民皆保険がどうなるかわからない状況です。また日本型経営で1970～80年代、一億総中流という世界が夢見たような社会を実現しましたが、バブル崩壊で日本型の資本主義を諦め、アングロサクソン型（現在の新自由主義）に鞍替えしました。マスコミが支持して国民を煽り、株主中心主義、郵政改革、非正規雇用などを認めました。結果的に若者が就職できない社会にしてしまったのです。日本人の心まで壊されてしまいました。1549年に来日したフランシスコ・ザビエルは「日本は不思議な国だ。金持ちが威張っていない。貧乏人が自分を卑下していない」と驚きました。権力者（武士）が一番貧乏で、その貧乏な武士を金持ちの町人が尊敬していました。欧州では、貴族は支配階級として権力、教養、金を独占する存在だったからです。幕末から明治にかけて訪れたヨーロッパ人も「日本人はみな貧しい。しかし幸せそうだ」と言っています。まさに世界ではありえない国を日本は江戸時代に創っていたのです。

しかし、今や日本は金銭崇拜の国になってしまいました。私は法治国家であることは恥ずべきことだと思っています。高貴な国は道徳や倫

理によって自分の行動や言動を自己規制します。政治家には「普通の国になれ」と言う人がいますがとんでもないことです。昔も今もこれからも日本は異常な国でないといけません。日本は“国柄”の力だけでやってきた国ですから。ペリーが来航（1853年）した時、日本中の大名や武士は「絶対に植民地にならない」と決意しました。アフリカやアジア各国はすでに欧米の植民地になっていました。1000年の封建時代と230年の鎖国をしていた日本がいきなり立ち上がり、独立不羈（どくりつふき）は譲らないと身分不相応な、しかし気高い決意を誓った。こんな国はありません。いかに日本が異常であるかわかります。この決意をした時、その後100年の日本の運命は決まりました。

私はペリー来航から1952年（サンフランシスコ条約締結）までを100年戦争とみなしています。この間、日本も幾つかの間違いや卑怯なこともしました。太平洋戦争は大惨敗し、多くの人が亡くなりました。しかし1941年の日米開戦時にアジア・アフリカで6カ国しかなかった独立国が、100年戦争の終わった1952年には100以上になりました。国連で白人諸国と同じ1票をもつようになったのです。帝国主義、植民地主義が終わり人種差別が公式には終わり

ました。日本が国を滅ぼしてまで頑張ったおかげです。歴史学者トインビーは1948年、ガーディアンという新聞に「日本人は帝国主義、植民地主義、人種差別を終わらせるために戦ったわけではない。しかし副産物としてそれらを終わらせるという世界的な大業績を上げた」と書いています。唯一の慰めです。日本は焼け野原になりましたが、その後たった30年で世界第2位の経済大国を創ってしまった。こういった日本人の快挙は世界中の有色人種を感動させ、希望を与えました。圧倒的な“国柄”があったからできたのです。



日本では労働者もみんな字を読み、仕事に誠実で、忍耐強く、時間や納期を守る。日本人にとっては当たり前のことです。しかし、世界にこのような国はなく、まさに異常なことなのです。台湾ではこれらを「日本の精神」と呼んでいるそうです。このような“国柄”は非常に重要です。「貯蓄より徳を重ねる」、「自分の利益より相手の気持ちを察する」など日本人独特の美観、“国柄”が山ほどあります。その根底にあるのは、美しい情緒や形です。日本人の美的感受性は桁違いです。花は華道に、文字は書道に、お茶は茶道にと何でも芸術にしてしまいます。この美的感受性は宝物なのです。西暦500年から1500年までの間、日本で生まれた文学作品は同期間に全ヨーロッパで生まれた文学を質、量で圧倒しています。万葉集や源氏物語、平家物語、徒然草などきりがないほど薫り高い文学作品が大量に生まれました。「もののあわれ、わびさび、幽玄」という言葉は日本人にしか理解されません。しかし千年後には、圧倒的であることが世界の人々にもわかると思います。



文学、芸術、数学、物理学などにおいて最も必要なのは、知能指数でも偏差値でもなく美的感受性です。だから、その根元にある日本の美しい自然と繊細な四季の変化は絶対に守らないといけない。虫の音を楽しんだり、風景に人生を写したりする感覚を日本人は普通に持っています。これは英語が多少うまいよりもはるかに国際人となるため重要な資質です。日本人が持つ美しい形とは、勇氣、慈愛、正義感、忍耐、惻隱などです。惻隱は武士道の中核であり21世紀のキーワードになるべきことばです。

私はこのような“国柄”を日本人はとっくに失っていたとっていました。しかし2年前の東日本大震災は日本中が惻隱で埋まっていました。日本人の底には惻隱の心、自分を捨てて公に捧げることが美しいという遺伝子が入っています。日本の“国柄”が失われていないことは、大震災の悲しい出来事の中で唯一の光明だったと思います。

イギリスの思想家スマイルズは「歴史を振り返ったとき、最も実り多い時代は最も苦境にあった時代だ」と言っています。2年前は津波に原発事故、デフレ不況が重なり、本当につらい時期でした。後世になって振り返ったとき、このころが日本にとって一番実り多い時代だった、と言えるようにしなければなりません。それら困難を乗り越えて今があると思うような国にしなければなりません。そのためには日本人が“国柄”の底にある美しい情緒と形を取り戻し、素晴らしい社会、国家を創ることです。それは、全世界の手本となります。それは祖国日本を救うだけでなく、世界を救い、ひいては人類を救うことにつながります。日本人として生まれてきた本当の意義とは、そのようなかたちで人類に貢献することではないかと思います。



## 来賓・招待者御芳名

◆森 博 幸	鹿児島市市長
◆山下 皓 三	国際ロータリー第2730地区ガバナー
◆山下 チヅ子	国際ロータリー第2730地区ガバナー 令夫人
◆竹 腰 兼 壽	国際ロータリー第2630地区パスト・ガバナー
◆藤 川 享 胤	国際ロータリー第2800地区パスト・ガバナー
◆塚 原 初 男	国際ロータリー第2800地区パスト・ガバナー
◆今 林 重 夫	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆海江田 順三郎	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆安 満 良 明	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆大 淵 達 郎	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆海江田 卓	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆田 村 智 英	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆秦 喜八郎	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆伊 藤 学 而	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆長 峯 基	国際ロータリー第2730地区パスト・ガバナー
◆大 迫 三 郎	国際ロータリー第2730地区ガバナー・エレクト
◆三 木 靖	鹿児島城西ロータリー・クラブ名誉会員(パスト・ガバナー)
◆安 藤 宏	宮崎県北部分区ガバナー補佐
◆池 田 豊 繁	宮崎県中部分区ガバナー補佐
◆岡 野 文 男	鹿児島県北部分区ガバナー補佐
◆重 留 静	鹿児島県西部分区ガバナー補佐
◆小 松 忠 雄	鹿児島県中部分区ガバナー補佐
◆上 村 裕 治	鹿児島県東部分区ガバナー補佐
◆松 田 泉	鹿児島県鹿児島市内分区ガバナー補佐
◆水 居 徹	宮崎ロータリー・クラブ 地区公共イメージ部門長
◆武 昭 一	鹿児島県議会議員
◆大 平 和 男	鶴丸高等学校学校長
◆藍 朝 榕	チャイナエアライン鹿児島営業所長
◆森 孝 晴	サンタローザ友好協会会長
◆楠 元 洋 子	鹿児島一南ソロプチミスト会員
◆内 西 孝 文	鹿児島高等学校 I A顧問
◆山 田 怡 如	台湾蓬萊会会長
◆黄 恭 恵	台湾蓬萊会副会長
◆廖 珮 君	台湾蓬萊会副会長
◆琉 素 韻	台湾蓬萊会会長知人



## 参加者御芳名

### (姉妹クラブ)

#### 鶴岡ロータリー・クラブ

阿部 純次	会長
西川 富美子	幹事
樋渡 美智子	50代会長 姉妹友好委員長 プログラム委員
樋渡 格	樋渡会員ご家族
富田 喜美子	クラブ奉仕プロジェクト 委員会理事
富田 樹	富田会員ご家族
真島 吉也	R情報委員長 国際奉仕委員
阿蘇 司朗	IOC雑誌資料委員 姉妹友好委員
加藤 亨	親睦委員長 社会奉仕委員
木村 節	職業奉仕委員長 SAA出席委員
藤川 享胤	長期計画委員長 米山委員長・PDG
塚原 初男	長期計画委員 IOC雑誌資料委員 国際奉仕委員・PDG (地区研修リーダー)
丸山 隆志	副会長・R財団委員 長期計画委員
富樫 松夫	クラブ管理委員会理事
佐藤 友行	職業奉仕委員会理事
菅原 成規	国際奉仕委員長 地区社会奉仕委員
菅原 恵	菅原会員ご家族
菅原 陽太	菅原会員ご家族
菅原 ひな	菅原会員ご家族
武田 啓之	会員
金 紅蘭	米山記念奨学生

#### サンタローザサンライズロータリー・クラブ

Don Floriani	前会長
Wendy Floriani	前会長令夫人
Steve Amend	前会長 2007-12のSRKSEPの委員長
Kathleen Amend	前会長令夫人
Peter Treleaven	前会長 サンライズRCチャーターメンバー
Marie Treleaven	前会長令夫人
Amanda Treleaven	2001 SRKSEP(第16回)参加学生 弁護士

#### 宜蘭ロータリー・クラブ

尤文忠	Milk	会長
簡淑惠		会長令夫人
林金塗	Apollo	幹事
葉英傑	PDG. Frank	P D G
許桂堂	Michien	国際奉仕委員長
許沈却		国際奉仕委員長令夫人
陳祈昌	Fish	前会長
李春男	Shinnon	前会長
陳蘭生	Safety	前会長
李淑慧		前会長令夫人
李汪澄	Sun	会員
賴鶴文	Nature	会員
黃政信	Mark	会員
劉振奇		黄会員令夫人
賴文典	Cake	会員
高英子		賴会員令夫人
陳志超	Super	会員
黃曉峰		陳会員令夫人
張慶淵	Green	前会長
呂月霜		張前会長令夫人
李英茂		宜蘭縣史館志工
陳秀鳳		宜蘭縣史館志工令夫人
王美華		宜蘭RC事務局員

## 参加者御芳名 (友好クラブ)

### 宮崎県内ロータリー・クラブ

山崎 弘道 (延岡RC)  
達 富 脩 (延岡東RC)  
甲斐 重孝 (延岡中央RC)  
坂本 淳一 (日向RC)  
大原 一 (日向RC)  
桑原 教輔 (日向RC)  
内田 五郎 (宮崎RC)  
山田 剛 (宮崎RC)  
木脇 義紹 (都城RC)  
佐々木 鴻昭 (都城RC)

### 鹿児島県内ロータリー・クラブ

上屋 泰弘 (出水RC)  
濱嶋 栄一 (阿久根RC)  
外園 生一 (阿久根RC)  
下園 満 (阿久根RC)  
上白石 努 (川内RC)  
永里 広己 (川内RC)  
永留 博文 (薩摩川内RC)  
益寄 滋雄 (宮之城RC)  
小平 竜平 (伊集院RC)  
安田 誠 (加世田RC)  
畠野 宏之 (枕崎RC)  
堂園 修務 (枕崎RC)  
中村 隆洋 (枕崎RC)  
竹迫 昭 (枕崎RC)  
松下 一郎 (枕崎RC)  
上木原 貢 (枕崎RC)  
松野下 兼市 (枕崎RC)  
野田 真由美 (枕崎RC)  
俵積田 輝秋 (枕崎RC)  
中村 多聞 (頰娃RC)  
児玉 圭司 (頰娃RC)  
吉村 忍 (頰娃RC)

鈴木 俊二 (加治木RC)  
松田 正樹 (加治木RC)  
神田 敏紀 (加治木RC)  
厚地 健二 (加治木RC)  
小代 正隆 (加治木RC)  
宮本 純孝 (加治木RC)  
平野 健一 (南九州大崎RC)  
山田 勝郎 (志布志みなとRC)  
福山 康 (志布志みなとRC)  
谷川 洋造 (鹿児島RC)  
久米田 彬 (鹿児島RC)  
馬場 甚史朗 (鹿児島RC)  
池谷 俊和 (鹿児島RC)  
桑原 義和 (鹿児島RC)  
永田 行博 (鹿児島RC)  
奥山 卓 (鹿児島RC)  
上原 一八 (鹿児島RC)  
日高 文治 (鹿児島南RC)  
今村 正人 (鹿児島南RC)  
上川 咲男 (鹿児島南RC)  
中拂 尚平 (鹿児島南RC)  
宮田 一男 (鹿児島南RC)  
武井 美智子 (鹿児島南RC)  
上原 勝 (鹿児島東南RC)  
松元 保 (鹿児島東南RC)  
坂元 直人 (鹿児島中央RC)  
三井 政義 (鹿児島西南RC)  
森田 五男 (鹿児島西南RC)  
赤崎 安隆 (鹿児島城西RC)  
松ノ下 竜馬 (鹿児島城西RC)  
濱田 紘一 (鹿児島城西RC)  
永田 眞一 (鹿児島城西RC)  
村田 恵美子 (鹿児島城西RC)  
畠田 実 (鹿児島城西RC)

西村善昭 (鹿児島城西RC)  
 瀬川英憲 (鹿児島城西RC)  
 清水卓 (鹿児島城西RC)  
 内倉厚弘 (鹿児島城西RC)  
 有村茂樹 (鹿児島東RC)  
 東洋一 (鹿児島東RC)  
 池田剛 (鹿児島北RC)  
 横山誠二 (鹿児島北RC)  
 野元博志 (鹿児島サザンウインドRC)  
 赤塚晴彦 (鹿児島サザンウインドRC)  
 庄司教克 (鹿児島サザンウインドRC)  
 小山田吉治 (鹿児島サザンウインドRC)  
 平田宗興 (鹿児島サザンウインドRC)  
 池田耕夫 (鹿児島サザンウインドRC)  
 川原篤雄 (鹿児島サザンウインドRC)  
 高良次男 (鹿児島サザンウインドRC)  
 松下和裕 (鹿児島サザンウインドRC)  
 右田省二 (鹿児島サザンウインドRC)  
 森山隆治 (鹿児島サザンウインドRC)  
 松藤いずみ (鹿児島サザンウインドRC)

押井啓一 (鹿児島サザンウインドRC)  
 中村聡 (鹿児島サザンウインドRC)  
 小川ちえみ (鹿児島サザンウインドRC)  
 佐藤俊一 (鹿児島サザンウインドRC)  
 高岡茂 (鹿児島サザンウインドRC)  
 田中応征 (鹿児島サザンウインドRC)  
 梅木安子 (鹿児島サザンウインドRC)  
 横山武博 (鹿児島サザンウインドRC)

**鹿児島西プロバスクラブ**

吉武和臣

**元鹿児島西ロータリー・クラブ会員**

小林勉 大野達郎  
 池田勝一郎 桐明桂一郎  
 野添良隆

**鹿児島西ローターアクト・クラブ**

福永千裕 橋本真梨子  
 弟子丸浩徳

**鹿児島西ロータリー・クラブ**

有馬戦男	岩田泰一	松山下賢司	玉川哲生
天本美信	岩切一豊	三木武幸	水流洋
庵木英雄	居迫大作	間崎徹也	竹下山義
有村仁志	伊東安男	長柄英男	高山利賢
鮎川吉弘	古木圭介	中村英幸	徳留忠敬
大堂福厚	川平建次郎	中園雅治	田畑勇
江口清隆	川畑宏二	西川敏洋	田中藤雄
深尾兼好	上村國博	小田代憲一	内村二郎
藤安秀一	小正芳史	大山康成	上之園正幸
福元紳一	海江田嗣人	須田正己	山田元正
銚之原大助	小山光義	染川周郎	山元晴彬
日高好久	菊永昭二郎	坂木貞剛	山之氏秀
濱田悦一郎	久保富広	諏訪園隆明	古木典子
濱崎一親	川村清和	櫻美義信	海江田ヒロミ
原野秋徹	水田和雄	鮫島英一	七枝津喜恵
萩原基	南森俊英	迫福大郎	向井房子
岩元惠	森前田義博	坂之上忍	北新知美
池口男秀	養田満康	太原春雄	



## 鹿児島西ロータリー・クラブ 50周年記念座談会

# 50年を振り返って

**出席者** 33代会長 岩元 基・34代会長 玉川 哲生・35代会長 高山 義則・37代会長 太原 春雄・40代会長 水流 洋・42代会長 岩田 泰一・  
43代会長 山下 皓三・45代会長 古木 圭介・46代会長 川平 建次郎・48代会長 南 徹・49代会長 玉利 賢介・50代会長 染川 周郎

**広報委員会委員長** 上之園 正幸 **司会** 深尾 兼好

### 上之園：広報委員会委員長挨拶

前回40周年の記念誌を作った際に、会長座談会をして、非常に好評だったと伺っています。私もまだ3年目ですので、この10年がどうい期間だったか全然知りません。今日、ゆっくり食事を交えながら、お酒を交えながら、みなさんの会長さん・幹事さん時代のご苦労話とか聞かせていただければ、新しい会員の私たちにとっては非常に参考になりますし、またがんばろうという気持ちになるのではないかと思います。後輩に教える意味も込めまして、忌憚りの無いところを教えてくださいますと非常にありがたいと思います。今晚はよろしくお祈いします。

### 司会

40周年の時は、31代会長から40代会長・幹事さんにお集まりいただきました。その10年を中心に語っていただいたのですが、「今回は50周年全部を語ろう」ということで、会長経験者の皆様にお集まりいただきました。まあ、西クラブの昔と今ということで進めていただければいいかと思います。ただ、特に41代から50代までの会長さんにはその時の事業や、ロータリーを変えたこととかを中心に語っていただけたらと思います。それでは、乾杯を50周年の実行委員長である古木さんにお祈いします。



広報委員会委員長 上之園 正幸



司会 深尾 兼好

### 古木

50周年の思い出がこうやって記憶に残るわけですから、いろんな楽しい話を聞かせていただければと思います。初代の日本ガスの櫻美四郎さん、そして今は2代目の櫻美義明さん、2代目の藤安秀一さんがいらっしゃいますが、皆さんにも大変お世話になりました。そういう方々がおられた時代もありました。ということで、50周年のイベントも成功に終わりますように。いろんな形の50周年があると思います。我々の形を作る50周年になればなと思います。今日はよろしくお祈いします。それでは、乾杯!

— 歓談 —

## 1・会長紹介

### 司会

まず、各年度の一番の思い出を語っていただきます。

まずは33代会長  
岩元基さんから  
お願いします。



33代会長 岩元 基

### 岩元

私が会長の時は何もなかったように記憶しています。幹事の時はいろいろあったんですね。サンタローザとの姉妹盟約がありまして、サンタローザでは古木さんと七枝さんには大変お世話になりました。あの時は連休を利用して4月27日～5月5日まででしたね。



34代会長 玉川 哲生

### 司会

そのことは後で詳しく聞きたいと思います。では、34代目会長  
玉川哲生さん。

### 玉川

僕の幹事は森永さんでした。財務に詳しい方で助かりました。私の時は事務局トラブルがありましたね。ロータリーには、迷惑はかけずに済んだんですけど、でもそのことで色々改善することができ、その後、事務局運営の管理徹底がはかられた。事務局の就労規則ができたのもこの頃です。そして、誰かいい人はおらんかと探して、向井さんに戻ってきてもらったんだよね。

### 岩元

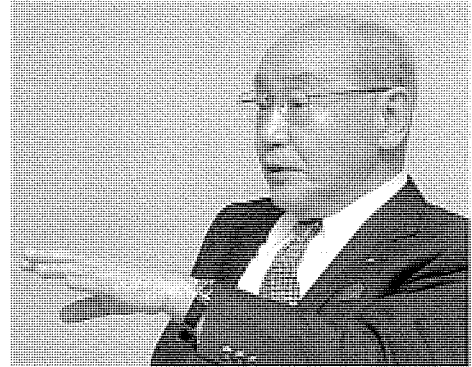
私が引き継いだとき西クラブにはお金がなかったですね。それで、幹事が非常に困りまして、「予算が組めない」「どうしよう」と話をしました。それから小園さんに相談しに行きました。それで、年会費が半年で8万5千円だったんですけど、それを玉川さんの時に9万5千円に引き上げて、無事繰り越すことができました。中川幹事が大変苦労したのを覚えています。

### 司会

財務改革を行った年だったんですね。

### 高山

僕が会長だった時、ガバナーは図師静雄さんでした。図師ガバナーは高齢者にも力を入れており、初めてプロバスクラブを作りました。13名から始まって、今は16名だけけど…会員も100名を目標にがんばってました。(一歩手前の99名か98名まではいったんだけどな) つい先週、プロバス例会は183回にもなりましたよ。



35代会長 高山 義則

### 太原

僕の時は、村田和雄くんという熱心な幹事だった。村田くんはRCに熱心で、会員増強を目標にしていたよ。鹿児島RCを追い越そうと、目標は100名で、実際に100名達成しました。34代目会長の玉川さんの時も100名達成しましたよね。

### 水流

ちょうど10年前ですね、40周年の時に会長をしました。福田さんから「40周年は小山さんが会長になるから、その次はお前がやれ」と言われて「はい」って返事しちゃったんですね。小山さんは夏までは来てたけどその後ずっと来られなくなり、おかしいなと思ったら病気で入院されてました。そして「会長無理だから、お前やれ」って言われて、いきなりやることになりましたよ。幹事もしたことがない私を、みんなで盛り上げてくれ、みんなでやろうという西クラブの良い所を今後続けていかなきゃなと思ってます。

### 岩田

国際ロータリーの100周年で市民広場に時計を設置しました。山下さんの時はベンチをつけた。記録に残って記憶に残ったことができよかったです。ああいうことをするのは良くないという人もいるが、記念に残るから、できれば毎年、何か一つ記念につくってあげようと思います。あと、玉川さんが会長の時に増強委員もさせていただきました。たくさんの人に入会していただいて、さっき言ったように、100名近い方々にね。あと、国際大会では京都の割烹屋に行きましてね、岩切さんの紹介でね。それと山形の鶴岡にも。その帰りに仙台に行って牛タンを。その美味しかったこと。そういうことしか覚えてないなあ。江口君が幹事をしてくれて、その直前の幹事の榎田さんに勉強に行きました。

## 太原

ガバナー事務所にね。

## 岩田

そう、2003年には地区幹事をして、ほとんど毎日事務局に足を運んだ。でもほとんど海江田さんがご自分でされて…こないだ私が知事表彰を受けた時にも、海江田さんから長い手紙をいただいて、ほんと心ある人だなと感じました。

## 司会

43代会長山下皓三さん お願いします。

## 山下

僕の年度は、大きな行事はなかったです。岩田さんが時計台を贈り、僕らはベンチを作らせていただきました。こないだ、RI会長代理が地区大会で来られた時「この地区のクラブで実績を残しているところ、証拠になるものが報告として必要なんだ。だから、そこを写真に撮りたいから教えてくれないか」と頼まれたものだから「ありますよ」とすぐ答えましたよ。そこで時計台とベンチと見せに行きました。西クラブのものばかりでしたけど。それと、伝統と歴史ということで、鹿児島での郷中教育が忘れかけられてるので、ロータリーでも何かできないかな?と考え、深尾さんと4世代フォーラムというものをさせていただきました。



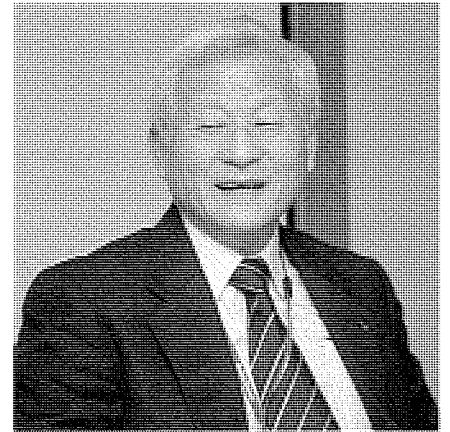
43代会長 山下 皓三

## 古木

私は大きな行事は何もしませんでした、一つだけ印鑑を押したことがあります。岩田さんの時つくられた時計台を、鹿児島市から移設してくれと言われて、いろいろもめました、私の時に逆側に移設することになりました。ネパールにも33頭の牛をもって行きました。海外と具体的な交流があったのはサンタローザ以来でした。私の時のガバナーが延岡の田村智英さんで、呼ばれる度に移動が大変だったという印象があります。地区大会も皆さんたくさん参加して、ホテルに泊まって、帰りに伊勢エビか何か食べましたよね?旅に行った記憶って覚える。鶴岡の大会にもみんなで行って仲間意識ができました。サンタローザも、きっかけをつくったのは外西先生(26代会長)が会長の時ですね。そこで羽織袴で能をなさったのがすごく印象に残っています。アメリカの人たちがすごく感動して…。サンタローザはその時がスタートだからもう26~27年交流が進んでますね。

## 古木

あとは、三角桂次郎さんが会長の時に、もともと例会場だった、鶴鳴館が閉まるということで、内山光男さんと西駅周辺を一所懸命探しました。その時に川村宏(山形屋社長)さんが「この狭い所でよかったらただで貸すよ」と言われたので「そこに移るが!」と…でも、今度は曜日がですね。我々は木曜日に例会をしていたので、木曜日は鹿児島東クラブが入ってたんです。水曜日なら空いていました。でも、皆さんに諮ったら「曜日を変えてはならん」と言われまして「曜日を変えたら俺はやめるぞ」と言われましたが、誰もやめなかったんですよ。結局は…。それで、投票しようということになって(その時の会員が50人ぐらい)投票しましたら、1票差で山形屋に決まったという! まあそういう経緯があって、結局山形屋で水曜日ということになりました。



45代会長 古木 圭介

## 川平

天本さんに「私が幹事するから会長してください」と言われ、やることになりました。ちょっとすったもんだありましたが、会長を引き受けることになりました。それから、天本幹事が「鶴岡ロータリー・クラブ50周年に、50人を引き連れて焼酎を50本持っていきましょ!」とキャンペーンをしてくれました。おかげさまで家族を含めて47名を募ることができました。焼酎は53本になりました。この前、50周年PRのために染川会長と行ってきましてけれども「今度は私たちが行きますよ」と、意気込みがありまして、恐縮した次第であります。もう一つ、私の年度の理事会で決めましたことは、出席規定の内規を取り上げまして、あらゆるクラブの活動に参加された場合は、メーキャップになるという制度をつくりました。これは、福田正臣先生から、非常にブーイングがありましたが、クラブの活動は全ての奉仕活動に結びつけることができると判断しまして、これを理事会が決めたメーキャップとして今は活かしてもらっています。

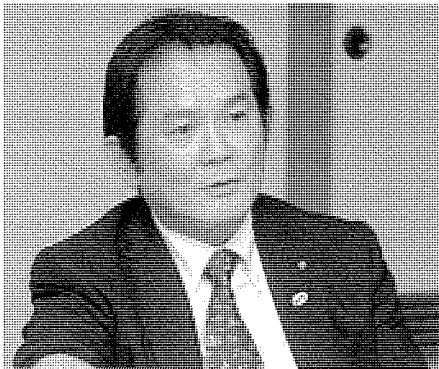


46代会長 川平 建次郎

南

会長というのは、70代が過ぎた頃に。会長は幹事さんをなさってから、と聞いておりましたが、ちょうど私が会長になったのは61歳。還暦が過ぎた明るる年でした。野添先生が会長をなさっていた頃で、僕に「幹事になってくれ」という話がありました。仕事の都合でどうしてもお引き受けできないと固辞しました。引き受けないということで会長はありえないと思っておりましたが、晴天の霹靂で、寝耳に水でございました。さらに、川平先生からの若干の脅しもありまして…いや、かなりの脅しがありました。「言われたことを断るとするのはロータリアンの最大の恥である」と。僕は会長になったらどうしてもやりたいことがありました。僕はアメリカで人生半分育った男ですが、ロータリーはアメリカの中ではなくて、日本の文化があるはずだと。徹底して日本の文化を持ったロータリーっていう考えを会長として話をしたい。反発を受けるだろうけど。でもロータリーに日本人としての文化があってもいいんじゃないかということで毎回お話をさせていただきました。

とにかく、会長になるのはありえないことだ、とずーっと思ってたのが、突然こういう形で、おそらく61歳で会長になったのは一番若いんじゃないかと思うんですけど。会長になるということはすごく勉強させていただくことだなと思いました。



48代会長 南 徹

玉利

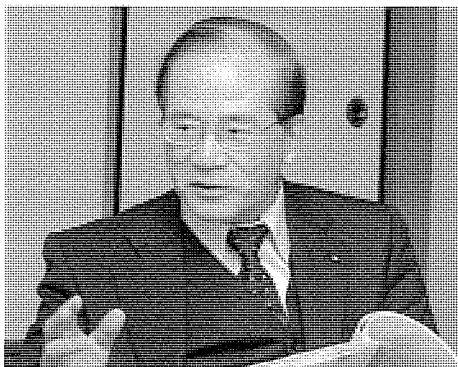
49代の玉利です。私の場合は、50周年が目の前だということで50周年の準備期だというつもりで1年間がんばってきました。この詳しい話は本番で。



49代会長 玉利 賢介

梁川

会長経験者会議ですよ、まあ正直言いましてね、私は嵐の中で一所懸命船を漕いでいるという心境でございまして、景気も関わる心境でございまして…以上です。



50代会長  
梁川 周郎

皆

はははは

司会

肝心なところが一番短い。いま聞いただけでもおもしろいですね。20年でうちのクラブ、ものすごく変わってますね。一番最初、財務とか、組織の整備を岩元会長、玉利会長がされてますね。そのあとは、新しいプロバスとかアクトとかというような形に変わってきてますね。そして、県外とか海外とか交流に西ロータリーが発展してるなど、今、聞いてそう思いましたね。幹事の時代、新入会員の時代、皆さん当然ありますね。そのときのロータリーと、今がいかに変ってるか？そのあたりをこの50周年を機に語っていただけますか？

## 2・鹿児島西ロータリーの昔

岩田

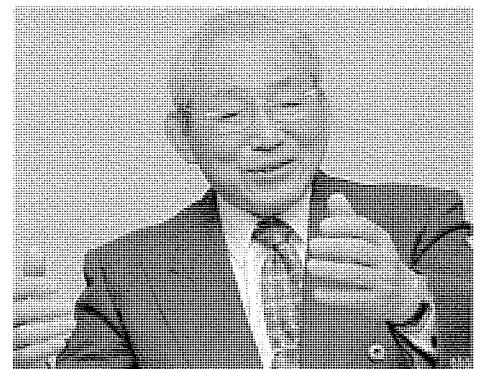
僕は入会したときは食事が喉を通らなかった。しばらくは、「やめたい、やめたい」と。だんだん図々しくなってきた、今はそんなことはないけど。長年おると馴染んでくるけど、私も30年ぐらいかな？

古木

僕はそのあと入りました。私が27才になった頃、現役で海外ばかり行ってたものですから「JCに入るよりロータリーに入れ」って父に言われて入ったんですよ。普通は、JCを勧めますよね。推薦者は椋鳩十先生と新福栄熊先生で、二人とも非常に重鎮でありまして、椋先生がちょうど会長をしてらっしゃった。まあ非常にユニークな例会だったと記憶してます。あのころ外科医の瀬戸山さんという方がいて、ローターアクトの鬼でした。その時はローターアクトは40人超えてたんですよ。

水流

60人いたこともある。



40代会長 水流 洋

古木

その時はすごく活発だった。今はローターアクト苦勞してますよね。そういうことを考えると、あの時代の背景だったからそうなったんだろうなと思う。若い人たちも選択肢があまりなくて。ボランティアのグループがあまりなかったんですよ。今は多様化してボランティアのグループはいっぱいあるから、もうローターアクトに入らなくても他でやってる。そんな感じじゃないですかね？

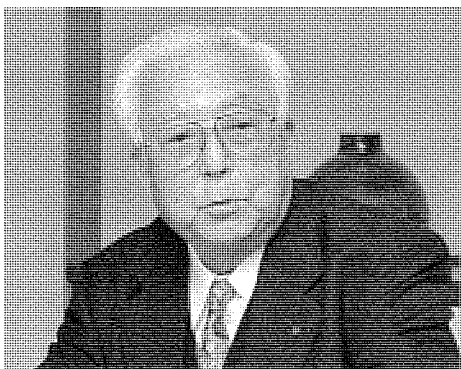


### 3・鹿児島西クラブの今と昔

太原

私も西ロータリー・クラブに入って30何年になりますけど、途中途中で非常に熱心なロータリアンがいましたね。その頃はクラブに締りがありましたね。私が入った頃はクラブに風格があるというか、ほんとに幼稚園みたいですよ。それに、出席が非常にやかましい頃でした。今度はどこにメーキャップに行こうかと、そればかり考えるんですよ。本クラブに6割出席しなければ退会とかね。ああいうのはもうないですね今は。なんか、ゆるんじやったなあ。私らの入るときは、西クラブは高嶺の花だった。敷居の高いクラブで、なかなかおいそれとは入れない時代でしたよね。

すごく今の会長さんが大変だなと思うのは、会長挨拶を毎回週報に載せるということですよ。図師ガバナーという方が言い出したんですよ。それまでは会長挨拶は「今日もよか天気だった」というような話で始まってたんですよ。今の週報を見ますとね、会長は「クラブを鼓舞する話をしなさい」と書いてあるんですよ。あれはどんなもんかなーと。今、一所懸命話されることを聞きますけど、あんまり読みもしないんじゃないかなあ?やめたらって言いたいけど。



37代会長 太原 春雄

### 4・プロバスクラブについて

司会

高山先生はプロバスを作られましたよね。現在はすごいグループになりましたけど、その話をちょっとしてもらえますか?

高山

プロバスは、図師さんが言われたんですよ。たぶん鹿児島市内では最初じゃないかな?それで、榎田さんとお互いいろんな人を探して、知り合いを集めていったんですよ。会場をどこにするかってことが問題で「高齢者は交通の便が良く、部屋が変わらない所でせんといかん。それと、高齢者は会費が高くてはいけない」と。それで、今のワシントンホテルになったんですよ。1000円でおつりがくるとこは、ワシントンホテルのチャイナテーブルの860円だったんです。また、忘れないようにということで、荷物になる会ですから第2木曜日に決めたわけです。電車もバスもあるし、まあ街には近いし、それで続けるのかもしれない。

太原

あの、プロバスの方針として日本の協議会や地区の協議会には属さない活動をするということですよ。そういう形を目指されたんですか?

高山

最初はそうでした。高等学校の校長先生だとか、高校の先生だとか、一応それなりの人を揃えていますよ。患者さんで中学校の校長先生方とかにお願いをしましたよ。みんな途中で「俺はついていかれん、やめる」って方はいなかったんじゃないかな?亡くなってやめられた人はいましたが。



42代会長 岩田 泰一

岩田

西クラブとは  
どういう関係に?

司会

社会奉仕で予算は  
組んでいます。微々た  
るものですが、  
支援をしています。

高山

今はですね、あのチャイナテーブルがつぶれましたので、あそこの一番上のガスライトに移して、1000円会費でやってる。

司会

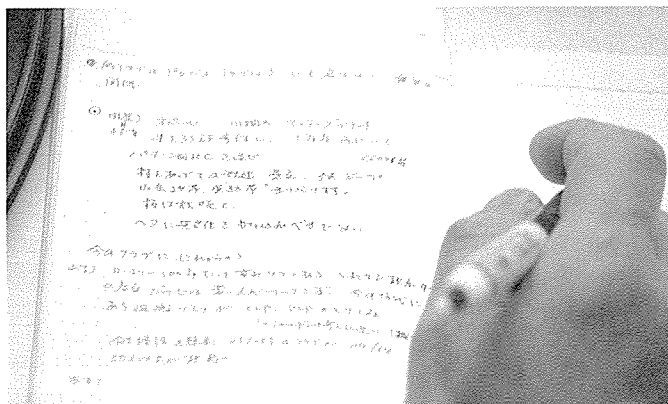
すごいですよ。卓話したり、こんな活動してるプロバスクラブは無いです。

岩田

岡崎さんの卓話もね。あれなんか、なかなかまとまって良かった。

高山

卓話は183回しました。



川平

図師ガバナーがプロバスクラブを提唱なさったんですが、その当時の手続き要覧に社会奉仕の区分けがされていて、若年層に対する奉仕のあり方、高齢者に対する奉仕のあり方、というような小分けです。プロバスクラブのような組織の創設を支援する、というような書き方をしています。ところが、プロバスクラブというのは独自の団体で、オーストラリアに本部がある世界的な組織なんです。それで「本当はプロバスクラブっていうものをロータリーの中に組み込んではいけない」とその当時、相当食ってかかったんですけど、「のような」

と書いてあっただけで、プロバスクラブを作れとガバナーがおっしゃった。おまけにその認証状は、オーストラリアから取り寄せるんじゃないかと、図師ガバナーが認証された。こんなへんてこりんな形で、いつクレームがつかかわからないということを相当に進言しましたが、いい人たちが集まって愉快的な会合になっていますので、目をつぶることにいたしました。私も随分いろいろな人を紹介して入会していただいています。それで、社会奉仕の一環としてクラブに支援することは、やぶさかじゃない、と私はいつも申し上げているわけです。ロータリー・クラブの正式な地区大会とか、そういった所にお呼びするのはいかがかな?とそういう点を心がけていただいているつもりです。

太原

プロバスはどういう意味なの?

川平

プロフェッショナルとビジネスを足してる。

岩田

RIと関係ないんですか?

川平

全く関係ありません。そして、うちにプロバスクラブがあるということを、オーストラリアの本部は掴んではいけないわけです。だから、非常に問題は大きいのですが、ロータリーの高齢者に対する奉仕という形で実行に移している。

太原

しかしロータリーが推奨してるんじゃないの?

川平

推奨されたのは、図師さんだけです。それで、規約について明るい日本事務局の大木さんという方が来られた時に伺って見ましたが「2730地区だけだ」ということをおっしゃっていました。

## 5・ネパールの話

司会

もう一つ、太原先生。ネパールについてお話ししていただけますか?

太原

これはね。そもそもは川畑くんですよ。川畑くんがマッチング・グラントで、2年ぐらいかかったと思います。牛をあげて、それをふやして、豊かになるような援助をしようじゃないかということでした。牛が33頭、それがいつどうしていったのか、僕らは知らなかった。それで、一年ぐらい経ってから「あれ、どうなったかいつペン見に行ったらどうなんだ」「行ってみようや」ということになりまして。まあすごい所でした、道が。

古木

先生の年齢で、あの山奥まで行ったことが信じられない。あの時、先生85歳じゃなかったですか?インドからもすごくたくさんの援助要請があったのね。ネパールからも。それで、RIの日本事務局にいろいろ手続きをしたら、もうまどろっこしくて全然だめなのね。川畑さんは語学力があるから「じゃあ直接RI本部に連絡しよう」と本部と川畑さんがやり始めたの。そしたら、すごくスムーズにいき認証がおりて、すぐ承認ができたんですね。そこで、マッチング・グラントですから、うちのクラブとサンタローザと鶴岡を巻き込んだんですね。「再度やりたい」と鶴岡に頼んだらOKがきた。今度はネパールサイドをどうしようか、となった。ネパールのカトマンズのバタン西RCの人からの要請だった。ネパール、インドは非常にわからないところで、お金だけ送っていたらそれがなくなるという恐れもあったので、私が一番信頼してるネパールの知り合いの男に「ちゃんとしているかどうか、ちょっと調べに行ってくれ」と頼み、バタン西の調査に行ってもらったんです。そして、その男から「大丈夫だ」というメールが来て、それから川畑さんがインターネットでやり取りして、33頭の牛を贈ることにした。6千600ドルをそこに送金したんだよね。バタン西RCから「33頭買いました」と連絡があった。そして、半年ぐらい経ってから、じゃあ行きましよう、ということで太原先生を団長に行きましたね。



## 高山

50キロ離れたそこは5時間かかった。川には橋も無いんですよ。僕は農業をしたからわかるけど、33頭の牛をあのきつい道を引っ張って行けない。せいぜい引っ張って行って一人で3頭ですよ。僕は着く前からずっと見てたけど、牛はどこにもおりません。牛を見たのはたった2頭か3頭よね。

## 太原

その部落は人口1300人の山岳部落なんですよ。一年中裸足で歩いている。あれは亜熱帯かな？山岳地帯でもぬくいとこなんですよ。それで、生活できているんです。

## 古木

あそこは南の方にありまして、ヒマラヤからちょっと離れてるんですよ。



## 高山

町はそれから更に20キロ先でしたよね。

## 岩田

私はその集めた金が牛に変わって、ちゃんと使われているのが気になるね。

## 古木

それは信じるしかないですよ。

## 南

援助を世界各国いろんな所でやりますけれども、たいてい日本の場合は、そうやって供給はするんですよ。しかし後のフォローが99%無いんですよ。ですから、もう一回確認をぜひしてもらいたい。

## 古木

牛は増えてると思いますけど、疑いだせば援助はできないので、ある程度のところでやらざるをえないんですよ。

## 高山

後ろの山に、どっかから貫ったって植樹園もありました。

## 南

だけど、何年後かにはなくなっています。それを確認に行くためのボランティアではなくて、今度は別のボランティアをすればいいんじゃないでしょうか。そうすることで「いつもいろんな形で助けてくれるな」と思ってもらえます。やった後に全然何もしない、どうなったか後で調査に行く、この2つはだめです。そうではなく、定期的に行って別のかたちで、奉仕する方がいいです。

## 6・ロータリーのこれから

### 司会

西RCは変わってきています。組織を変えたいロータリーの本質や原点をもっと追究したいなど、今とこれからのロータリーについて山下さんからお願いします。

### 山下

100年経ってだいぶ変わってきたという印象です。それまでは理念中心だったけど時代の変化で理念と実践になった。DLPとCLPを推奨しなさいということだと思います。今までの組織は職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、クラブ奉仕、新世代奉仕を中心にやってたけど、それだけじゃどうにもならないようになってきました。だから組織を変えていくには、時代背景に合わせた組織づくりをしていかないと多分若い人たちは入ってこない。今、クラブ内を見てると3分の1は衰退してます。会員増強が限界を迎えてる。だから組織を変えていかないと。クラブの中に「ロータリー活動をやろう!」というしっかりした人がいれば、20名のクラブでも将来を見てたら伸びていく可能性があります。

## 7・新しい奉仕のかたち

### 司会

うちのクラブでもユニークな奉仕活動があるのでしょうか。南さん、お願いします。

### 南

ロータリーを海外と比べるとわかるんですが、ロータリーは全く新しい時代に入ってると思うんです。ロータリアンとして、「俯瞰する力」と「先ず隗より始めよ」が大事です。この二つのバランスをどうとるかです。今まで「ロータリアンは政治に関与してはいけない」など禁止がいっぱいあったけど、今の時代はそれらをしないといけないと思います。日本のRCは皆さん素晴らしいメッセージを持ってののに、世界のクラブの中では高齢者クラブが多くなっています。理念はある程度は御存知でしょうが、深くは考えてらっしゃらない。若い世代はほとんどロータリーに興味を持っていません。俯瞰する力を養えば、CLP・DLPがものすごいメッセージを出すような気がします。カンボジアの人たちはロータリーに沢山助けられています。幹部の皆さんはほとんどロータリーのことを知りません。これはロータリーの力を知らしめないような、何か別の力があるからではないでしょうか。今、ロータリアンとして世界に出来るのが何かあるんじゃないかと思っています。

### 司会

クラブで何かしようとする時に一番問題なのは、クラブ細則や規則に従わないと出来ない。そのあたりのことをお願いします。

### 川平

うちのクラブはあまり内容的に変わらないと思います。ロータリー本来の姿を守っているから。うちのクラブは幸いにして理事会決定事項しか実行に移されないと決められています。CLP・DLPだろうと構わないという態度でいいと思います。但し、今度のガバナー年度で6部門として、会員増強しよう、クラブを運営しよう、奉仕活動しよう、ライラ・米山を活用しよう、広報・イメージを大事にしよう、という区分が行われました。これがクラブに持ち込まれれば理事会の形式ももしかしたら変わるのかもしれないね。

## 8・これからの西ロータリー

玉利

海外で近くにクラブが無い。そこで一番に台湾が思い浮かびました。玉川会長が日本と台湾の交流協会の会長をやったこともありますし、宜蘭には西郷菊次郎がいたことにこだわろう、ということで、決まりました。うちが姉妹盟約を結んでいるのは全部、島津・西郷と関係がある所です。宜蘭市の中に4つクラブがありますが、そのうち宜蘭クラブだけが83名です。

他にも、米山奨学金でつくったクラブがあって、そこも検討しましたが、やっぱり接点がある宜蘭が良いと思いました。それで昨年3月、皆で行って話をしてきました。サンクローザは長澤鼎ですが、こちらは西郷菊次郎のつながりです。やはり、こだわったからできたんだと思います。だから全てにおいてうまくいきました。

## 9・ラスト

司会

話は永遠に尽きませんが、これからの西クラブについて建設的な御意見を、染川さん、お願いします。

染川

20年前に入会した時、例会はものすごく厳格な雰囲気、私語禁止など厳しかったです。いま会長をやってみて、毎週毎週乗り切るので精一杯です。3クラブ合同のガバナー公式訪問の際にも申しましたが、自分の中にあるロータリーの存在意義と、国際ロータリーの考えるそれとは全然違うことに初めて気がつきました。国際ロータリーの理事が書いた記事に「ロータリーは存在意義を紛失している」とありますが、私たちは「異業種の会員相互の交流による自己改善の場であり地域社会に貢献する」という従来の認識を持っています。今はもう、そうじゃないんです。「人道的奉仕活動の社会的ネットワークを構成する」です。アメリカはRIの方向になっていくんでしょね。それがすぐ我が西クラブに反映することはないでしょうけど、徐々にになっていくでしょう。今期・次期会長にどう対応していけばいいのか、正直言ってよくわかりません。ガバナーにCLPの導入を言われて、申し訳ないと思ってるんですけど、地区大会・50周年記念事業でCLPについてきちんとこのクラブで議論する機会もないまま今日に至っています。だけど、今後も続くテーマであることは間違いありません。地区内では良い活動をしているクラブだとは思いますが、10年、20年先どうなるのかがよくわからないから、間違いなく議論しないとイケないでしょう。

山下

せっかくの50周年だからこれまでロータリーをつかってこられた先輩、自分の関わってきた先輩方を振り返ってほしいと思います。私が入会した時は学習会が始まってから一年経ってない頃でした。鶴鳴館の2階ロビーで6時半からスクール形式で山下先生の講義を聞いてそのまま帰る、というものでした。それまでのロータリーは話す機会がほとんどありませんでしたが、鮫島先生からは「出てきた時は一言しゃべりなさい」と言われました。32歳で入会しましたが20代の頃、声はかかってたんです。でも柴山先生に駄目だと言われて3年待ちました。そういう時代でした。奉仕に強い人、親睦に強い人、リーダーシップのある人、多様性に長けた人、色んな方々が西クラブには揃っていて、そういう先輩方が築かれてきました。思い出になる方が沢山おられますので、そういう話もしてみてもどうでしょうか。



川平

補足ですが、この50年間でうちに在籍された方は計440名ほどでした。

水流

私が入った時はちょうど池田廣先生と柿市さんが幹事をされてて、私は研究職をやっていたので「ロータリーは何ですか?」って質問をしましたね。入ってみてびっくりしました。今まで異業種の方々とお喋りするだけだと思っていたので。おかげさまで、いろんな方々のご意見をお聞きしながら成長することができました。ありがとうございました。

染川

3月に宜蘭と姉妹盟約を結びましたが、これは玉川さんのご尽力の賜物ですが、どことは申しませんが、他のクラブから「非常に良い所と姉妹盟約をされますね」と大変うらやましがられました。そのクラブは東南アジアと姉妹盟約を結んで大失敗だったと言っていました。やはり同じくらいのレベルの所と結ぶとうまくいくんじゃないかと思います。それから深川先生に「西クラブの姉妹クラブは歴史的背景がある」と申しましたら「そういうのが一番大事なんだ」とおっしゃって、嬉しかったです。

司会

予定の時間が過ぎ、話は尽きませんが、最後は染川さんをお願いします。

染川

実は皆さんご承知の通り、次期会長を選んだ時、僕は2票でした。正直申し上げて、3月が終わるまでは責任重大という気持ちで実行委員長も幹事もしっかりされてるので心配はしてないんですけども、一抹の不安はございます。本当に藤原先生の講演会に来てもらえるんだろうかと。また、なかなか台湾から返事が来ないから「どうなってるんだろうか」と心配してたらやっともらえてほっとしたり。色々ありますが、うまくいくと思います。ですが、最後までどうかご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

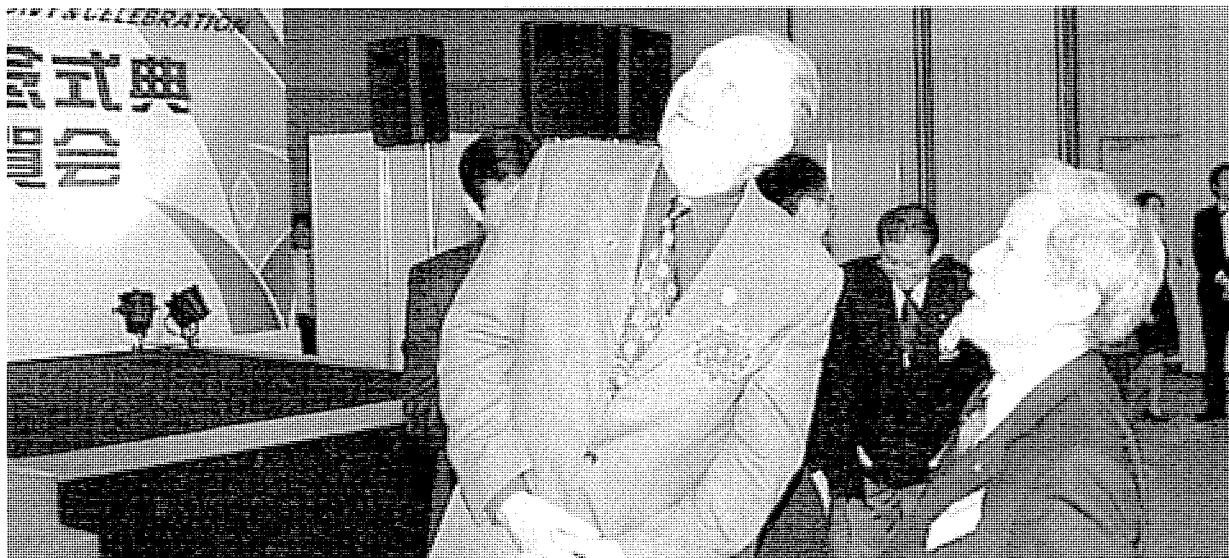
それでは50周年記念事業が無事成功に終わりますこと、西クラブが50周年を境にしてさらに飛躍しますこと、皆さまのご発展を祈念しまして、しめさせていただきます。お手を拝借します。

全員

よーっ!!

ありがとうございます。お疲れさまでした。

## 思い出すままに 10周年から40周年までのこと



創立50周年実行委員長 古木 圭介

### ●入会当時

私が入会したのは昭和45年11月12日でした。まだ若干27歳でした。創立して7年目ということになります。当時はほとんどのチャーターメンバーがおられました。私の推薦者は、童話作家の椋鳩十先生(久保田彦穂さん)と、鹿児島経済大学教授の新福栄熊先生でした。椋先生が会長で、会長スピーチは毎回ユーモアあふれるもので、例会が楽しみだったことを思い出します。

### ●あれから43年間の歳月が流れました。

印象に残る方に城先生(鹿児島大学医学部・法医学)がおられます。話が実にお上手で、かなりきわどい内容のことを平気で話されるので、我々若い者は城先生の傍に座りたがったものです。一方、山下静夫先生(鹿児島大学)はめっちゃくちゃ理論派でロータリーの哲学をしっかりと勉強された方でした。また城西ロータリー・クラブ創立時の特別代表であられた川上鉄太郎さん(鹿児島銀行)も分かりやすい新入会向けの手引書を出されました。城西RCの発足と同時に移籍されました。

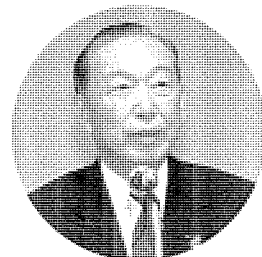
### ●二世会員

我がクラブには二世会員が多数おられます。

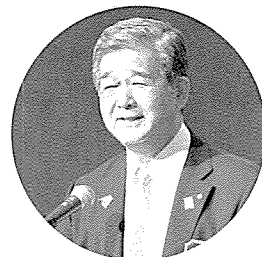
思い出すままに書きますと、櫻美さん、藤安さん、岩田さん、小山さん、川畑さん、城西RCの濱田さんと小園さん、南RCの牧田さん、崎元さん(天本さんの岳父)、一時会員だった池田さんの父上、柴山さん、山下皓三さんの岳父・川田さん、新福さん、実は私の父も鹿児島の会員でした。このように我がクラブの伝統は二世ロータリアンに引き継がれているのでしょうか。

### ●そしてガバナーも出しました

我がクラブから最初に出たガバナーは、塘一郎さん(鹿児島大学教授)でした。二人目が海江田卓さん(創立40周年の時)で、そして三人目が50周年の記念すべき年に誕生した山下皓三さんになります。



2003~2004年度  
▲ 海江田 卓ガバナー



2012~2013年度  
▲ 山下 皓三ガバナー

## ●学習会の創設者・福田正臣さん

学習会の創設者の福田正臣先生は私と同時期に入会されました。先生とはたくさんの思い出がありますが、中でも先生を乗せて二人で国道10号線を何時間も走り宮崎市での地区大会に出かけたのを今でも鮮明に覚えています。当時は高速道路もなく長い道のおしゃべりしながら延々と走ったことを思い出します。話題の多い方で、当時は市立病院の循環器の部長だったと記憶していますが、音楽大好き、理論家でユーモアのセンスもあり、後に「渚を愛する会」の会長として社会的貢献もされました。先生は91歳で、ロータリーの例会に来られる途中で突然に亡くなりました。最後までロータリアンを貫かれた方でした。先生は太原春雄さん、竹下威さんとならぶ旧制高校の猛者という印象もあります。鉢巻をしめて3人での旧制七高の寮歌「北辰斜め」は印象的でした。



## ●青少年委員会活動

鹿児島西ロータリー・クラブは創立時より伝統的に青少年活動に熱心でした。インターアクトも地区ですでできたのも早い方だったと思います。それは鶴丸高校(1964年)、鹿児島高校(1971年)です。ローターアクトも盛んで、熱心な瀬戸山克己さんを忘れてはならないでしょう。お嬢さんも熱心なアクターでした。またそれを引き継いだ中川さんの時はアクトのメンバーが60人を越えていたようです。



## ●例会場、例会日の変更

会場のことで印象に残るのは、三角桂二朗会長のとき、私は幹事をしました。例会場だった当時、鶴鳴館が閉鎖することになり、次期幹事だった故・内山光男さんと西鹿児島駅周辺の事務所を探して回りましたが適当なものがなく途方にくれたとき、当時の会員で山形屋の社長を



されていた川村洋さん(故人)が、事務所を狭いけど無料で貸していただけるとのことで、現在の事務所に決まったのです。

しかし、次に新たな問題が発生しました。例会日は木曜日だったのですが、会場の山形屋ではすでに月曜日には中央RC、木曜日は東RC、金曜日は鹿児島RCとなっており、水曜日か火曜日しか空いていなかったのです。そこで水曜日ということで会員の同意を求めましたが、なかなか皆さんの言い分が異なりまとまらないのです。そこで公平を期するため全員の投票にしました。今まで通り木曜日にして会場を探すか、山形屋を新しい会場にして水曜日にするかでした。そして開票の結果、接戦でしたが、水曜日と決まったのです。当時はそれだったら退会するという古い会員まで出る始末でしたが、幸いなことにどなたも辞めることなく1990年(平成2年)1月から山形屋が会場になりました。当時の会員数は90名という大所帯でした。

## ●周年事業

20周年はまだ鶴鳴館時代に行われました。会長は久保政次さんでした。この方は後年、不幸にして酒気帯び運転の車にはねられてお亡くなりになりましたが、大変に誠実な方という印象が強く残っています。20周年には当時鹿児島RCの会員であった私の父・古木敏雄が記念講演をさせていただいたので特に覚えています。またその時の幹事が水淵清治さんでした。当時は273地区で、鹿児島、宮崎、熊本、大分が一つの地区であったため、地区協議会、地区大会はまだ交通の便が悪いところで、ちょっとした旅行気分で開催したものでした。でも地区大会は大変活気があり2000人を超えるロータリアンが集結して、ホストクラブでは奥様方も多数出てこれら華やかさもありません。30周年の会長は南日本銀行の頭取・岩元紀彦さんで、幹事は玉川哲生さんでした。式典、祝賀会はサンロイヤルホテルで行われました。ガバナーは80歳を超えられた鹿児島RCの本坊蔵吉さんでした。1993年(平成5年)3月24日でした。祝賀会の司会を私がさせていただきました。印象としては当時は奥様方の参加も多く花を添えていただいたことを思い出します。記念写真集はカメラマンの星原昌一さんに依頼し「写真集・鹿児島島見まま1992」を作成しました。この年の最後の懇親会は忘れられません。それは10名あまりの会員が女装をして宴席を飾った(?)ことでした。玉川幹事も私も女装をさせられました。当時の写真をみると少々おかしさと気持ちの悪さがこみ上げてきます。場所は今はもうありませんがグリーンホテル錦生館でした。



●  
チャーターメンバーでご存命は、小山幸義さんです。今は現役をひかれ病気治療中ですが、この方は懇親会にはなくてはならない存在でした。それは歌はプロ並みの声で、パーティなどの席では奥様方をうっとりさせる美声で楽しませてくれました。最も印象に残る曲をあげると、それは映画「慕情」の主題歌です。



●  
40周年の時の会長は、水流 洋さん、幹事は岩切 豊さんでした。記念式典、祝賀会はサンロイヤルホテルでした。この時に海江田 卓ガバナーを輩出し、クラブをあげて支援したことが、50周年で万歳三唱の音頭を取られたことと重なって強い印象が脳裏に刻まれています。鶴岡、サンタローザからも多くの友人たちが参加してくださいました。会員の中でただ一人のチャーターメンバーになった小山幸義さんに記念品が贈られました。40周年実行委員長は太原春雄さんで、副実行委員長は村田和雄さんが務められました。鶴岡RCの藤川享胤さん(パストガバナー)や昨年他界され我がクラブとの橋渡しを熱心してくださった斉藤 昭さんも出席してくださいました。サンタローザ、鶴岡のメンバーと共に1泊した指宿の夜は、楽しいものでした。車座になって大いに語り合ったり、カラオケに合わせてアメリカのエイメンド夫妻が浴衣姿で踊ったり、賑やかで心温まる親睦会でした。

●  
半世紀という節目に多くの方々の努力やご支援で2013年3月23日の記念すべき創立記念日に、50周年の記念行事、式典、祝賀会が開催できたことに心から感謝を申し上げます。宜蘭RCという新たな友人を得て、もっと幅広く世界貢献、社会貢献ができることを祈念しています。



## ●姉妹クラブ

姉妹盟約関係では、1965年(昭和40年)に山形県の鶴岡RCと盟約を締結したのが最初です。これは幕末の戊辰戦争での西郷隆盛の「敬天愛人」のお蔭であることは皆さんのよく知るところであります。あと2年(2015年)で盟約50周年を迎えることになるのです。長い歴史のなかで忘れてはならない人が、西郷研究の第一人者の鮫島志芽太さんでしょう。南日本新聞社を退職されて、鹿児島経済大学で教鞭をとられていました。鮫島志芽太会員は、鶴岡で講演に招かれたりして、大いに鹿児島との縁を深められました。それから4年後に鹿児島市と鶴岡市が兄弟盟約を締結しましたので、我がクラブの果たした役割は大きかったものと思われま

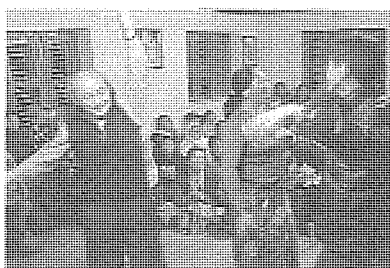


次の姉妹盟約は幕末の薩摩藩留学生の長澤鼎の縁で、米国カリフォルニア州のサンタローザ・サンライズRCです。当時の会長は外西寿彦さん(鹿児島市立病院院長)、幹事・岩元 基さんでした。姉妹盟約式は、サンタローザで行われました。外西会長は紋付き袴で出席され、余興に能を披露され、多くのアメリカの方々を魅了しました。それは1989年4月28日のことでした。我がクラブからも20数名の方々が参加されました。我がクラブ単独で毎年実施されている青少年交換学生プログラムは両クラブの支援で既に25年の歴史を刻んでおり、すでに300名もの学生が相互に交換されています。

そしてこのたび50周年を記念して台湾・宜蘭RCとの姉妹クラブ締結も西郷菊次郎の歴史に裏付けされた意義深いものとなりました。鹿児島を持つ幕末、明治維新期の歴史は3つの姉妹クラブの締結により後世に脈々と伝えられることは間違いないでしょう。

## ●世界に向かっての活動

国際ロータリーは第二の国連と言われますが、我々のクラブも貧しい国を援助する世界社会奉仕(WCS)の一つとして1995年、ネパールのシルバリ村に33頭の乳牛を送るプロジェクトを企画しました。姉妹クラブの鶴岡、サンタローザを巻き込んだまさに国際的な支援活動として記憶に新しいところでしょう。この時は川畑宏二会員を中心に2年かけてのプロジェクトになりました。そして、太原春雄会員を団長に13名の会員が苦労してネパールの現地を訪れたことは一生の思い出になります。村人が私たちに手を合わせて拝みながら私たちを取り巻き、歓迎してくれたことに大きな奉仕の喜びを感じました。これがロータリー活動なのだ実感しました。

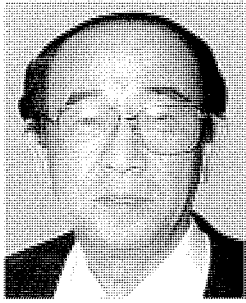




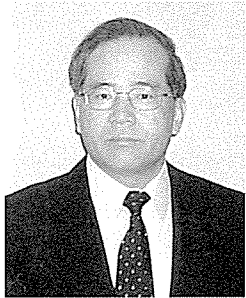
# その後 10年の歩み

## 鹿児島西ロータリー・クラブ年代別 理事・役員・委員会構成

2003 ~ 2004  
(H15 ~ 16)年度



会長  
片平 可也



幹事  
染川 周郎

役員・理事

会長	片平 可也
副会長	岩田 泰一
幹事	染川 周郎
副幹事	江口 清隆
理事	徳留 忠敬・水流 洋・須田 正己・角園 征治・川畑 宏二
SAA	内村 次郎
副SAA	小林 勉・竹下 威
会計	佐伯 壽郎

委員会／委員長

クラブ奉仕	岩田 泰一	職業奉仕	徳留 忠敬
会員選考	中村 英幸	ボランティア	板木 泰文
会員増強	加藤 一徳	社会奉仕	須田 正己
会員推薦	岩田 泰一	新世代	角園 征治
職業分類	坂本 貞剛	インターアクト	藤安 秀一
出席	濱崎 一郎	ローターアクト	大迫 剛
親睦	西川 明寛	国際奉仕	川畑 宏二
ロータリー情報	中国 雅治	ロータリー財団	竹下 洋
会報・雑誌	松田 健一	米山記念奨学生	江口 清隆
プログラム	諏訪園 隆	ロータリー賞推薦	岩田 泰一
広報	原 正親		

### 主な活動

- 2003/8/6  
吉松 成人ガバナー  
公式訪問
- 2004/4/24  
3クラブ合同例会



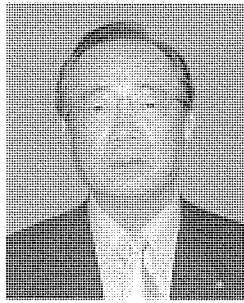
●吉松 成人ガバナー公式訪問



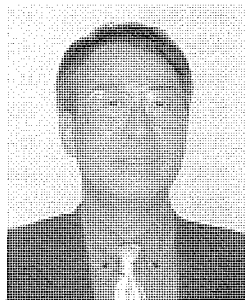
●3クラブ合同例会



# 2004 ~ 2005 (H16 ~ 17)年度



会長  
岩田 泰一



幹事  
江口 清隆

役員・理事

会長	岩田 泰一
副会長	山下 皓三
幹事	江口 清隆
副幹事	深尾 兼好
理事	有馬 戦男・片平 可也・山田 晴彬・日高 好久・有村 仁志
SAA	小林 勉
副SAA	天本 美信・竹下 威
会計	佐伯 壽郎

委員会／委員長

クラブ奉仕	山下 皓三	広報	大山 康成
会員選考	長柄 英男	職業奉仕	有馬 戦男
会員増強	町田 猛	ボランティア	藤川 毅
会員推薦	山下 皓三	社会奉仕	山田 晴彬
職業分類	有馬 戦男	新世代	日高 好久
出席	庵木 英雄	インターアクト	玉利 賢介
親睦	福島 徹郎	ロータリーアクト	濱田 悦郎
ロータリー家族	原 正親	国際奉仕	有村 仁志
ロータリー情報	藤安 秀一	ロータリー財団	福元 紳一
会報・雑誌	桐明 桂一郎	米山記念奨学生	深尾 兼好
プログラム	森 俊英	ロータリー賞推薦	山下 皓三



●三木 靖ガバナー公式訪問

## 主な活動

- 2004/7/31~8/1  
インターアクト年次大会
- 2004/12/8  
三木 靖ガバナー公式訪問
- 2004/12/15  
クリスマス家族会
- 2005/1/19  
ロータリー100周年事業  
スマトラ沖地震・津波に対する支援  
日本赤十字社鹿児島支部に100万円寄付
- 2005/2/23  
時計塔の設置



●インターアクト年次大会

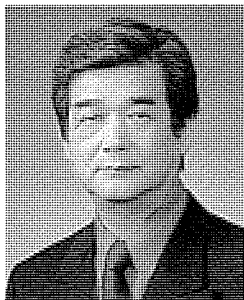


●時計塔の設置

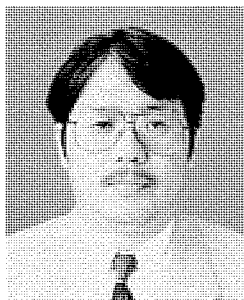


# その後 10年の歩み

2005 ~ 2006  
(H17 ~ 18)年度



会長  
山下 皓三



幹事  
深尾 兼好

役員・理事

会長	山下 皓三
副会長	徳留 忠敬
幹事	深尾 兼好
副幹事	長柄 英男
理事	須田 正己・岩田 泰一・中國 雅治・鮎川 吉弘・川畑 宏二
SAA	天本 美信
副SAA	竹下 威・町田 猛
会計	佐伯 壽郎

委員会／委員長

クラブ奉仕	徳留 忠敬	広報	竹下 洋
会員選考	榎田 浩典	職業奉仕	須田 正己
会員増強	藤安 秀一	ボランティア	南 徹
会員推薦	徳留 忠敬	社会奉仕	中國 雅治
職業分類	村田 和雄	新世代	鮎川 吉弘
出席	大野 達郎	インターアクト	内村 二郎
親睦	中村 英幸	ローターアクト	脇村 太夫
ロータリー家族	原 正親	国際奉仕	川畑 宏二
ロータリー情報	久保 眞介	ロータリー財団	坂木 貞剛
会報・雑誌	角園 征治	米山記念奨学生	長柄 英男
プログラム	濱崎 一郎	ロータリー賞推薦	徳留 忠敬

## 主な活動

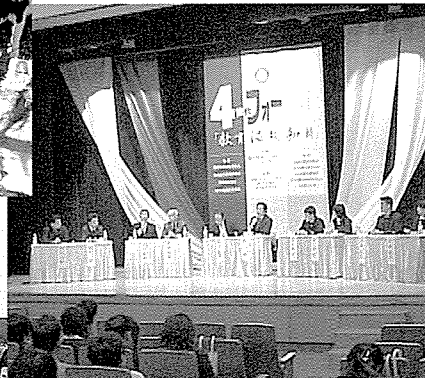
- 2005/7/27  
サンタローザ交換学生の例会訪問
- 2005/9/17  
第15回 職業選択フォーラム
- 2005/10/12  
職場訪問(鹿児島市青果市場)
- 2005/11/2~9  
3カ国・4RC合同 ネパールでの人道支援事業
- 2006/1/27  
WCSネパール視察団報告会
- 2006/2/4  
長澤ブドウの剪定作業
- 2006/4/13  
西プロバスクラブ定例会  
第100回記念感謝の夕べ
- 2006/4/15  
第1回4世代フォーラム「教育 温故 知新」
- 2006/5/1  
第330回 記念学習会開催
- 2006/5/21  
第2回「渚の清掃」
- 2006/6/13  
"語らいのベンチ"贈呈式
- 2006/6/18  
ゆうかり学園 交流訪問
- 2006/6/24  
鹿児島西ローターアクト創立30周年記念式典



●第15回 職業選択フォーラム



●3カ国・4RC合同  
ネパールでの人道支援事業

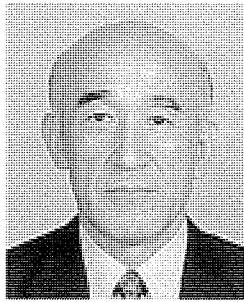


●第1回 4世代フォーラム

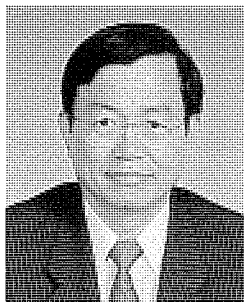


●西プロバスクラブ定例会  
第100回記念感謝の夕べ

2006 ~ 2007  
(H18 ~ 19)年度



会 長  
徳留 忠敬



幹 事  
長柄 英男

役員・理事

会 長	徳留 忠敬
副会長	古木 圭介
幹 事	長柄 英男
副幹事	玉利 賢介
理 事	山田 晴彬・山下 皓三・中国 雅治・岩切 豊・山元 将孝
S A A	町田 猛
副SAA	山之氏 秀行・水流 洋
会 計	須田 正己

委員会／委員長

クラブ奉仕	古木 圭介	広 報	桐明 桂一郎
会員選考	鮫島 信一	職業奉仕	山田 晴彬
会員増強	前田 義博	ボランティア	玉利 賢介
会員推薦	古木 圭介	社会奉仕	中国 雅治
職業分類	森永 茂樹	新世代	岩切 豊
出 席	野添 良隆	インターアクト	大山 康成
親 睦	濱田 悦郎	ローターアクト	脇村 太夫
ロータリー家族	有馬 戦男	国際奉仕	山元 将孝
ロータリー情報	迫田 英介	ロータリー財団	池田 勝一郎
会報・雑誌	小林 勉	米山記念奨学生	玉利 賢介
プログラム	染川 周郎	ロータリー賞推薦	古木 圭介

主な活動

- 2006/9/6  
ガバナー公式訪問
- 2006/10/25  
職場訪問(特別養護老人ホーム 寿康園)
- 2006/10/28  
第16回 職業選択フォーラム
- 2006/12/5  
報道機関との懇談会
- 2007/2/17  
長澤ブドウの剪定・挿し木研修会
- 2007/3/14  
第41回 ロータリー賞
- 2007/4/18  
元鹿児島高等学校  
インターアクト顧問 表彰
- 2007/5/13  
第3回「渚の清掃」
- 2007/6/2  
第2回 4世代フォーラム



●職場訪問  
(特別養護老人ホーム 寿康園)



●第16回 職業選択フォーラム



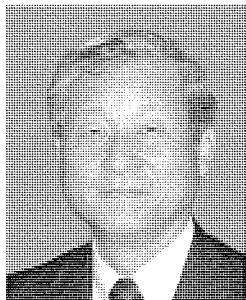
●元鹿児島高等学校  
インターアクト顧問 表彰



●第3回「渚の清掃」

# その後 10年の歩み

2007～2008  
(H19～20)年度



会長  
古木 圭介



幹事  
玉利 賢介

役員・理事

会長	古木 圭介
副会長	川平 建次郎
幹事	玉利 賢介
副幹事	天本 美信
理事	大福 厚範・徳留 忠敬・原 正親・田中 藤雄・南 徹
SAA	山之氏 秀行
副SAA	山元 将孝・竹下 威
会計	須田 正己

委員会／委員長

クラブ奉仕	川平 建次郎	広報	大野 達郎
会員選考	岩田 泰一	職業奉仕	大福 厚範
会員増強	濱崎 一郎	ボランティア	日高 好久
会員推薦	川平 建次郎	社会奉仕	原 正親
職業分類	江口 清隆	新世代	田中 藤雄
出席	鮫島 雄司	インターアクト	鮎川 吉弘
親睦	藤安 秀一	ロータリーアクト	川畑 宏二
ロータリー家族	蓑田 満康	国際奉仕	南 徹
ロータリー情報	庵木 英雄	ロータリー財団	岩元 基
会報・雑誌	坂木 貞剛	米山記念奨学生	天本 美信
プログラム	久保 真介	ロータリー賞推薦	川平 建次郎

## 主な活動

- 2007/7/11 田村ガバナー公式訪問
- 2007/7/21 プログラム委員会初会合
- 2007/7/25 サンタローザの学生来鹿
- 2007/9/2 古木会長杯ゴルフコンペ
- 2007/11/7 職場訪問(NHK鹿児島)
- 2007/11/17 第17回 職業選択フォーラム
- 2007/12/26 ベトナム児童 手術終わる
- 2008/2/6 広報委クラブフォーラム
- 2008/2/16 第3回 4世代フォーラム
- 2008/2/27 例会でミニコンサート
- 2008/3/26 第42回 ロータリー賞
- 2008/4/2 GSEメンバー例会
- 2008/4/24 報道機関との懇談会
- 2008/4/29 ゆうかり学園運動会参加
- 2008/5/18 第4回「渚の清掃」



●サンタローザの学生来鹿



●職場訪問(NHK鹿児島)



●第3回 4世代フォーラム



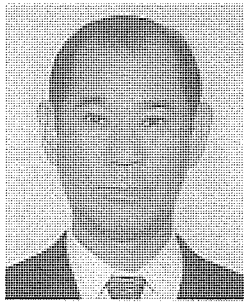
●第4回「渚の清掃」



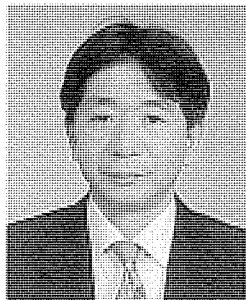
新しい日本の再生のために

役員・理事

会長 川平 建次郎  
 副会長 野添 良隆  
 幹事 天本 美信  
 副幹事 原 正親  
 理事 古木 圭介・中國 雅治・深尾 兼好・脇村 太夫・玉利 賢介  
 SAA 山元 将孝  
 副SAA 須田 正己・蓑田 満康  
 会計 須田 正己



会長 川平 建次郎



幹事 天本 美信

2008 ~ 2009 (H20 ~ 21)年度

委員会/委員長

クラブ奉仕	野添 良隆	IT	桐明 桂一郎
会員選考	高山 義則	職業奉仕	中國 雅治
会員増強	中村 英幸	ボランティア	岩切 豊
会員推薦	野添 良隆	社会奉仕	深尾 兼好
職業分類	濱田 悦郎	新世代	脇村 太夫
出席	佐伯 壽郎	インターアクト	末吉 政宏
親睦	山田 晴彬	ローターアクト	鮎川 吉弘
ロータリー家族	森 俊英	国際奉仕	玉利 賢介
ロータリー情報	海江田 卓	ロータリー財団	水流 洋
会報・雑誌	上村 國博	米山記念奨学生	原 正親
プログラム	小林 勉	ロータリー賞推薦	野添 良隆
広報	大山 康成		

RI第2730地区	バスト・ガバナー(2002~2003年度ガバナー)	海江田 卓
RI第2730地区	諮問委員会 委員	海江田 卓
RI第2730地区	危機管理	深尾 兼好
RI第2730地区	広報・雑誌・IT委員会 委員長	深尾 兼好
RI第2730地区	クラブ奉仕情報研修小委員会 委員長	川平 建次郎
RI第2730地区	ロータリー財団 GSE小委員会 副委員長	南 徹
RI第2730地区	国際奉仕・WCS委員会 委員	川畑 宏二

主な活動

- 2008/8/8 米山奨学生パンさん誕生祝い
- 2008/8/27 安満ガバナー公式訪問
- 2008/9/21 第4回 4世代フォーラム
- 2008/10/15 職場訪問(しんぷく)
- 2008/12/20 第18回 職業選択フォーラム
- 2009/3/20 クラブ事務局員が交代
- 2009/4/17~19 鶴岡RC創立50周年式典参加
- 2009/5/2 ゆうかり学園運動会参加
- 2009/5/13 報道懇談会で意見交換
- 2009/5/24 第5回「渚の清掃」

●鶴岡RC創立50周年 式典参加



●ゆうかり学園運動会参加



●報道懇談会で意見交換

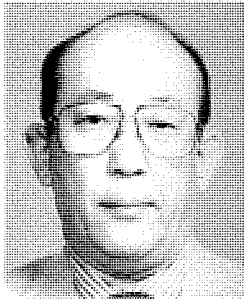


●第5回「渚の清掃」

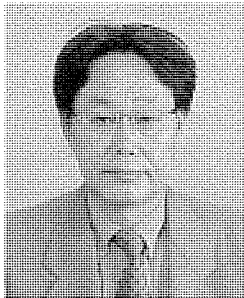
# その後 10年の歩み

## 役員・理事

会長	野添良隆
副会長	南 徹
幹事	原正親
副幹事	大山康成
理事	川平建次郎・藤安秀一・天本美信・竹下威・七枝敏洋
SAA	末吉政宏
副SAA	庵木英雄・須田正己
会計	徳留忠敬



会長  
野添良隆



幹事  
原正親

2009 ~ 2010  
(H21 ~ 22)年度

## 委員会/委員長

クラブ奉仕	南 徹	IT	桐明 桂一郎
会員選考	岩元 基	職業奉仕	藤安 秀一
会員増強	田中 藤雄	ボランティア	鮫島 信一
会員推薦	南 徹	社会奉仕	天本 美信
職業分類	濱田 悦郎	新世代	竹下 威
出席	宮原 優	インターアクト	山之氏 秀行
親睦	町田 猛	ローターアクト	山下 皓三
ロータリー家族	日高 好久	国際奉仕	七枝 敏洋
ロータリー情報	古木 圭介	ロータリー財団	岩田 泰一
会報・雑誌	坂本 貞剛	米山記念奨学生	大山 康成
プログラム	大野 達郎	ロータリー賞推薦	南 徹
広報	長柄 英男		

RI第2730地区	バスト・ガバナー(2002~2003年度ガバナー)	海江田 卓
RI第2730地区	諮問委員会 委員	海江田 卓
RI第2730地区	危機管理	深尾 兼好
RI第2730地区	広報・雑誌・IT委員会 委員長	深尾 兼好
RI第2730地区	クラブ奉仕情報研修小委員会 委員長	川平 建次郎
RI第2730地区	ロータリー財団 GSE小委員会 副委員長	南 徹
RI第2730地区	国際奉仕・WCS委員会 委員	川畑 宏二

## 主な活動

- 2009/7/15  
秦ガバナー公式訪問
- 2009/7/22  
サンタローザ交換学生会
- 2009/10/12  
職場訪問(肥薩おれんじ鉄道)
- 2009/10/29  
パンさん再び米山奨学生に
- 2009/11/21  
第19回 職業選択フォーラム
- 2010/3/03  
長寿の祝い「賀寿の宴」
- 2010/3/31  
第44回 ロータリー賞
- 2010/5/16  
第6回「渚の清掃」

●サンタローザ交換学生会



●職場訪問(肥薩おれんじ鉄道)



●長寿の祝い「賀寿の宴」



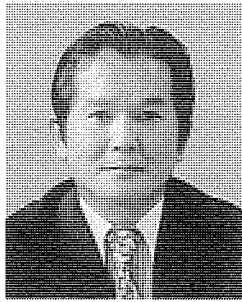
●パンさん再び  
米山奨学生に



星の日本再生のために

役員・理事

会長 南 徹  
 副会長 玉利 賢介  
 幹事 大山 康成  
 副幹事 藤安 秀一  
 理事 野添 良隆・有馬 戦男・深尾 兼好・染川 周郎・山元 将孝  
 SAA 天本 美信  
 副SAA 庵木 英雄  
 会計 徳留 忠敬

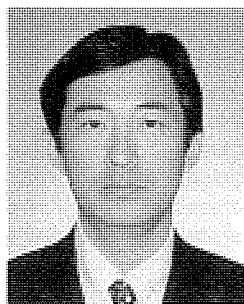


会長  
南 徹

2010 ~ 2011  
(H22 ~ 23)年度

委員会/委員長

クラブ奉仕	玉利 賢介	ロータリー情報	川平 建次郎
会員選考	高山 義則	会報・雑誌	中國 雅治
会員増強	田中 藤雄	プログラム	鮎川 吉弘
会員推薦	玉利 賢介	広 報	大野 達郎
職業分類	高山 義則	職業奉仕	有馬 戦男
出 席	迫田 英介	社会奉仕	深尾 兼好
親 睦	内村 二郎	国際奉仕	山元 将孝
ロータリー家族	内村 二郎	ロータリー賞推薦	玉利 賢介



幹 事  
大山 康成

RI第2730地区	バスト・ガバナー (地区顧問委員会 委員)	海江田 卓
RI第2730地区	ガバナー指名委員会 委員	海江田 卓
RI第2730地区	クラブ奉仕委員会 委員長	海江田 卓
RI第2730地区	地区監査委員	徳留 忠敬
RI第2730地区	国際奉仕・WCS委員会 副委員長	川畑 宏二
RI第2730地区	鹿児島市内分区 ガバナー補佐	山下 皓三
RI第2730地区	クラブ奉仕委員会 委員	深尾 兼好
RI第2730地区	広報・雑誌・IT小委員会 委員長	深尾 兼好
RI第2730地区	危機管理委員会 委員	深尾 兼好
ロータリーの友	RI 第2730地区委員	深尾 兼好

主な活動

●2010/9/26  
第1回 南会長杯親善コンペ

●伊藤ガバナー公式訪問



●2010/10/20  
伊藤ガバナー公式訪問

●2011/3/16  
第45回 ロータリー賞

●2011/4/20  
賀寿の宴



●賀寿の宴

●2011/5/15  
第7回「渚の清掃」



●第7回「渚の清掃」

●2011/6/2~8  
サンタローザ訪問



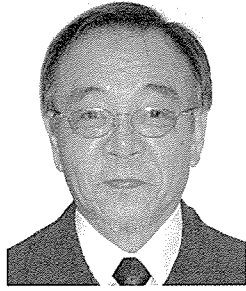
●サンタローザ訪問



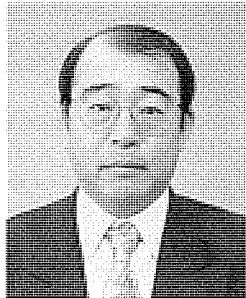
# その後 10年の歩み

## 役員・理事

会長	野添 良隆
副会長	南 徹
幹事	原 正親
副幹事	大山 康成
理事	川平 建次郎・藤安 秀一・天本 美信・竹下 威・七枝 敏洋
SAA	末吉 政宏
副SAA	庵木 英雄・須田 正己
会計	徳留 忠敬



会長  
玉利 賢介



幹事  
藤安 秀一

2011 ~ 2012  
(H23 ~ 24)年度

## 委員会/委員長

クラブ奉仕	南 徹	IT	桐明 桂一郎
会員選考	岩元 基	職業奉仕	藤安 秀一
会員増強	田中 藤雄	ボランティア	鮫島 信一
会員推薦	南 徹	社会奉仕	天本 美信
職業分類	濱田 悦郎	新世代	竹下 威
出席	宮原 優	インターアクト	山之氏 秀行
親 睦	町田 猛	ローターアクト	山下 皓三
ロータリー家族	日高 好久	国際奉仕	七枝 敏洋
ロータリー情報	古木 圭介	ロータリー財団	岩田 泰一
会報・雑誌	坂木 貞剛	米山記念奨学生	大山 康成
プログラム	大野 達郎	ロータリー賞推薦	南 徹
広 報	長柄 英男		

- RI第2730地区 バスト・ガバナー(地区諮問委員会 委員)
- RI第2730地区 職業奉仕委員会 副委員長
- RI第2730地区 広報・雑誌・IT小委員会 副委員長
- RI第2730地区 広報・雑誌・IT小委員会 委員
- RI第2730地区 ローターアクト小委員会 委員
- RI第2730地区 青少年交換小委員会 副委員長

- 海江田 卓
- 山下 皓三
- 深尾 兼好
- 天本 美信
- 鮎川 吉弘
- 七枝 敏洋

## 主な活動

- 2011/8/17  
プロバス・RAC・IAC・RC  
合同例会
- 2011/10/19  
職場訪問  
(JX 日鉱日石・喜入)
- 2012/3/5  
400回記念 学習会
- 2012/3/13  
3クラブ合同例会

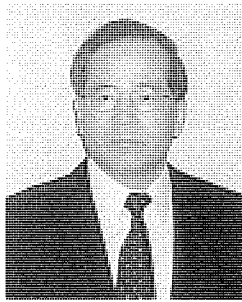


●職場訪問(JX 日鉱日石・喜入)

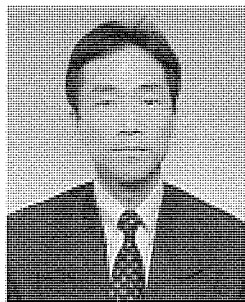


●長峯 基ガバナー公式訪問

# 2012 ~ 2013 (H24 ~ 25)年度



会 長  
染川 周郎



幹 事  
川畑 宏二

役員・理事

会 長	染川 周郎
副会長	長柄 英男
幹 事	川畑 宏二
副幹事	坂木 貞剛
理 事	玉利 賢介・中村 英幸・水流 洋・七枝 敏洋・南 徹
S A A	天本 美信
副SAA	竹下 威
会 計	須田 正己

委員会／委員長

クラブ奉仕	長柄 英男	職業奉仕	中村 英幸
会員選考	森 俊英	社会奉仕	水流 洋
会員増強	山之氏 秀行	新世代	七枝 敏洋
会員推薦	長柄 英男	インターアクト	海江田 嗣人
出 席	高山 義則	ローターアクト	小山 光義
親 睦	内村 二郎	国際奉仕	南 徹
ロータリー情報	岩切 豊	ロータリー財団	山田 晴彬
会報・雑誌	上村 國博	米山記念奨学生	坂木 貞剛
プログラム	有馬 戦男	ロータリー賞推薦	長柄 英男
広 報	上之園 正幸	周年事業担当	古木 圭介

## 主な活動

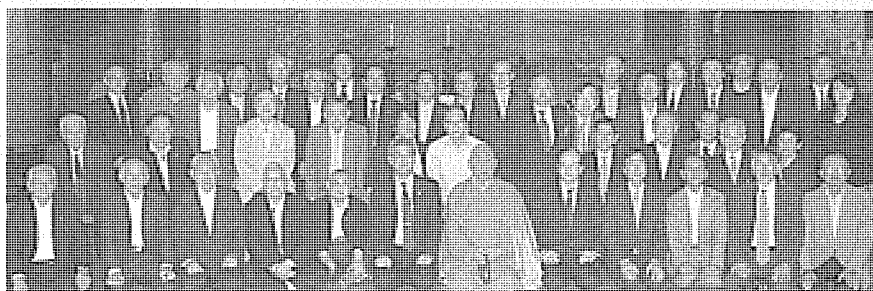
- 2012/9/20  
鹿西RCに米山感謝状
- 2012/10/5  
麻姑の手村にPC贈呈
- 2012/10/10  
職場訪問(最福寺)
- 2012/11/17  
第22回  
職業選択フォーラム



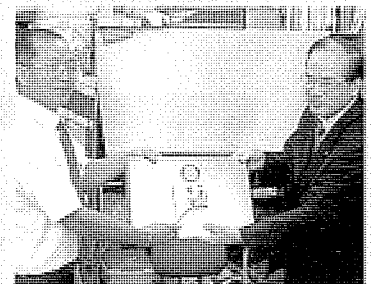
●第22回 職業選択フォーラム



●山下 皓三ガバナー公式訪問



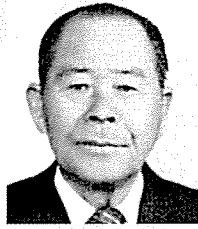
●職場訪問(最福寺)



●麻姑の手村にPC贈呈

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

物故  
会員



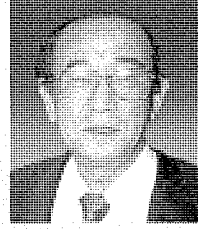
平岡 禎吉  
平成15年12月22日逝去  
享年98歳  
名誉会員



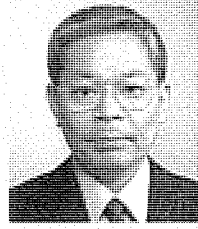
坂元 明雄  
平成17年5月4日逝去  
享年76歳  
在籍13年4ヶ月



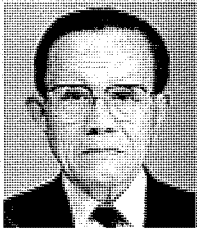
福田 敏之  
平成18年4月27日逝去  
享年88歳  
名誉会員



片平 可也  
平成18年5月6日逝去  
享年77歳  
在籍16年2ヶ月



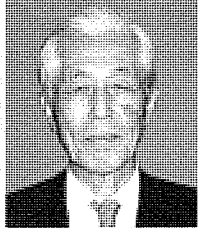
池田 千明  
平成18年11月22日逝去  
享年65歳  
在籍6年9ヶ月



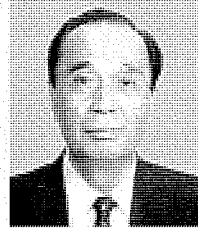
小園 正人  
平成19年2月13日逝去  
享年87歳  
在籍37年



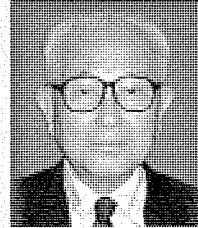
鮫島 志芽太  
平成19年5月12日逝去  
享年94歳  
名誉会員



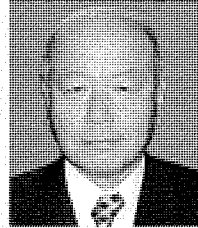
高井 敏治  
平成20年11月10日逝去  
享年86歳  
在籍45年5ヶ月



松田 忠臣  
平成20年9月6日逝去  
享年80歳  
在籍24年8ヶ月

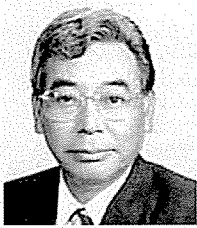


福田 正臣  
平成24年3月28日逝去  
享年93歳  
在籍40年2ヶ月



佐伯 壽郎  
平成24年12月15日逝去  
享年72歳  
在籍40年7ヶ月

退会後のご逝去



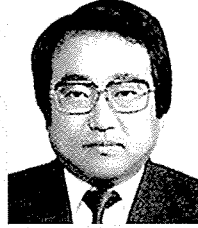
板木 泰文  
平成17年10月22日逝去  
享年60歳



三角 桂次郎  
平成21年10月11日逝去  
享年78歳



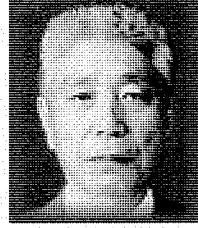
角園 征治  
平成24年10月26日逝去  
享年75歳



上原 満



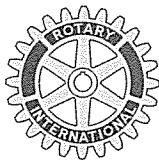
中村 一雄



中嶋 健

※ 退会後のご逝去の為、情報を得られず、逝去日・享年ともに不明です。

2013.3.23時点



歴代ロータリー賞贈呈受賞者紹介

第38回 (平成16年3月10日)

鹿児島県覚せい剤  
乱用防止連合協議会  
(鹿児島ウイル)川島 葉留美会長

25年間、薬物乱用防止運動組織を結成し、その先頭で「鹿児島を薬物乱用ゼロ地域に」を目指し、活動を続けている。

ROTARY AWARDS

表彰状

鹿児島県覚せい剤乱用防止連合協議会  
会長 川島 葉留美 氏  
あなたは、平成16年の覚せい剤乱用防止運動に専念して、その功績を顕著に示していただきました。25年間の活動は、我々の社会に多大な貢献をされています。また、あなたの熱意と行動力、リーダーシップが、多くの人々を導き、社会に貢献しています。今後も、あなたのリーダーシップが、社会に貢献することを期待します。  
平成16年3月10日  
鹿児島西ロータリークラブ  
会長 片平 可也

第39回 (平成17年3月30日)

鹿児島観光語り部  
寺田 克己代表

土日祝日に、西郷隆盛像前や城山展望所などで観光案内に取り組んでいるボランティアグループ。これまでに2万人以上を案内した。

ROTARY AWARDS

表彰状

【鹿児島県観光語り部】代表  
「鹿児島観光語り部」は、2000年発足のボランティア団体として、観光客の案内だけでなく、地域の歴史や文化について、多くの人々に情報を提供しています。また、観光客の安全確保にも貢献しています。今後も、あなたのリーダーシップが、社会に貢献することを期待します。  
平成17年3月30日  
鹿児島西ロータリークラブ  
会長 片平 可也

第40回 (平成18年4月12日)

ジェフリー・S・  
アイリッシュさん  
(フリーライター)

住み着いた鹿児島から地域文化を発信。また、青年を対象に郷土のすばらしさを再発見する場を提供。

ROTARY AWARDS

表彰状

ジェフリー・S・アイリッシュ 氏  
あなたは、平成18年の鹿児島県地域文化発信活動に専念して、その功績を顕著に示していただきました。また、あなたの活動が、多くの人々に鹿児島県の魅力を伝えることに貢献しています。今後も、あなたのリーダーシップが、社会に貢献することを期待します。  
平成18年4月12日  
鹿児島西ロータリークラブ  
会長 山下 晴三

第41回 (平成19年3月14日)

吉祥谷 友歩さん

2002年から、ろうあ者と健常者が音楽を一緒に楽しめる独自の音楽活動を続けている。世界初の演出に挑戦した。

ROTARY AWARDS

表彰状

吉祥谷 友歩 氏  
あなたは、2002年から、ろうあ者と健常者が音楽を一緒に楽しめる独自の音楽活動を続けている。また、あなたの活動が、多くの人々に音楽の楽しさを伝えることに貢献しています。今後も、あなたのリーダーシップが、社会に貢献することを期待します。  
平成19年3月14日  
鹿児島西ロータリークラブ  
会長 田代 忠敏

第42回(平成20年3月26日)

平田 重吉さん

甲突川の松方橋付近の左岸に可憐な四季の花を育てる。

ROTARY AWARDS

表彰状

平田 重吉 さん
あなたにはお花の感動にほろめず...

第42回(平成20年3月26日)

徳永 絹子さん

毎朝6時から8時まで、騎射場公園のトイレを素手で洗い、多くの人々から感謝されている。

ROTARY AWARDS

表彰状

徳永 絹子 さん
あなたは平素より、人の手洗いを助けた...

第43回(平成21年3月25日)

社会福祉法人善き牧者会 児童養護施設「愛の聖母園」

エルハルド・ワルトラウド 施設長

戦後から60年にわたり、家庭環境に恵まれない子供たちの養護養育に献身的に尽くしてきた。

ROTARY AWARDS

表彰状

社会福祉法人 善き牧者会 児童養護施設 愛の聖母園
貴施設は昭和15年、戦災の甚だしい...

第44回(平成22年3月31日)

「語らいの駅」GALLERY

大坪茶舗代表 大坪 徹さん

幅広いネットワークを通して25年間、地元資源を生かした地域づくりに取り組む。学・産・官との協働による「地域循環型振興」を目指し、鹿児島島の活性化に大きな役割を果たしている。

ROTARY AWARDS

表彰状

「語らいの駅」GALLERY 大坪 徹 さん
貴店は お茶の販売を主とするが...

第45回(平成23年3月16日)

岩澤 亮さん

13年前から毎朝、鹿児島市立山下小学校の通学路清掃後、横断歩道に立つ。小学生とのふれ合いを通じ、生徒たちの健全育成に貢献している。

ROTARY AWARDS

表彰状

岩澤 亮 さん
貴校は山下小学校に於いて13年もの長きに...

公益社団法人・認知症の人と家族の会 鹿児島県支部「やすら木会」 水流 凉子代表

22年間にわたり、認知症とその家族を支え、地域社会へ認知症への理解と支援を求めて活動している。

ROTARY AWARDS

表彰状

やすら木会 水流 凉子 さん
貴方は公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部「やすら木会」の代表として...

第46回(平成24年4月4日)

鹿児島弁を語り継ぐ会 代表幹事 種子田 幸廣さん

「鹿児島弁を語り継ぐ会」を設立し、子供たちに鹿児島弁の魅力を伝える。

ROTARY AWARDS

表彰状

鹿児島弁を語り継ぐ会 代表幹事 種子田 幸廣 さん
あなたには鹿児島弁の魅力を語り継いで...

第46回(平成24年4月4日)

とっておきの音楽祭 in 鹿児島 準備委員会 中村 ますみさん

誰もが一緒に音楽を楽しみ共感できる場として、「とっておきの音楽祭」を鹿児島で開催。

ROTARY AWARDS

表彰状

とっておきの音楽祭 in 鹿児島 準備委員会 中村 ますみ さん
あなたにはおきの音楽祭 in 鹿児島を開催し...

第47回(平成25年3月27日)

「語らいの駅」GALLERY 特定非営利法人 麻姑の手村 理事長 卓間 光哉さん

NPO法人「麻姑の手村」を主宰し、青少年の自立心を育成し、学業や社会復帰をサポートしている。



表彰状

特定非営利法人 麻姑の手村 理事長 卓間 光哉 さん
貴法人は、特定非営利法人として...



▲平田 重吉さん



▲徳永 絹子さん

# 活動報告

## ネパールでの人道支援事業



### ● ネパール シルバリ村での世界社会奉仕活動について

(2012-13 幹事・2003-04 国際奉仕委員長・2005-06 国際奉仕委員長)

川畑 宏二

鹿児島西ロータリークラブは、2006年に世界社会奉仕活動の一環として、当クラブの姉妹クラブである鶴岡RCとサンタローザサンライズRCと共同で、ネパールのパタン西RCと連携をとり、ロータリー財団の補助金制度を活用してネパールの人道支援プロジェクトを実施した。

プロジェクトはネパール中西部に位置するSyangja地区Panchmul Sirubari(シルバリ村)の貧困な村民(特に子供たちや高齢者)に対し、栄養補給と生活援助のため、家畜用乳牛33頭を提供するものであった。この活動により160人以上の村民が恩恵を受け、本プロジェクトは地区協議会や地区財団・国際奉仕委員会、ロータリーの友、ネパール及び鹿児島島の新聞、TVでも国際的な人道支援プロジェクトの事例として紹介された。

西クラブでは、プロジェクトの成果を確認するために、視察団(団長:太原春雄 元会長)13名が、2006年11月1日～9日ネパールを訪問した。以下に、プロジェクトの構想から視察に至るまでの経過を概説する。

#### [プロジェクトの背景]

鹿児島西RCは、1991年にサンタローザサンライズRCが提唱した南米チリの学校に文房具品を贈るWCS(世界社会奉仕)に資金面で協力した事が記録に残されているが、西クラブ主導のWCSプロジェクト実施例は無かった。また、それぞれの姉妹クラブとは記念事業への相互参加を通じて親密な交流は継続してきたが、鶴岡RCを含む3姉妹クラブ合同の奉仕プロジェクトの実施例は無かった。

2003-4年度(片平可也会長、染川周郎幹事)の国際奉仕委員会内で、西クラブが主導し、尚且つ初の3姉妹クラブ共同事業としてWCSに取り組む構想が芽生え、世界理解月間での学習会やクラブフォーラムで企画を提案し理事会の承認を得てプロジェクトの立案に着手することとなった。姉妹クラブへプロジェクトの参画を呼びかけ、2005年5月23日大阪でのRI世界大会開会式後に、リッツカールトンホテルで、西RC19名、鶴岡RC8名、サンタローザサンライズRCのDelbert Rabyバスターガバナーが合流し、共同プロジェクトの実施を確認しあった。

#### [プロジェクトの計画・実行]

支援を提供する海外のクラブと全くコネの無い中で着目したのは、RIのウェブサイト内からアクセスできる、支援を必要とするクラブのWCSデータベース“Project Link”である。Project Linkには当時、アジア圏内だけでも250件が登録されており、その中から絞り込むため以下の選定基準を設けた。

- (1) 最貧民国に指定されており、1\$の現地通貨の価値が最も大きい国を優先する
- (2) プロジェクトの進捗状況や経過報告のコミュニケーションが確実にできるパートナーを選ぶ
- (3) プロジェクト資金の運用と管理を信頼して任せられるパートナークラブである事
- (4) プロジェクトの成果を確認するために、実際に現地調査へ行ける場所である事

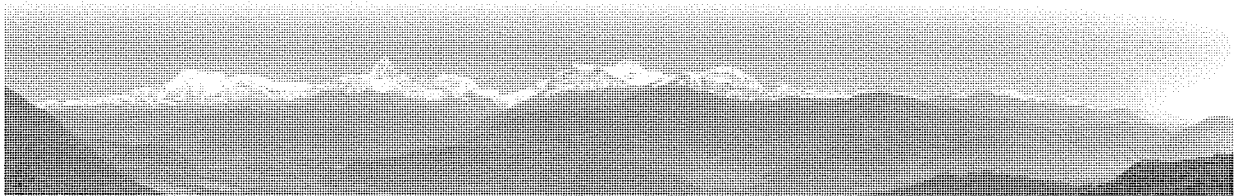
以上の基準より、鹿児島西RCが主導して、ネパールのパタン西RCをホストパートナーとし、西クラブの姉妹クラブを国際パートナーとするプロジェクト体制を構築し、本プロジェクトを実施する事とした。サンタローザサンライズRC、鶴岡RCの賛同を取り付け、4クラブ連携のもと、2004年8月に世界奉仕プロジェクトに対するロータリー財団の補助金制度であるマッチンググラントの申請を行った。半年後の2005年1月29日にエバンストンのロータリー財団本部より承認がおりた。

(承認までに5ヶ月も待たされたのは、ロータリー財団の説明によると、アジア地区のプロジェクトの完了報告書が期日までに提出されていない事例が多く、改善されるまではインド、ネパールに対する全てのプロジェクトの申請が凍結されたためであった)



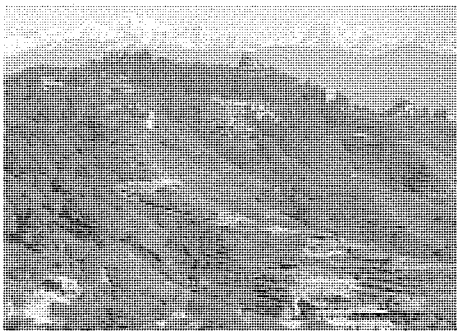
2005年3月末までに、4クラブの寄付金総額\$4400をロータリー財団へ送金し、同年5月に財団より\$2200の補助金と合わせて合計\$6600がパタン西RCへ送金された。パタン西RCはその資金で同年6月末までに33頭の乳牛を調達しシルバリ村へ輸送した。村民が乳牛により受けた生活の質(QOL)の向上等、具体的な恩恵や効果がパタン西RCにより報告され、鹿児島西RCと連名でロータリー財団へプロジェクトの完了報告書を提出し、2005年7月23日付でロータリー財団より成功裡にプロジェクトが完了した事を認定する確認書が発行され、ひとまず補助金に関する全ての手続きが無事完了した。

プロジェクトの構想段階から実施までの間、財団側の事情で申請が半年保留される想定外の審査の遅れがあったが、申請が認可されてからプロジェクトが完了するまではわずか半年であった。



### 【シルバリ村視察】

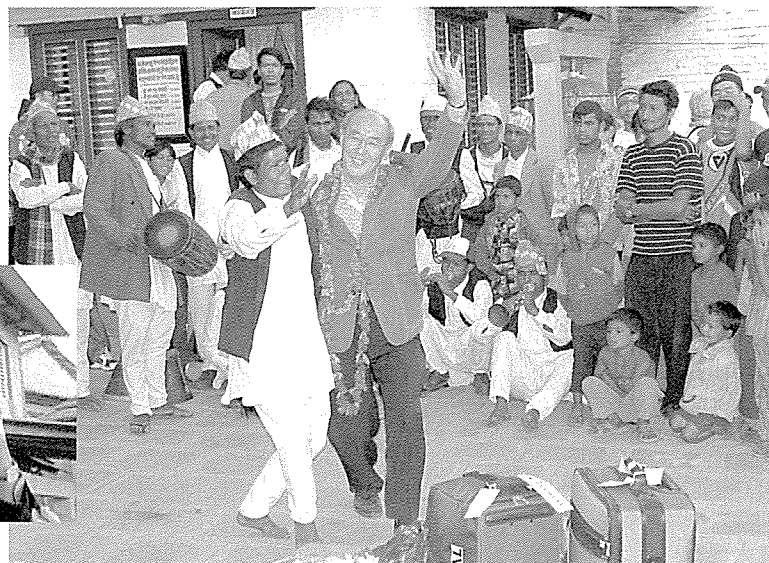
プロジェクト終了後に、現地の様子を自分達目で確認するという当初の目的を果たすために、古木圭介 元会長が視察日程を組み立て、太原春雄 元会長を団長とする13名の西クラブ視察団(うち2名はクラブ外からの参加)で、2005年11月2日～9日(うちシルバリ村には1泊)ネパールを訪問した。ネパール航空で関西空港より上海経由でカトマンズに到着した11月2日は、ティハール(ネパールの一大祭り)の3連休の中日で、ホテル着が夜9時過ぎだったにもかかわらず、パタン西RCのプロジェクト担当責任者のIswar Pradhan元会長ら会員10名の歓迎を受けた。滞在3日目、カトマンズからネパール中部のポカラまで飛行機で30分の距離を移動し、そこから荷物運搬専用車を含むジープ5台に分かれて、舗装されていない険しい山道や橋の無い川を横断しながら約60kmの道程を5時間かけて移動した。パタン西RCからPradhan会員、ネパール国営放送の記者とカメラマン、新聞記者1名、ガイド2名が同行した。



シルバリ村への到着は、予定より3時間遅れの午後4時半ごろであったが、Rudra Man Gurung村長を先頭に大勢の村の人々が集会広場へ続く通路の両側に勢ぞろいして待ち構えていた。村の男達は笛や太鼓で民族音楽を奏でながら踊り、女性達からは手作りの花飾りが一人一人にかけられた。圧倒されるばかりの純粋な歓迎に、それまでの道のりの疲労が消える瞬間であった。集会広場では早速、筒にはいったロキシーという地酒がふるまわれ、仏教寺院ゴンパへ通され、祈りが捧げられた。

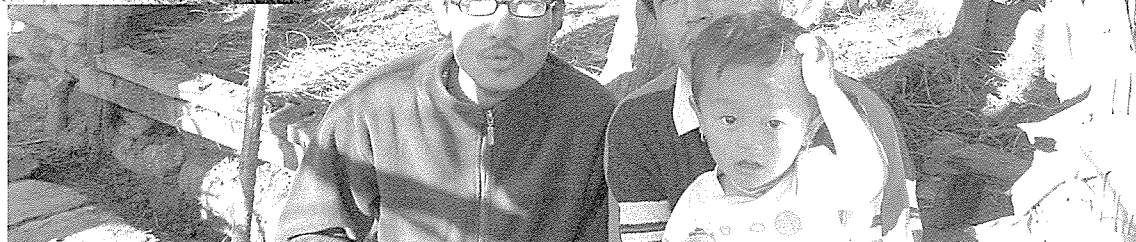
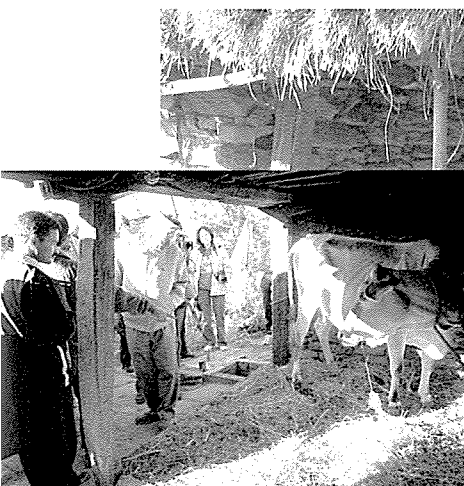


村をあげての歓迎の儀式が一段落した後で、村の観光促進実行委員会 (Tourisms and Development committee) の代表より乳牛の援助に対するお礼の言葉を受けた。太原団長より西RCからの記念品として村役場へ壁掛け時計を贈呈し、子供達に、鉛筆・ノート類の文房具用品一式を手渡した。元ネパール国会議員でもあるGurung村長から奉仕プロジェクトに対する感謝の辞が述べられた時には、日も暮れかかっており、視察メンバーは2名づつに分かれ、各ホームステイ先で家庭料理が振舞われた。夕食後、深夜遅くまで集会場での歓迎と交流が続いた。当然の事ながら、村民とは英語、日本語は通じず、ネパール語シルバリ村方言は理解できなかったが、言葉の要らない音楽と踊りの世界で親密な交流ができた。深夜になると、満天の星空の光で地面に自分の影ができるほどであった。



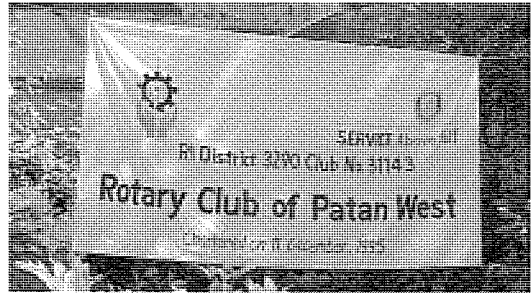
翌朝、牛舎を案内された。年齢24ヶ月～36ヶ月、体重250～300キロの33頭の牛に加え生後半年以内の仔牛も同居していた。

乳牛は各家庭に配分されて良好な健康状態で大切に飼育されていた。ジャイカを通じて日本の畜産試験場で研修を受けたネパール人が定期的に管理面の指導を行っており、村内には飼育と繁殖の管理をするための Cow Development Committeeが組織されて維持管理体制が確立されていた。見学の途中では乳牛から一日に1.5～4.0 採れる搾りたてのミルクがふるまわれた。

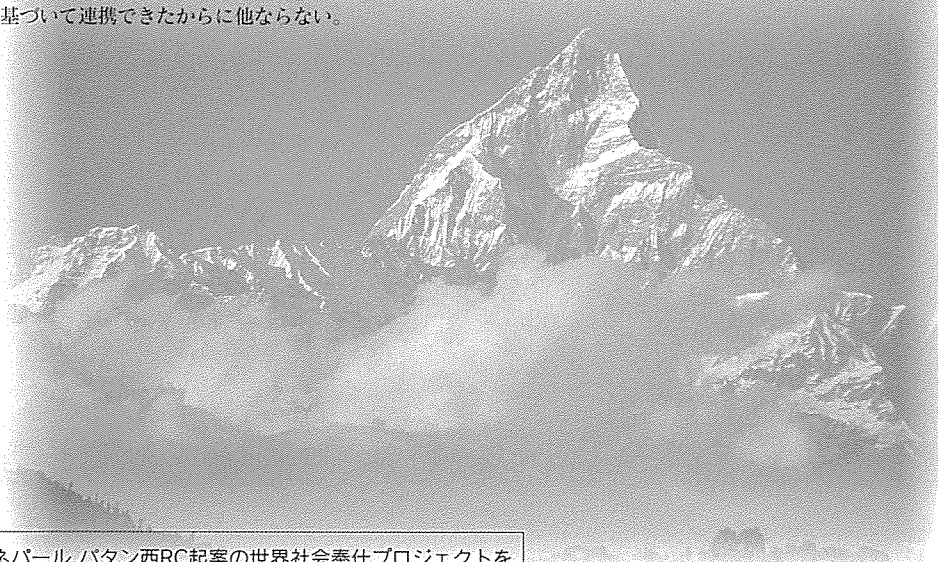


村には電力、ガス、水のインフラは整備されておらず、通常は薪で炊事し夜は蠟燭を灯し、冬でもお湯の出ないシャワーと、人々の生活は大変シンプルなものであったが、化石燃料に頼らないで自然のエネルギーの利活用の知恵を垣間見る事ができた。乳牛を贈る当初の目的は、子供や高齢者の栄養補給と、余剰ミルクを販売する事で生計を助けるというものであったが、牛の利用はそれだけではなかった。牛の新鮮な排泄物より発生したメタンガスを利用し熱エネルギー源としても利用されていた。太陽熱の反射板で炊飯をするソーラークッカー鍋を設置している家庭もあった。シルバリ村出発の朝は、出迎え時と同様に、広場に大勢の村人が集まり、一人一人に手編みの黒い帽子が記念に渡され盛大に見送られた。シルバリ村訪問2日後の11月7日には、全国版新聞(ゴカパトラ・デイリー)と、国営TVのニュースで視察の様子が報道された。ネパール滞在最終日11月8日(火)には、視察団のためにパタン西RCの臨時の例会がPradhan会員宅で開催され、会員夫人を含む約20名の歓迎を受けた。中庭に椅子をならべての例会で、点鐘に始まり、Binod Khatry 会長の挨拶に続き、西RCのメンバーが一人一人紹介された。太原春雄団長、川畑宏二国際奉仕委員長の挨拶の後、バナーと親書を交換した。

帰国後、深尾兼好会員(当時の幹事)がビデオ収録・編集した記録映像が、機会あるごとに地区内の行事や会合で紹介されプロジェクトが広く認知される事となった。



本プロジェクトは、構想・企画段階の年度(片平可也会長)、申請・実行段階の年度(岩田泰一会長)、視察の年度(山下皓三会長)と3期にまたがるものであったが、マッチンググラント補助金が承認されてから半年間でプロジェクトを完了できた。このような国際的な人道支援プロジェクトを実施できたのは、国際ロータリーのネットワークを生かした人道支援のためのシステムがあり、またそれをロータリーの理念を共有する4クラブ(3姉妹クラブ及びパタン西RC)の信頼関係に基づいて連携できたからに他ならない。



[プロジェクトの経緯]

2004年 3月	ネパール パタン西RC起案の世界社会奉仕プロジェクトを支援することを理事会で決定
2004年 3月～8月	鹿児島西RC主導で姉妹クラブへ共同参加の提案・申請準備
2004年 8月20日	ロータリー財団日本事務局へマッチンググラント(*)申請 * 世界社会奉仕活動に対するロータリー財団の補助金制度
2005年 1月29日	マッチンググラント申請承認
2005年 2月～3月	4クラブの寄付金総額 \$ 4,400をロータリー財団へ送金
2005年 5月10日	ロータリー財団より\$ 6,600をネパールパタン西RCへ送金
2005年 5月～6月	パタン西RC主導で牛の発注・調達
2005年 6月14日	シルバリ村へ33頭の牛の輸送・配給開始
2005年 7月23日	ロータリー財団よりプロジェクト完了確認通知
2005年 11月2日 ～11月9日	鹿児島西RC視察団13名ネパール訪問

[ 2005年11月2日～9日 視察メンバー ]

太原 春雄、古木 圭介、高山 義則  
野添 良隆、有馬 戦男、深尾 兼好  
天本 美信、池田 勝一郎、日高 好久  
濱田 悦郎、川畑 宏二



## 活動報告

### 4世代フォーラム



### ● 4世代フォーラムの経緯

(2005-2006年度幹事) 深尾 兼好

2005-2006年度山下会長年度、地区や分区の担当事業もなく、クラブ活動の沈滞化を防ぐには、何かクラブが一丸となって取り組める事業が必要ということで企画された。

世間を見渡してみると、子供を巻き込んだ犯罪が後を絶たず、残虐性も増している。さらにはいじめや暴力で子供が加害者となるケースもある。教育制度や家庭環境に問題があるのでは？という疑問から、今こそ薩摩固有の教育制度「郷中教育」を見直す時、という観点で世代を超えたコミュニケーションの機会をつくるためパネルディスカッションの実施を決定。ロータリーならではの4世代=インターアクト・ロータリーアクト・ロータリー・プロバスによる「4世代フォーラム」となった。

以下第2回徳留会長年度は、富永国俊ガバナーの示された「心の絆」をテーマに、小中高生から作文を募集、優秀作品をフォーラムの初めに朗読、パネルディスカッションに繋いだ。第3回古木会長年度は、「今、何を学ぶべきか」をテーマに環境教育について議論する場を持った。第4回川平会長年度は、より広い動員を確保するため鹿児島市内分区に共同開催を要請、李東建RI会長が提示した「夢をかたちに」をテーマに、世界の子供たちの今について考えた。そして第5回南会長年度は地区事業「新世代のためのロータリー会議」として実施、「地域の誇り」についてビギニングトークの鹿児島南クラブ榎木孝明会員(俳優)を始め市内分区から選出されたパネラーと共に語り合った。以下詳細



## 第1回「4世代フォーラム」

日 時：平成18年4月15日(土) 13:30～16:10

会 場：南日本新聞社 みなみホール

テーマ：「教育 温故 知新」

基 調 講 演：「薩摩と郷中教育」 精矛神社宮司 島津 義秀氏

コーディネーター：南 徹(鹿児島西RCボランティア委員長)

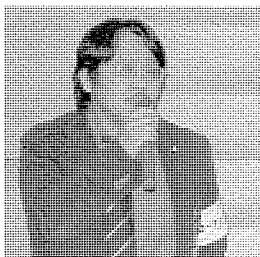
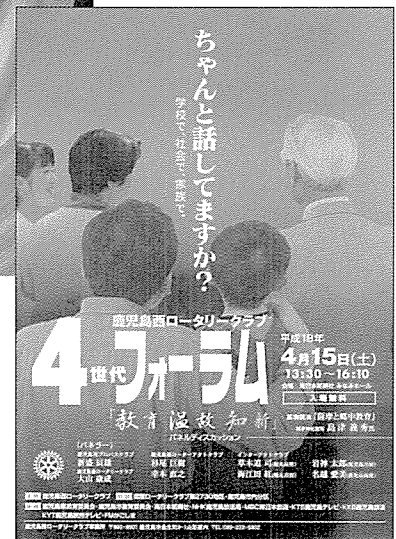
パネリスト：新盛 辰雄(鹿児島西プロバスケットボールクラブ会員)、大山 康成(鹿児島西ロータリー・クラブ会員)、

杉尾 巨樹(鹿児島西ローター・アクトクラブ会員)、幸本 直之(鹿児島西ローター・アクトクラブ会員)、

草木 迫司(鶴丸高校インター・アクト)、海江田 紅(鶴丸高校インター・アクト)、

岩神 太郎(鹿児島高校インター・アクト)、名越 愛美(鹿児島高校インター・アクト)

鹿児島県教育委員会・鹿児島市教育委員会及び南日本新聞、NHK他民放各社の後援、  
国際ロータリー第2730地区鹿児島市内分会の協賛で実施



PRのため「ちゃんと話してませんか？学校で、社会で、家庭で」という問いかけのポスター、チラシを作成、市内クラブや学校を訪問し掲出と配布を依頼。当日は「子供たちは今」と題した問題提起映像で開幕、中国雅治社会奉仕委員長の司会で基調講演の島津義秀氏が紹介され講演、ボーイスカウトの原点が薩摩の郷中教育にあったという諸言にまず驚き、自ら野太刀自顕流を修し、薩摩琵琶を演奏される氏の熱弁に会場が聞き入った。次いでパネルディスカッションのメンバーが紹介され南徹コー

ディネーターの軽妙な進行で90分が瞬く間に過ぎ去った。印象的だったのは大人に心を閉ざしていると思われた高校生たちの堂々とした発言、まだまだ日本は大丈夫だと胸を撫で下ろした一日だった。

実行委員長 深尾 兼好 クラブ幹事

# 活動報告

## 4世代フォーラム

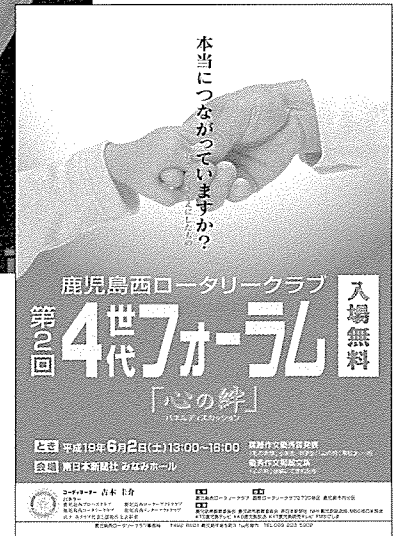


### 第2回「4世代フォーラム」

日 時:平成19年6月2日(土) 13:00~16:00

会 場:南日本新聞社 みなみホール

テーマ:「心の絆」



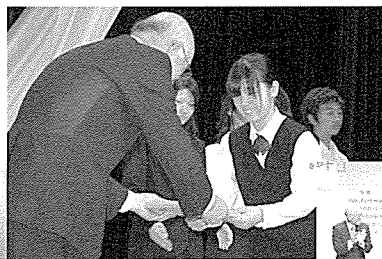
#### 課題作文優秀賞発表会

小中学生は「私の家族」、高校生以上は「心の絆」優秀作文は文集に掲載して当日会場で配布

コーディネーター:古木 圭介(鹿児島西ロータリー・クラブ会長)

パネリスト:喜田 治男(鹿児島西プロバスケットボールクラブ会員)、深尾 兼好(鹿児島西ロータリー・クラブ会員)、  
幸本 直之(鹿児島西ローター・アクトクラブ会長)、安藤 舞桜(鶴丸高校インターアクト)、  
吉満 倫子(鹿児島高校インターアクト)、中能 笙太郎(西田小5年)、  
藤山 美月(鹿児島玉龍中2年)

優秀作文朗読:中能 笙太郎(西田小5年)、藤山 美月(鹿児島玉龍中2年)、  
福崎 由城(池田学園池田中2年)、町田 紗菜(池田学園池田高1年)、  
菊永 有花(鹿児島歯科学院専門学校1年)



PRのためのメッセージは「本当につながっていますか? 便利さとひきかえにしたもの」。課題作文には467点もの作品が集まり、この中から優秀賞5点を含む108点が文集に収録された。フォーラム当日は雨にも拘らず170名もの参加者があり、感動的な作文の朗読に続き、富永国俊

ガバナーも登壇し挨拶を述べた。パネルディスカッションに移り、古木会員をコーディネーターに小学生から70代までのパネリストが「絆」をテーマに熱く語り合った。

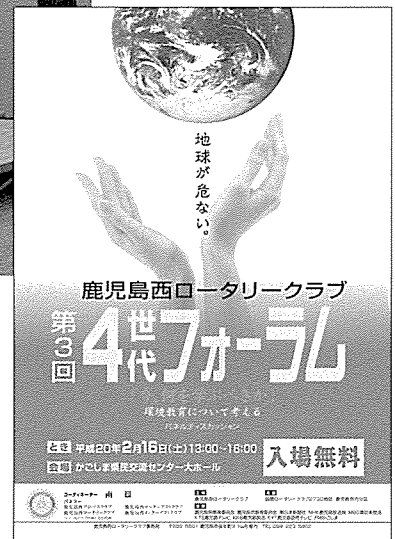
実行委員長 中園 雅治 社会奉仕委員長



## 第3回「4世代フォーラム」

日 時：平成20年2月16日(土) 13:00～16:00  
 会 場：かごしま県民交流センター 大ホール

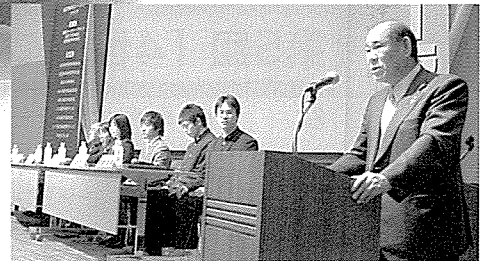
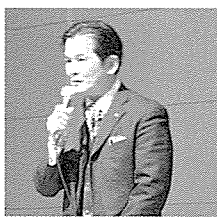
テーマ：「今、何を学ぶべきか？ 環境教育について考える」



基 調 講 演：「環境への提言」鹿兒島西ロータリークラブ会長 古木 圭介

コーディネーター：南 徹(鹿兒島西ロータリークラブ会員)

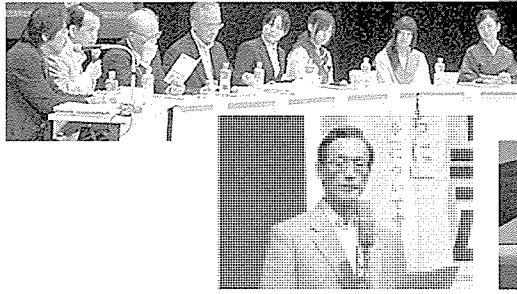
パネリスト：吉武 和臣(鹿兒島西プロバスクラブ幹事)、深尾 兼好(鹿兒島西ロータリークラブ会員)、  
 山元 夕貴絵(GSE2008年度メンバー)、佃 三善(鹿兒島西ロータリークラブ会員)、  
 池田 翔平(鹿兒島高校インターアクト)、宇都 寛高(鶴丸高校インターアクト)



古木会長のたつての要望で第3回は環境をテーマに準備。「地球が危ない、次世代に地球をどんな形で残せるのか？」というメッセージをポスター、チラシで訴えた。会場を県民交流センターに移しての本番では古木会長自らパワーポイントを駆使して、様々な地球環境の悪化に歯止めを架けるために、「何を学ぶべきか？」と問いかけ、問題提起の映像から

ディスカッションに入った。南会員のコーディネートはパネリストとフロアの競演によるブレインストーミングを仕掛けようとするもので、会場全体が熱気を持ち活発な討論が展開された。

実行委員長 原 正親 社会奉仕委員長



## 第4回「4世代フォーラム」

日 時：平成20年9月21日(日) 13:30～15:30  
会 場：鹿児島市民文化ホール 第2ホール

テーマ：「夢をかたちに —世界の子も達の「今」について考える」

基 調 講 演：「支援現場からの報告」鹿児島県青少年海外協力隊を支援する会 弓場 秋信氏  
コーディネーター：深尾 兼好(鹿児島西ロータリー・クラブ会員)  
パネリスト：島田 俊秀(鹿児島西プロバスクラブ会員)、大野 達郎(鹿児島西ロータリー・クラブ会員)、  
日高 恭子(鹿児島西ローターアクトクラブ会員)、黒田 いずみ(市民代表-IBS外語学院研究生)、  
小郷 愛(鶴丸高校インターアクト1年)、増田 滯(鹿児島高校インターアクト2年)



手を差し伸べよう。  
世界の子も達の「今」について考える

鹿児島西ロータリー・クラブ  
第4回 4世代フォーラム

平成20年9月21日(日) 13:30～15:30  
鹿児島市民文化ホール 第2ホール 入場無料

1日≒30,000人、世界で毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数。安穩と暮らす私たちは「何も出来ない」のではなく「何もしようとしれない」のでは？世界中の子供が等しく夢を見る事が出来る社会を築くために「何か」出来る事はないのか？第4回は「手を差し伸べよう何かできる」というメッセージを市内クラブ、学校に配信した。川平会長の発案で鹿児島市内分区分全クラブの共催というカタチが生まれ、より大きな対話の場となり、会場も鹿児島市民文化ホールに移して

のフォーラム。RIやユニセフからも映像資料の提供を受け、青年海外協力隊を支援する会の弓場秋信事務局長のマレーシア、ラオス、カンボジア等、開発途上国の現場からの報告、内乱や極貧の環境の中で、必死に学ぼうとする笑顔の子供たちが紹介され、パネルディスカッションでも様々な観点や体験からの発言が相次ぎ、予定時間を30分オーバーしてもまだ話足りず、次回を期して閉会した。講評は共催10クラブを代表して種子島登鹿児島クラブ会長。

実行委員長 深尾 兼好 社会奉仕委員長

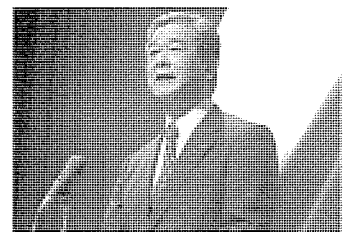


## 第5回「4世代フォーラム」

日 時：平成23年2月6日(日) 13:30～16:00  
会 場：鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂

テーマ：「地球の誇りが世界を救う — Humanity in Motion」

主催：国際ロータリー第2730地区鹿児島市内分区分  
主管：鹿児島西ロータリー・クラブ  
ビギニングトーク：榎木 孝明(俳優・画家)  
コーディネーター：南 徹(鹿児島西ロータリー・クラブ会長)  
パネリスト：星原 昌一(鹿児島西プロバスクラブ)、山下 良一(鹿児島城西ロータリー・クラブ)、  
松田 泉(鹿児島サザンウインドロータリークラブ)、植村 恭子(鹿児島ローターアクトクラブ)、  
高倉 裕司(鹿児島ローターアクトクラブ)、金丸 恭輔(鹿児島高校インターアクト)、船間 あさひ(鹿児島高校インターアクト)

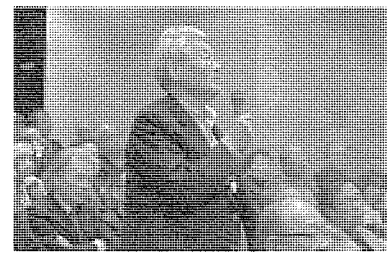
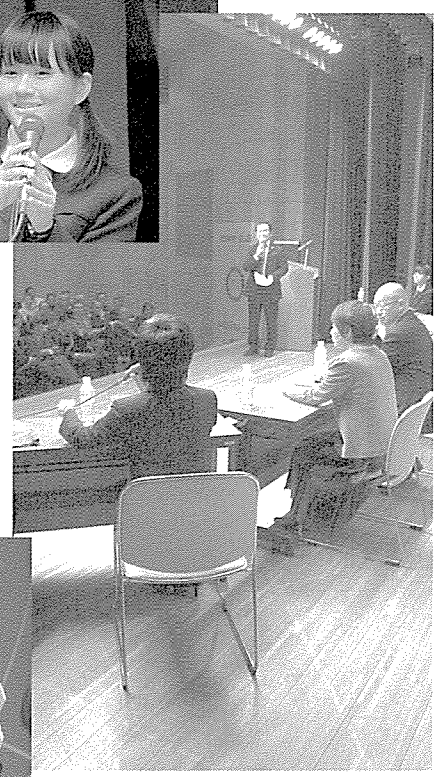
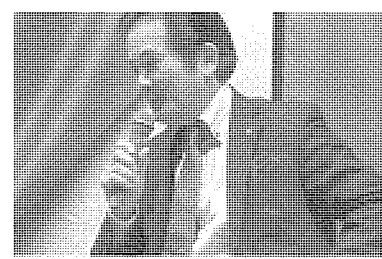
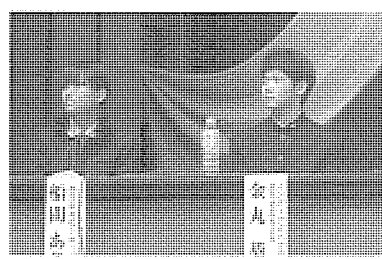
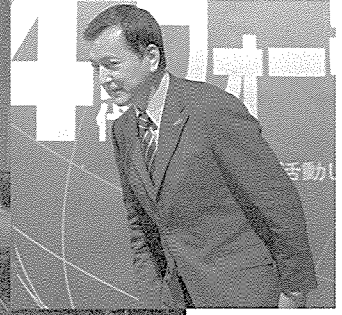
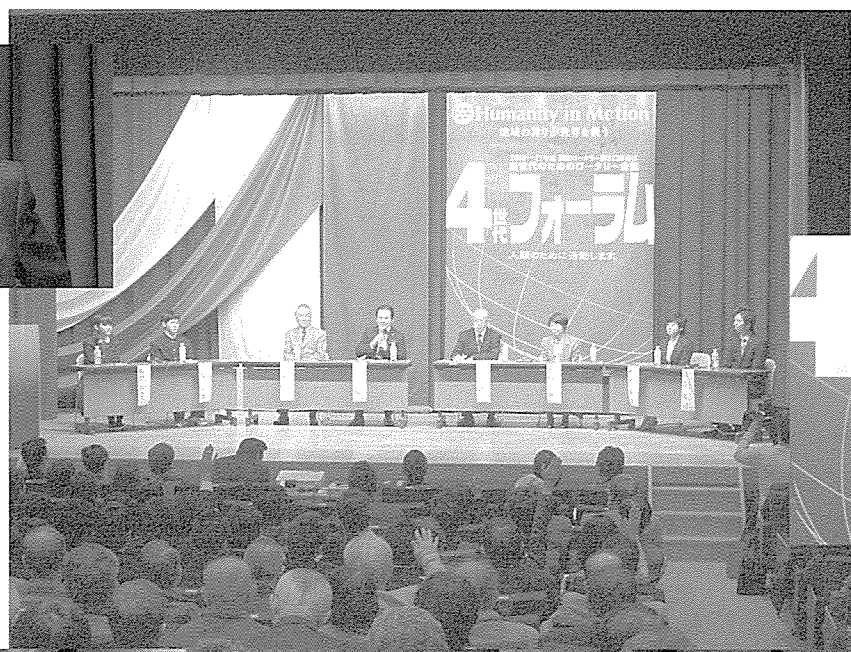


人類のために活動しましょう

地域の誇りが世界を救う  
Humanity in Motion

平成23年 2月6日(日) 13:30～16:00  
鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂 入場無料

主催：国際ロータリー第2730地区鹿児島市内分区分  
主管：鹿児島西ロータリー・クラブ  
ビギニングトーク：榎木 孝明  
コーディネーター：南 徹



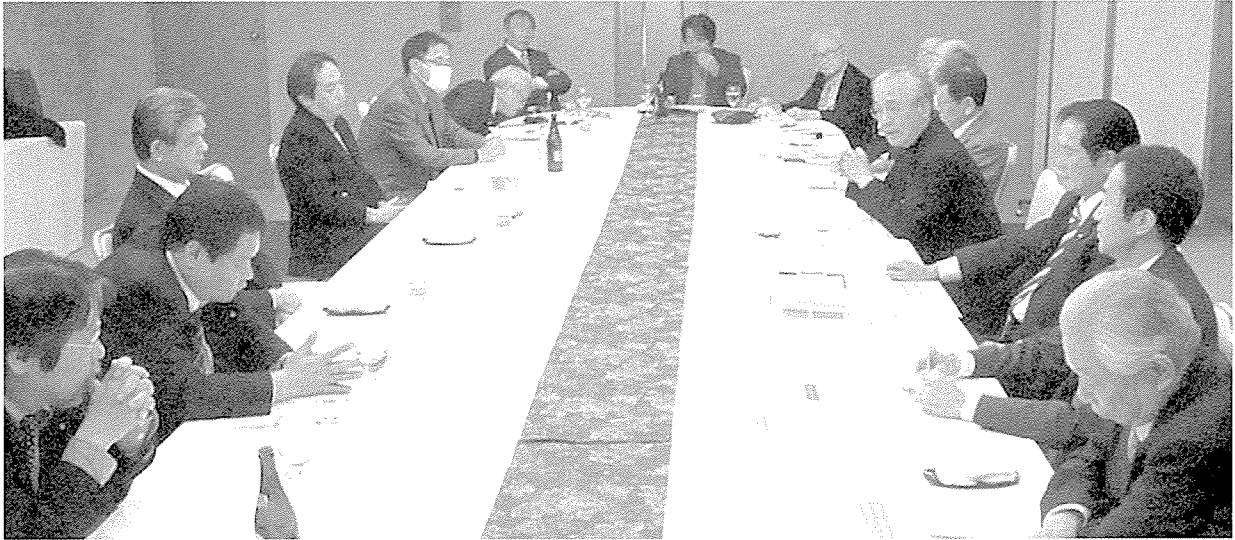
第5回は、2010-2011年度、クリングスミスRI会長のテーマ「地域を育み、大陸を繋ぐ」に呼応する形で地区イベント「新世代のためのロータリー会議」として実施。会場入り口には、鹿児島県内全クラブの活動紹介パネルも展示され、入場者にはロータリーの活動への理解を求めるPR誌も配布された。冒頭、深尾兼好地区広報委員長、山下皓三鹿児島市内分区ガバナー補佐、伊藤学而ガバナーが相次いで登壇、「地域を育むのはロータリーの伝統=職業奉仕を基軸とした社会奉仕と、その活動を支援する地域社会の理解。足元を固めて初めて奉仕の精神は世界という大きな視野を持つ」とロータリーをアピールした。続いて鹿児島南ロータリー・クラブのメンバーでもある俳優の榎木孝明会員が自ら企画・主演

した映画「半次郎」を題材に郷中教育を語り、鹿児島に育った者の誇りが故郷を育み、日本をも活性化させる。と提言。パネルディスカッションでは、「あなたは故郷を卑下していませんか？」というショッキングな問題提起の映像から活発な討議が始まった。コーディネーター南徹鹿児島西ロータリー・クラブ会長の進行は巧妙を極め、4世代のパネリストは勿論、会場全体を巻き込んで熱い討議が繰り広げられ、「故郷を学ぶ事で発信力を高め、日本を元気にしよう！」と締めくくった。最後に鹿児島ロータリー・クラブ松木實会長が講評を述べ閉会。フォーラムの様子はパネリストの高校生、金丸君と船間さんの鹿児島の神話遺跡や郷中教育の取材映像と共に30分のTV番組としてKKB鹿児島放送でOAされた。

実行委員長 山下 皓三 鹿児島市内分区ガバナー補佐

## 活動報告

### 鹿児島西RC学習会



## ●400回を迎えた「鹿児島西ロータリー・クラブ学習会」 ～西ロータリー情報委員会の50年～

鹿児島西ロータリー・クラブの情報委員会はクラブ創立(1963年3月23日)当時から組織され、初代委員長はチャーターメンバーの塘一郎会員(パスト・ガバナー、故人)でした。

1978～1979年度(藤安辰造会長、三角桂次郎幹事)の情報委員長を入会4年目で引き受けられた福田正臣会員(1985～1986年度会長、2012年3月28日逝去)は個人的にロータリーを勉強され、その積極的な熱意を受けたクラブ理事会は、幹事主導で「鹿児島西クラブ学習会」を発足させ、1978年8月24日ホテル鶴鳴館で第1回学習会が開催されたことと記録されています。初期段階では数回の休会もあったものの、ほぼ毎月1回、学習会は定期的で開催されていたようです。

1996～1997年度(玉川哲生会長、森永茂樹幹事)の竹下威情報委員長は「ロータリー情報委員会が学習会を担当したい」と申し出られ理事会が承認しました。以来、学習会は情報委員会のリーダーシップのもとに継続的に開催されています。

クラブは国際ロータリーの会員として国際ロータリーの決定する事項を遵守し、クラブ会員は、クラブの一員として理事会の決定する事項を遵守しながらクラブの活動に参加すべきものです。鹿児島西クラブの学習会は、ロータリー情報の共有のために多大な成果を挙げてきました。学習会は、国際ロータリーの規定するロータリー月間に沿ったテーマで運営され、自由討論の場として活発に討論が行われています。「鹿児島西クラブでは、学習会で会員がロータリーの精神を学び、一致団結してクラブの活動にいそんでいる」と、歴代の地区ガバナー諸氏から高い評価を受けてきました。

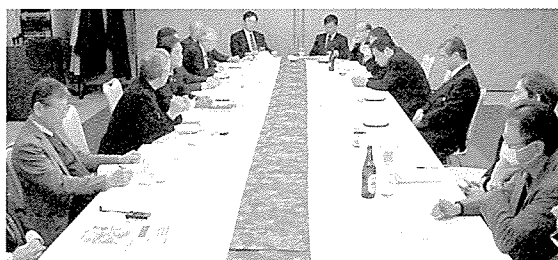


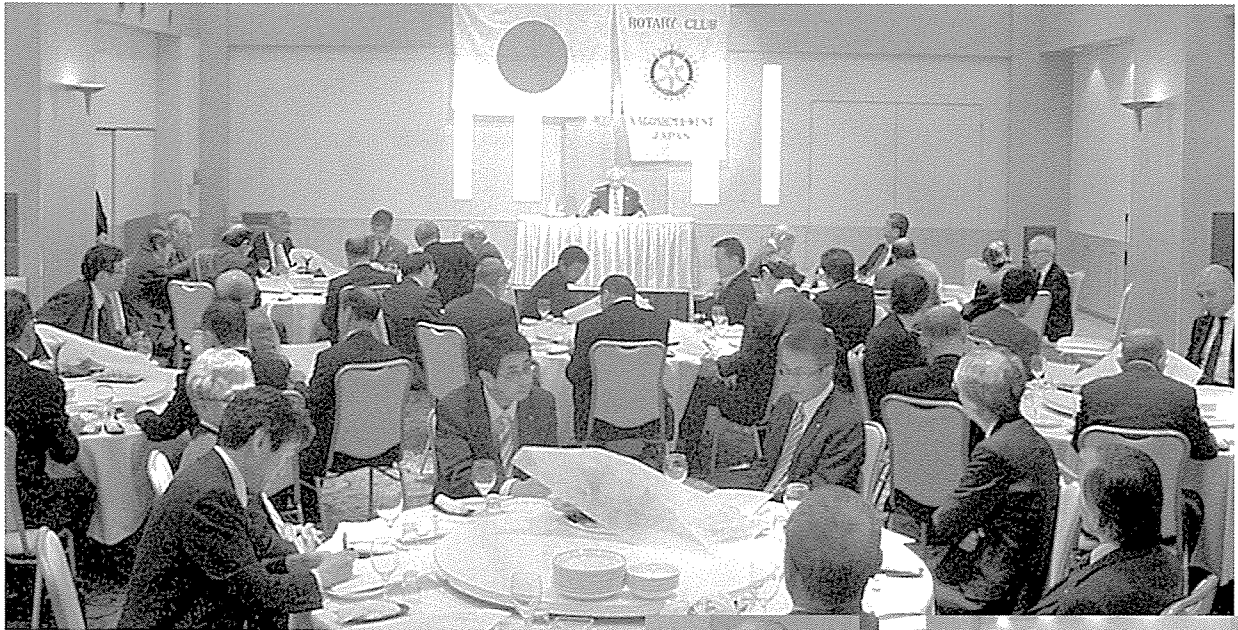
### ●鹿児島西ロータリー・クラブ 第386回学習会

テーマ:ロータリー理解推進月間

リーダー:広報IT委員会

ホテル・レクストン鹿児島 2011.1.7





2011～2012年度(玉利賢介会長、藤安秀一幹事)の有村仁志・情報委員長は、400回目を迎える学習会をプロデュースして2012年3月5日に記念学習会を開催しました。秦喜八郎パスト・ガバナー(宮崎中央ロータリー・クラブ)や地区クラブ研修委員会の田中春敏委員長(高鍋ロータリー・クラブ)にも参加していただき、竹下威会員(2001～2002年度会長)が思いを籠めながら学習会を振り返り、参加者一同、深く感銘を受けました。また学習会の功労者として福田正臣会員と竹下威会員を表彰しました。



▲竹下威 元情報委員長



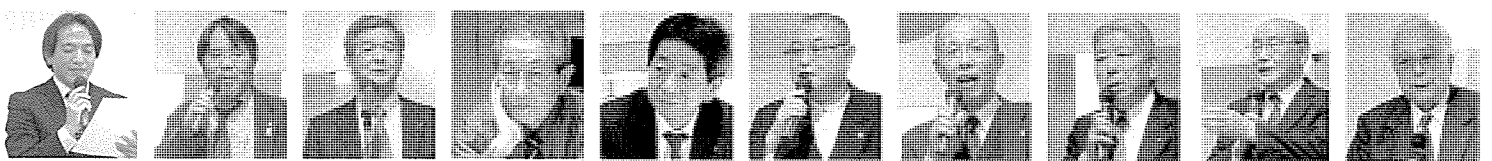
▲格調高い講演「学習会・思いつくままに」

2012～2013年度(染川周郎会長、川畑宏二幹事)は、鹿児島西ロータリー・クラブの創立50周年にあたり、山下皓三会員を地区ガバナーとして輩出しています。2006年11月、国際ロータリー理事会は、「クラブ管理運営方式として、クラブリーダーシップ・プラン(CLP)が最良である」と認めCLPを承認しましたが、これまで各クラブの理解は得られてきませんでした。今期、山下ガバナーと深尾地区幹事の努力でようやくその意義が浸透しつつあります。西クラブでは、2013年5月の学習会で次年度に向けてのテーマとしてCLPの検討を開始したところです。

近年、規定審議会は「決議23-34」の抹消を討議しているようですが現時点では存在しており、クラブの自治権は保証されています。2010年の「手続き要覧」から「効果的なロータリー・クラブの定義」が紹介されており、今後は「効果的なクラブとなるために…」ということがクラブの管理・運営のテーマとなるようです。

歴代の地区ガバナーは、公式訪問等で「鹿児島西クラブの学習会」を引き合いに出しながら「ロータリーの研修」を推奨されています。その結果、地区内の多くのクラブに「夜間大学」、「ロータリー勉強会」等が始動しています。いずれにしろ「鹿児島西クラブの学習会」は、会員相互の親睦と奉仕に関する原動力となっています。今後も継続的な開催で「効果的なクラブへの道」を指南することでしょう。

文責：川平 建次郎 会員



▲有村仁志委員長・深尾兼好副委員長の指名に応え、「ロータリー」を語る面々



▲会場を埋め尽くす出席者



● 節目の鹿児島西

ロータリー学習会(第400回)  
ホテル・レクストン鹿児島 2012.3.5



▲創始者・福田正臣 元情報委員長



▲秦喜八郎地区研修リーダー(宮崎中央RC・パスト・ガバナー)



▲田中春敏 次年度地区研修委員長(高鍋RC・元会長)



▲岩切豊 次年度情報委員長



## 活動報告

### ローターアクト35周年



#### ● 鹿児島西ローターアクト・クラブの歩み

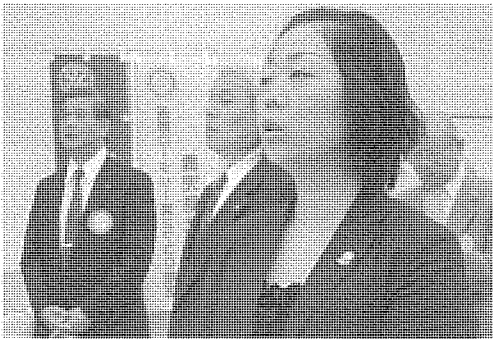
この度は、鹿児島西ロータリークラブ様の50周年まことにおめでとうございます。

半世紀間という長い歴史の中で素晴らしい品格を保ち続けてきた鹿児島西ロータリークラブの会員の皆様には、尊敬の念でいっぱいです。そして、その尊敬出来るクラブの提唱ローターアクトであることを誇りに思います。

鹿児島西ロータリークラブのこれまでの歴史には、少なからず鹿児島西ローターアクト・クラブのこれまでの歩みも含まれていると思います。そこで、ここで鹿児島西ローターアクト・クラブの活動報告をさせて頂こうと思います。

近年は、クラブ会員数の確保に悩まされ、なかなか思うように活動を充実させられない年が続いておりました。そんな中でも、ロータリークラブの先輩方は卓話に来てくださったり物資を提供してくださったり、手を貸し続けて下さいました。特に歴代のRAC委員長は毎回例会に参加して下さい、まだまだ未熟な私達の話に親身になって耳を傾けて下さいました。そんなこんなで色々な人の力を借り、低迷していた時期を乗り越え今は徐々に調子を取り戻しつつあります。





今期は、5名スタート、5名の仲間を増やし現在10名の仲間で活動しています。久々に二桁の会員数となり活動にも活気が出てきています。

活動の内容は、出来るだけわかりやすく全ての参加者が1でも2でも成長出来ることを心がけて企画・計画・運営を行っています。

例えば、メロンパンという誰もが一度は目にしたことのある食べ物を、他者にその素晴らしさを伝えるという例会を行いました。活動趣旨は、個々のコミュニケーション能力の向上及びプレゼンテーション能力の向上でした。題材は、身近で溶け込みやすく、手に入れやすい物ということを考え、メロンパンとしました。

次に、これは鹿児島西ロータリークラブで一番誇れる行事ですが、毎月第1日曜日に行われる朝清掃活動をご紹介します。この活動は、クラブ発足当初から続く活動だと聞いています。継続は力なり。この活動は会員数が幾ら減少しても続けて参りました。本当に誇りに思う活動の一つです。この度この活動を広く一般にも広め、アクトの地域認知度を向上させるためにも、朝清掃参加者の一般公募を始めました。参加者により楽しんで参加して頂けるよう、奉仕が身近に感じて頂ける様な企画をこれからどんどん取り入れていこうと考えています。

私達の歴史も37年となり、全ての活動を報告することは出来ません。私達はこれからも切磋琢磨しながら全員で一歩一歩着実に成長し、一般の方々にロータリーアクトを、そしてロータリーを広く深く認知してもらえるような活動を行って参ります。

今後ともご指導ご支援のほど宜しくお願い致します。おめでとうございます。

鹿児島西ロータリーアクト会長

福永 千裕

## 活動報告

### 職業選択フォーラム



### ●世界に刻んだ50年

「ほら…」よく考えてみてください。

あなたがロータリー・クラブの会員になった時のことを、どんな希望を持ったことでしょうか、そして、どんな気持ちだったでしょうか。カッコ良い、えらくなったような、しかしそこにはあなたの「人を幸せにしたい気持ち」が、一番だったと思います。ロータリアンは皆、人を幸せにしたいという心が胸の中に宿っていると思います。そして、そうでなかった人もロータリアンになれば 奉仕活動に協力している過程で、人を幸せにしたい気持ちが自然に生まれてくるのでしょうか。

1963年3月に鹿兒島西ロータリー・クラブが誕生、その記念すべき第1代会長に櫻美四郎氏が就任、優れた会員が協力して、その奉仕活動が世界に刻印されて来て2013年の今日、すばらしい、大慶の第50周年記念式典を迎えることが出来ました。記念すべき50代目の会長は染川周郎氏が着任、そして我クラブから山下皓三ガバナーが誕生、誠に大慶このうえない50周年となりました。

私達ロータリアンは週に一度の例会に出席して社会的にも、自分自身の人間形成にも、その例会出席サイクルから規則正しい精神構造が形成され、人間らしさの人格が国際的に評価されて、グローバルな奉仕ネットワーク活動が構築されるのだと思います。ロータリー・クラブ奉仕活動の職業選択フォーラムも、世の中のためになる奉仕活動の一部であり、高校生たち若い人生の良い修業結果として学業と共に生かされ、その進路的思考にも良い方針が生まれてくるのではないのでしょうか。高校生に聞きたい、何のために勉強するのか、それは「遊ぶために勉強する」そして、目的の職業を選択する。目的の大学に進学する。ここに人生の楽しさがある。そこに行くため。

「遊ぶために勉強する」そのためには「勉強のための勉強ではなく『あなたが将来楽しい人生をやりたい』。だからそのため学び、遊び、好きな研究を行い、良い友人に会い、ステキな恋愛をし、そして結果、自分に合った希望の職業がゲットできる、目的の大学で学べる」、そこは自分の人生計画を楽しみながら出来る一括統合の場所であるのです。こんな楽しい場所だから勉強しない手はない。夢に敗れて自分を捨てることはない。若人よ、死に急ぐことはない。「あの世のあの世はこの世」だから。



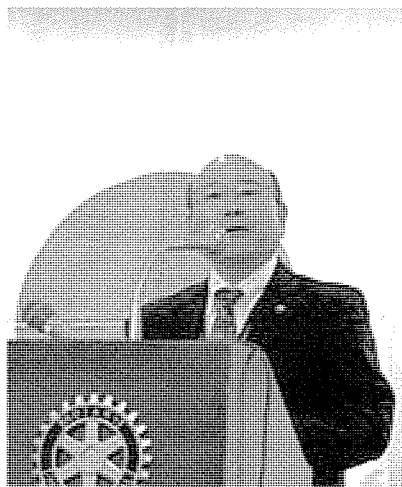
●職業選択フォーラム参加者

## ●第22回職業選択フォーラム

50周年目の新世代委員長 七枝敏洋氏率いるインターアクト委員会では、更に進化した職業選択フォーラムとして、鹿児島県立鶴丸高等学校と鹿児島高等学校生との合同開催を行い、開催場所の鹿児島高等学校大会議室に於いて、「何のために働くのか」をテーマに、そして宇宙基地を二つ持つ鹿児島県に夢を託した基調講演として鹿児島大学特任教授の面高俊宏氏が「種子島と内之浦・日本の宇宙基地を持つ鹿児島県の発展について」講演を併わせ行い、フォーラムに参加した生徒諸君から好評をいただきました。



●面高俊宏鹿児島大学特任教授 講演での生徒質問



●鹿児島県立鶴丸高等学校 大平和男校長先生 卓話

職業選択フォーラムに合同参加を頂いた鹿児島県立鶴丸高等学校、大平和男校長先生を鹿児島西ロータリー・クラブにお招きし、「高校教育の現状と課題」の演題で、すばらしい卓話を頂き勉強になりました。また、当クラブの奉仕活動をご理解いただく良い機会を持ち、会員との友好を深めました。

すばらしい鹿児島西ロータリー・クラブ、さあ、世界の扉が開いている、優秀な会員と役員、ガバナーが奉仕の活動を心身直結で刻んで行く。

ROTARY CLUB



高校教育の現状と課題  
大平和男校長先生 卓話



●卓話会場

2013年インターアクト委員長

海江田 嗣人

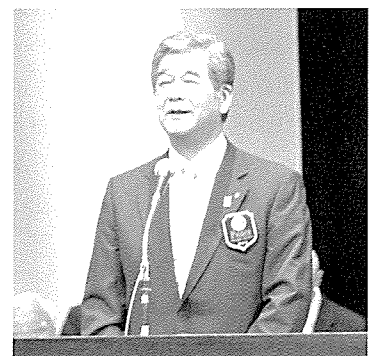
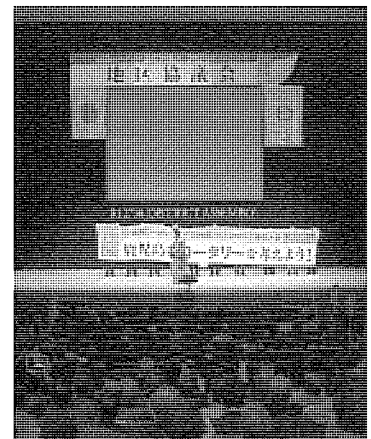
# 活動報告

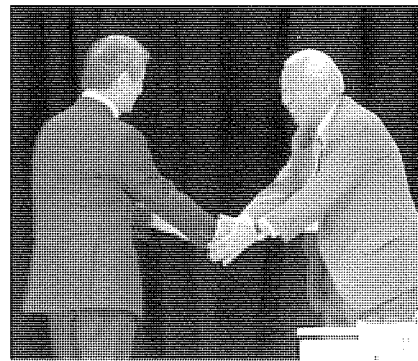
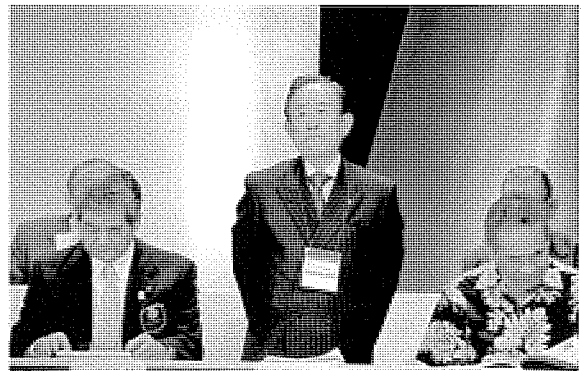
## 地区協議会



### ●国際ロータリー第2730地区 2012～2013年度のための地区協議会報告

日 時：平成24年5月26日(土) 9:30～16:30  
会 場：全体会議…鹿児島市民文化ホール第2  
部門別会議…サンロイヤルホテル、鹿児島県市町村自治会館  
ホストクラブ：鹿児島西ロータリー・クラブ、鹿児島市内分区分全クラブ





開催日前日は鹿児島西RCを中心とした地区協議会実行委員会のメンバーが総動員で準備し、当日の参加者は900名を数え、準備したアセンブリー1000部はあっという間に完配した。

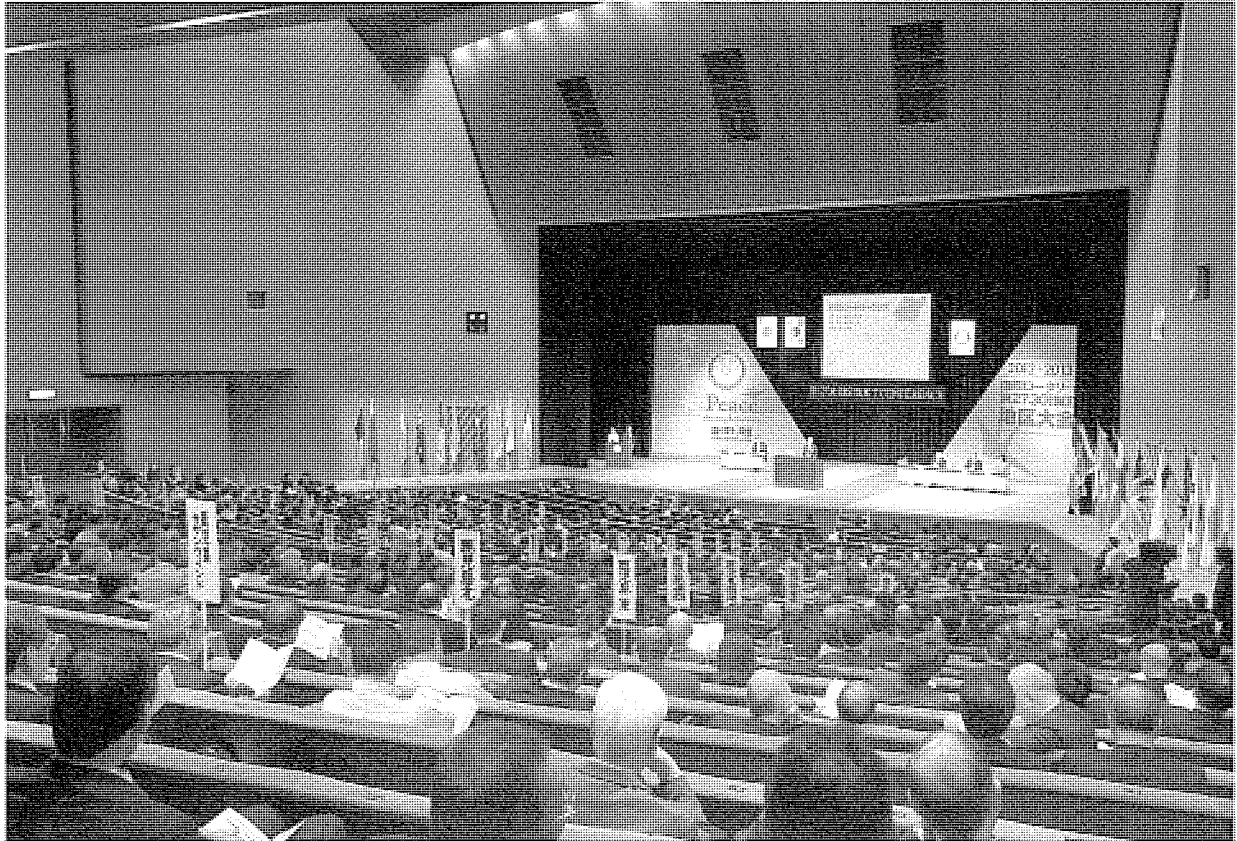
全体会議のオープニングは暗転していきなり地区大会のPR映像とパフォーマンス。鹿児島西RCの庵木会員と交換留学生アーサー君の居合術と合気道、会場が息を飲む中、横断幕を持ったPR隊と南徹地区大会実行委員長が参加を呼び掛けた。

内村二郎SAAの司会進行で、水流洋実行委員長による開会告知後、山下皓三GEが点鐘。鮫島信一会員の指揮で国歌とロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱。玉利賢介ホストクラブ会長の歓迎の挨拶の後、長峯基ガバナーが登場、「ノミニーが決まった安堵と女性会員増強の満足、安心と信頼をもって山下年度にバトンタッチしたい」と挨拶された。山下GEは「突然のGE就任で右往左往したが何とか地区協議会に漕ぎ着けた。アメリカでの研修で感じた責任の重大さを忘れず頑張る」と会員の支援を呼び掛けた。伊藤学而次年度研修リーダー・PDGが今日の地区協議会の目的について改めて説明し、参加したクラブリーダー各位の自覚を促した。ついで山下GEから次期ガバナー補佐10名を紹介され、セミナーに移った。



# 活動報告

## 地区大会



日 時：平成24年11月9日・記念ゴルフ大会、指導者育成セミナー、RI会長代理歓迎晩餐会  
10日・G補佐、地区委員長、クラブ会長幹事協議会、第1本会議、  
RI研修セッション、会員交流大懇親会 ※ 友愛の広場、ロータリー広報館、匠の行動展示  
11日・第2本会議、市民公開講座

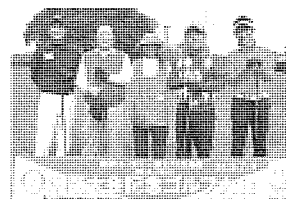
会 場：ゴルフ大会…かごしま空港36CC  
メイン会場…鹿児島市民文化ホール  
懇親会場…鹿児島城山観光ホテル  
ホストクラブ：鹿児島西ロータリー・クラブ  
コ・ホスト：鹿児島市内9クラブ



### 11月9日(金)

#### 記念ゴルフ大会(かごしま空港36CC)

8:30 受付開始  
9:30 プレー開始  
16:00 終了



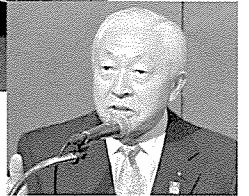
▲プレー終了後 会場にて表彰式

# ●大会1日目・11月9日(金)

## 地区指導者育成セミナー

(城山観光ホテル4F 天平)

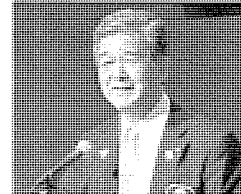
- 13:00 受付  
 13:30 開会の挨拶 地区職業奉仕委員長 中村 良一  
 主催者挨拶 ガバナー 山下 皓三  
 RI会長代理挨拶 RI会長代理 竹腰 兼壽
- 13:44 セミナー「今、なぜ職業奉仕なのか？」  
 -職業奉仕の理念と実践-  
 講演者 前RI職業奉仕推進委員長 黒田 正宏  
 講評・謝辞 地区研修リーダー 伊藤 学而
- 15:30 終了



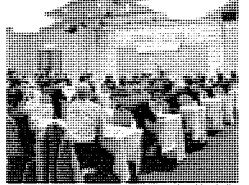
▲竹腰 兼壽 RI会長代理



▲黒田 正宏 前RI職業奉仕推進委員長



▲山下 皓三ガバナー



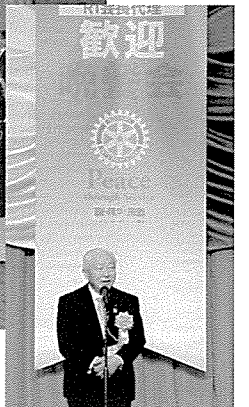
## RI会長代理歓迎晩餐会

(城山観光ホテル2F ロイヤルガーデン)

- 18:00 ウェルカム演奏  
 18:30 開宴の辞 実行委員長 南 徹  
 歓迎の挨拶 ガバナー 山下 皓三  
 RI会長代理挨拶 RI会長代理 竹腰 兼壽  
 鹿児島市長挨拶 鹿児島市長 森 博幸  
 ご来賓紹介 ガバナー 山下 皓三  
 乾杯 PDG藤川 享胤
- 19:15 アトラクション 弦楽四重奏  
 ゲストスピーチ  
 ・PDG深川 純一  
 ・第3660地区 PDG金 慶泰  
 ・第3720地区 ガバナー宋 時俊
- 姉妹クラブ記念品交換  
 歓談  
 閉宴の辞 ホストクラブ 染川 周郎会長  
 ロータリーソング「手に手つないで」
- 20:30 閉会



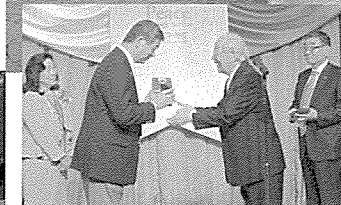
●弦楽四重奏による歓迎演奏



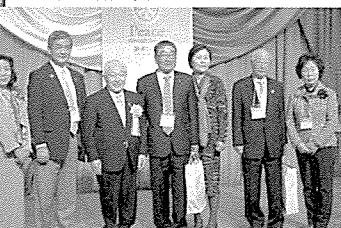
▲挨拶される竹腰RI会長代理



▲乾杯 PDG藤川 享胤



▲記念品交換



▲「手に手つないで」



# ●大会2日目・11月10日(土)

## 地区諮問委員会朝食会

(城山観光ホテル4F ガレリア) 7:00~8:00



▲朝食会風景

## ガバナー補佐・地区委員長・ クラブ会長・幹事協議会

(市民文化ホール4F 市民ホール)

9:30 受付開始・信任状受付  
10:00 開会告知 地区幹事 深尾 兼好

10:02 点鐘  
RI会長代理紹介 ガバナー 山下 皓三  
RI会長代理挨拶 RI会長代理 竹腰 兼壽  
ガバナー挨拶 地区現況報告 ガバナー 山下 皓三

議 事  
2011-2012決算報告  
2012-2013財務現状報告  
ガバナー・ノミニー選考経過報告  
次年度ガバナー補佐増員について  
2012-13年度 地区大会決議(案)提案

RI会長代理アドレス RI会長代理 竹腰 兼壽

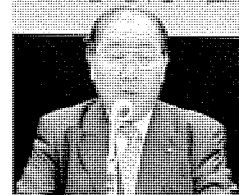
11:35 点鐘  
11:35 昼食



深尾地区幹事

須田直前地区財務委員長

長峯委員長



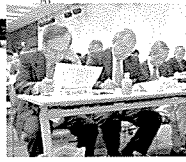
▲財務現況報告 須田財務委員長



RI会長代理アドレス



▲地区大会決議(案)提案



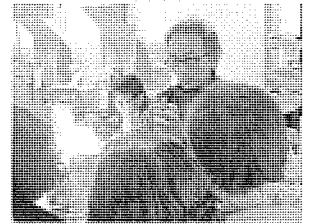
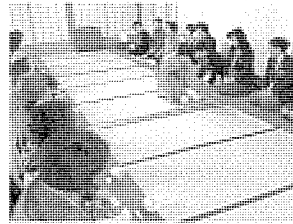
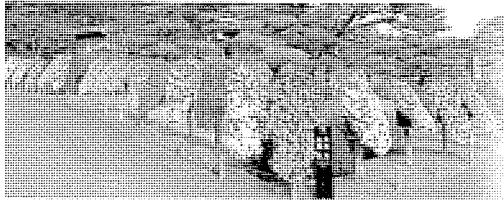
◀2011-12年度決算報告 桜田直前地区財務委員長



## 家族親睦プログラム

(仙巖園・尚古集成館・異人館見学)

### 「菊祭り・島津家の伝統と 近代産業遺産巡り」



## 友愛の広場

### ・活動報告パネル展示

(鹿児島市民文化ホール・エントランス)

11月10日(土)・11日(日)

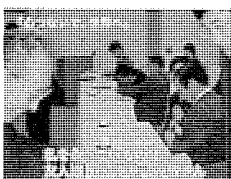
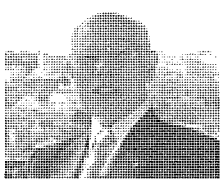
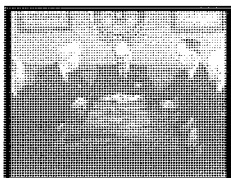
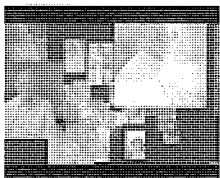


▲鹿児島高校専道部のみんぞま

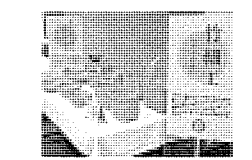
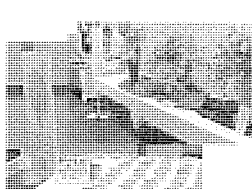
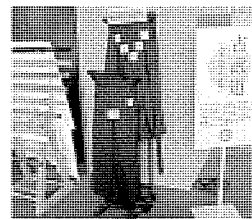
## ロータリー広報館

### ・ロータリー広報 映像上映 ・故郷の「匠」行動展示

(鹿児島市民文化ホール・第二ホール)



▲和菓子の  
実演・展示



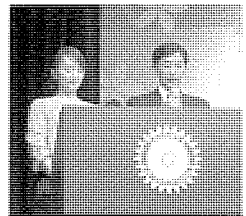
▲薩摩焼の制作実演

▲第二ホールで上映されたロータリー広報映像

# 第一本会議

(鹿児島市民文化ホール・第一ホール)

- 12:00 受付開始
- 12:30 開場
- 13:00 オープニング映像  
開会告知・点鐘 国歌斉唱 ゲスト国歌  
ロータリーソング「奉仕の理想」 ソングリーダー 鮫島 信一
- 開会の辞 実行委員長 南 徹
- 来賓・特別参加者紹介 SAA 大山 康成
- 地区内クラブ紹介 ガバナー補佐(10名)
- 物故会員に黙祷
- 歓迎の挨拶 ホストクラブ会長 染川 周郎
- 来賓祝辞 鹿児島県副知事 山田 裕章  
鹿児島副市長 古木 岳美
- 祝電披露  
ガバナー・アドレス ガバナー 山下 皓三  
RI会長代理アドレス RI会長代理 竹腰 兼壽
- 姉妹地区ガバナー挨拶 RI第3660地区バスト・ガバナー 金 慶泰  
RI第3720地区ガバナー 宋 時俊  
青少年交換留学生・米山記念奨学生
- 特別参加者紹介  
財団・米山奨学生報告  
規定審議会に向けて報告 PDG安満 良明  
大会決議案採択 大会決議委員長 長峯 基  
閉会告知
- 15:25 点鐘 終了



▲司会 大山 康成SAA・上野 安穂美



▲染川 周郎 ホストクラブ会長



▲南実行委員長



▲RI第3660地区 金 慶泰PDGの挨拶



▲RI第3720地区 宋 時俊ガバナーの挨拶



▲握手を交わす 宋 時俊ガバナーと山下ガバナー

# RI研修セッション

(鹿児島市民文化ホール・第一ホール)

- 15:40 講演開始  
「職業奉仕の理念と実践」
- モデレーター 前RI職業奉仕推進委員長 黒田 正宏(八戸南)
- パネリスト PDG 深川 純一(伊丹)
- パネリスト PDG 田中 毅(尼崎西)
- パネリスト PDG 小船井 修一(釧路)

17:15 講演会終了



黒田 正宏  
モデレーター

▲深川 純一PDG

▲田中 毅PDG

▲小船井 修一 PDG

# 会員交流大懇親会

(城山観光ホテル エメラルド)

- 18:00 受付
- 19:00 オープニングセレモニー フルート奏者 池田 博幸
- 19:10 開演の辞 実行委員長 南 徹  
ガバナー挨拶 ガバナー 山下 皓三  
来賓紹介
- 19:19 乾杯 直前ガバナー 長峯 基
- 19:34 カツオの解体ショー 枕崎ロータリー・クラブ  
神話の邦2012  
ローターアクト しの笛一座 池田 博幸 香田 尚子  
花柳流 花柳二千翔社中
- 歓談  
ロータリーソング「手に手つないで」
- 20:43 閉会の辞  
ホストクラブ会長 染川 周郎  
終了



▲オープニングセレモニー フルート演奏



▲枕崎クラブ大茂 健二郎会員によるカツオの解体ショー



▲「神話の邦2012」を演じるローターアクト

# ●大会3日目・11月11日(日)

## 第二本会議

(鹿児島市民文化ホール・第一ホール)



▲部門別活動計画報告

8:30 受付開始  
 9:30 開会告知 SAA 大山 康成  
 ロータリーソング「我らの生業」ソングリーダー 鮫島 信一  
 部門別活動計画発表 拡大・増強部門長 佐々木 鴻昭  
 クラブ管理部門長 内村 文泰  
 奉仕プロジェクト部門長 古木 圭介  
 ロータリー財団部門長 赤塚 晴彦  
 米山記念奨学会部門長 永田 行博  
 公共イメージ部門長 水居 徹

大会各委員会報告 登録委員長 安藤 宏  
 信任状委員長 池田 豊繁  
 選挙管理委員長 小松 忠雄

ローターアクト活動報告 RAC地区代表 福永 千裕  
 インターアクト活動報告 IAC小委員長 川畑 幸則  
 ガバナー・エレクト紹介 ガバナー 山下 皓三  
 ガバナー・エレクト挨拶 GE大迫 三郎  
 次期ガバナー補佐紹介 GE大迫 三郎  
 ガバナーノミニ経過報告 PDG秦 喜八郎  
 記念品贈呈 RI会長代理 直前ガバナー  
 各賞表彰 RI会長代理 竹腰 兼壽  
 ガバナー 山下 皓三  
 米山奨学会表彰 (財)ロータリー米山記念奨学会  
 事務局長 坂下 博康

RI会長代理所感 RI会長代理 竹腰 兼壽  
 ガバナー大会所感 ガバナー 山下 皓三  
 次期地区大会PR 宮崎南ロータリー・クラブ  
 ロータリーソング「手に手つないで」  
 大会閉会宣言 実行委員長 南 徹  
 ガバナー 山下 皓三

11:50 点 鐘  
 終 了



▲竹腰RI会長代理・長峯直前ガバナーに記念品贈呈



▲大会委員会報告

阿南 公章会員  
 (102歳)



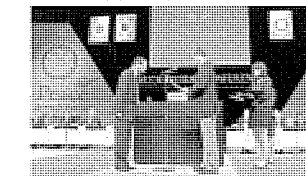
▲ガバナー賞 表彰式にて



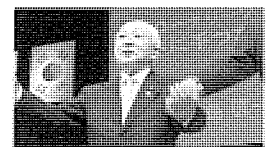
▲副会長賞 表彰式にて



▲次期地区大会PR



▲ガバナー特別賞 表彰式にて



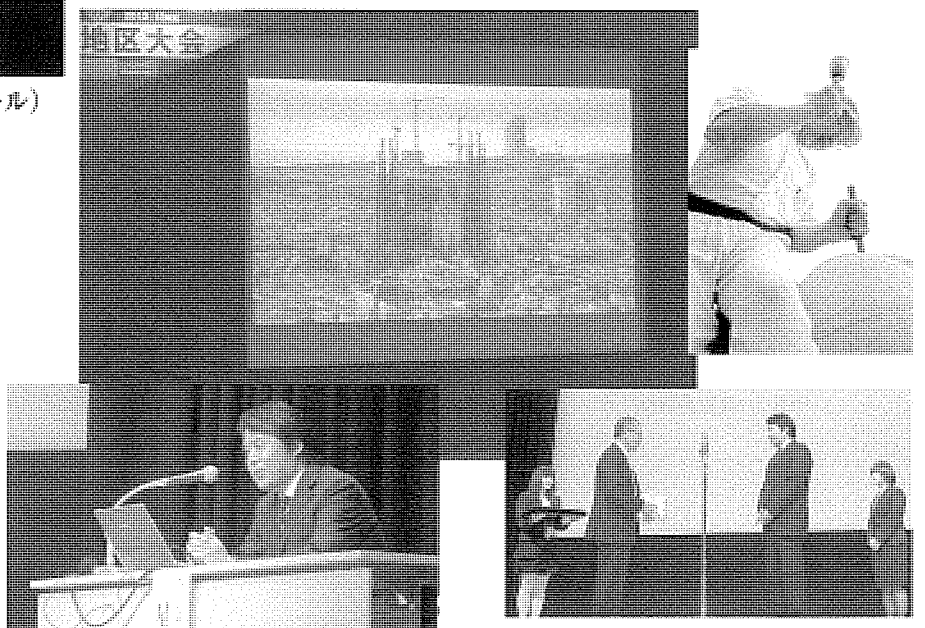
## 市民公開講座

(鹿児島市民文化ホール・第二ホール)

「ガウディに挑む男を追う!!」  
 -職業人としての使命-

講師 NHK経済社会情報番組部 星野 真澄氏  
 チーフプロデューサー ほしの ますみ

講演テーマ  
 「逆境を楽しみ、世界と闘う」



## 活動報告

### 鹿児島西プロバスクラブ15周年



#### ●鹿児島西プロバスクラブの15年

鹿児島西ロータリー・クラブ創立50周年を心からお祝い申し上げます。

プロバスクラブは、1997年、鹿児島西ロータリー・クラブ高山義則会長のもと、関係者のご努力により結成準備が進められ、翌1998年1月23日に鹿児島西プロバスクラブが結成されました。

プロバスクラブ(Probus Club)は「かつて専門職務(Professional)と事業(Business)に携わって経験を持つ人々が定期的に会合し、講演者を招いたり、討論会などを実施、引退者の専門活動の継続を援助するとともに、その技術と経験を世のために役立たせることもできるロータリーの社会奉仕の1プログラムである」と要約されます。

鹿児島西プロバスクラブは、仲間として、自由な立場で、楽しく集い、政治・経済・宗教にかかわりがいいことなどを会の目的・性格としています。今年1月で結成から15年が経ちました。毎年、鹿児島西ロータリー・クラブのご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

プロバス例会には、いつも数名の鹿児島西クラブのロータリアンが出席しておられますので、例会は一層の活気があります。なお、会員数は現在16名です。

プロバスクラブの趣旨にあります「技術と経験を世のために役立たせることもできるロータリーの社会奉仕の1プログラムである」(前記)ということに鑑み、会員と有識者の方々の経験と知見を次代の人々へ伝えることを目的として『会誌』を発行しています。これまで、平成11年『第1巻』、平成14年『第2巻』、平成20年『結成10周年記念・第3巻』、平成22年『第4巻』、平成23年『第5巻』、平成24年『第6巻』を発行しました。

今後も、鹿児島西ロータリー・クラブのご支援のもと、鹿児島西プロバスクラブは活気ある楽しいクラブであることを願っております。

(平成25年3月記)

鹿児島西プロバスクラブ幹事 吉武 和臣

## 海江田 卓 パスト・ガバナー 追悼の辞

鹿児島西ロータリー・クラブ  
会長 染 川 周 郎



万歳三唱の音頭(3/23)

海江田 卓 パスト・ガバナーが、4月19日の深夜ご逝去されました。去る3月23日開催の当クラブ創立50周年記念祝賀会ではお元気に締め万歳三唱の音頭をとられたばかりでただけに余りにも突然の訃報に声を失いました。

先生は、昭和4年9月11日のお生まれで、昭和57年8月に当クラブへ入会され、1998～99年度に第36代会長を務められ、丁度10年前の2003～2004年度のガバナーをお務めになられました。

私の手元に、1990年9月作成の当クラブの顔写真入の会員名簿がございます。そこには、先生自ら、以下のとおり記されています。

妻を語る：目の不自由な方々のために永年朗読奉仕を続けている。

趣 味：スポーツ（散歩、ドライブ）、カラオケ（クラシック、ニューミュージック、シャンソン、演歌）、音楽・映画鑑賞、読書、文芸創作、コレクション

健康法：抑酒、禁煙、禁甘味、ストレスを吹き飛ばす楽しみを求める。

好きなテレビ番組：語学講座、ダンス教室、日曜美術館、題名のない音楽会

故 郷：父・祖父 日置郡市来町 母・祖母 加世田万世

座右の銘：「明るく、積極的・意欲的に、人のため、世のため」

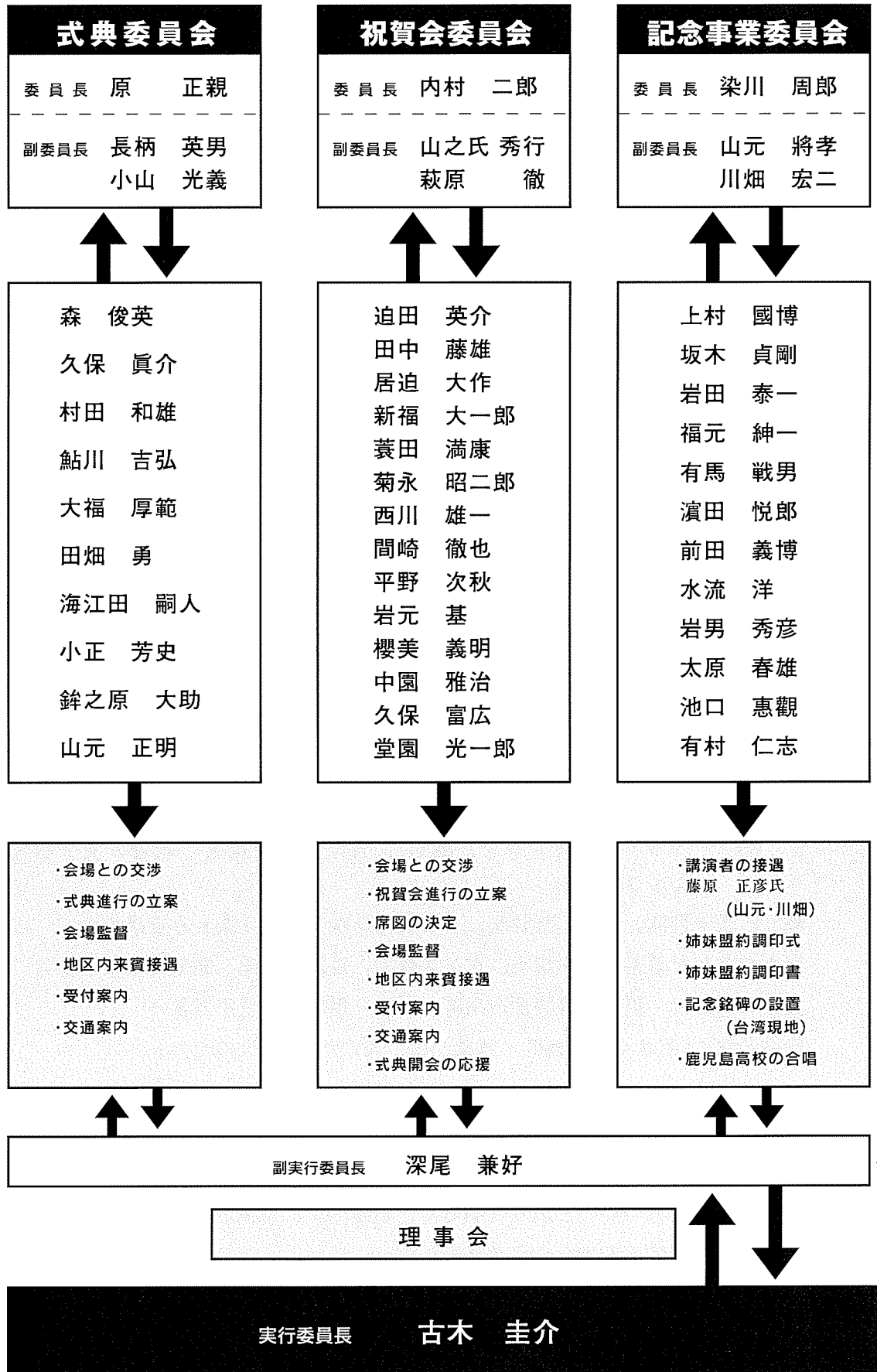
先生は、物静かな教育者としての面と多芸多趣味でユーモアに富んだ温かいお人柄の持ち主という面を併せ持たれ、私共、後輩を良くご指導くださいました。

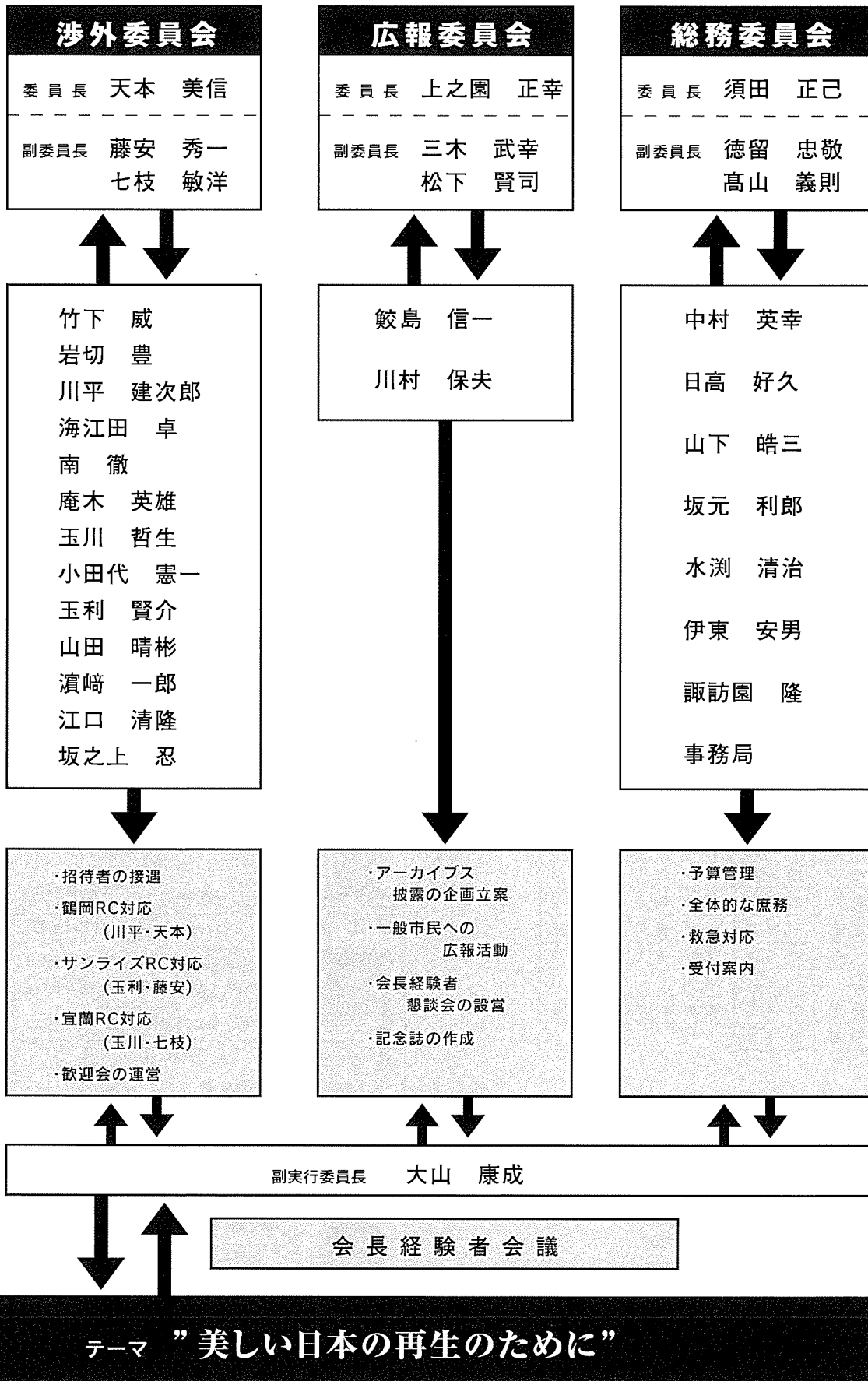
まさにこの座右の銘のとおり「明るく、積極的に、意欲的に、人のため、世のため」のロータリアン人生を全うされました。

今は、心からご冥福をお祈り申し上げるばかりでございます。



# 鹿児島西RC創立50周年記念事業実行委員会組織図







## 50周年記念誌の「編集後記」として

創立50周年を迎え、鹿児島西ロータリー・クラブは新たなステージを迎えました。鶴岡RC、サンタローザRCとの友好関係、そして新たに台湾・宜蘭RCとの姉妹クラブ盟約は、薩摩の歴史を絆とした友好の輪がさらに前進することと確信します。記念式典には、地区内外から多くの方々にご参加いただきました。改めて感謝申し上げます。

記念誌作成に当たっては40周年以降の会長さん、幹事さんにロータリーを語っていただきました。50年を振り返る話は、西ロータリー・クラブが歩いてきた道のりを垣間見る思いがし、先輩方のご苦勞やご努力に胸の熱くなる思いがします。また、3年前から取り組んだアーカイブスCDは、西ロータリー・クラブ50年の歩みそのものです。創立以来、440名の方が会員として、クラブにかかわっておられます。懐かしんでいただくとともに、クラブを知っていただくきっかけとなれば幸いです。

記念誌作成にあたりまして、快く原稿をお寄せいただいた皆さま、デザイン、編集に特にご尽力いただいた今和泉さんはじめシイツウの方々など、ご協力いただいた多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

広報委員会委員会  
委員長 上之園 正幸



星 日本再生のために



**Kagoshima West RC**  
**1963 - 2013**

